#### 次 目

r	研究ノート		
6	西洋と日本の相違言葉、理論、思想、方法論について(19) 赤松	宏	(55)
5	木育とプログラミング教育 牧野	純也	(39)
4	第2期オバマ大統領就任演説に関する修辞的分析 ・ 寺澤	陽美	(29)
3	憲法35条と行政手続横瀬 浩司 / 横瀬	富如	(21)
2	中国における新語、ネット用語の定着とその社会的要因 王	平	(11)
1	日本人と台湾語学習 ―ビジネスパーソンを中心に―	芳久	(1)

【研究論文】

-- Microsoft Accessクエリーで構築するデータベースの実際-- ・・・・・・・ 伊藤 浩 (61)

1 在外子会社の実際総合原価計算システムの構築(材料消費金額の計算)

#### 【 実践研究報告 】

- 1 国際ビジネス教育に関わるプログラム研究 -TOEIC®テスト対策講座- ····· 各務 行雅 (73)

## 日本人と台湾語学習

#### ―ビジネスパーソンを中心に―

下平 芳久 (愛知産業大学経営学部講師)

## Japanese People and Taiwanese Learning

-Focused on Business People-

#### Yoshihisa SHIMODAIRA

#### →要旨

日本と台湾とは距離的にも心理的にも非常に近い関係にあり、ビジネス目的で台湾に渡航する日本人も少なくない。だが、台湾では中国語が共通語の役割を果たしているため、台湾語の学習経験がある日本人は極めて少ない。このような現状の中で日本人、特にビジネスパーソンにとって台湾語の学習意義とは何なのか。台湾ビジネスに関心のある方々に有益な知見を提供することを狙いとして、この点について論を展開する。

#### →キーワード

- 台湾ビジネス
- 台湾の言語情況
- ・台湾語と日本語
- ・台湾語の学習意義

#### I. はじめに

日本と台湾とは距離的にも心理的にも非常に近い関係にある。台湾に渡航する日本人も、 日本に渡航する台湾人もともに多く、互いに親近感を隠すことは少ない。この傾向は今後 も続くと思われる。日本人の台湾渡航と言えば、観光旅行がイメージとして浮かびがちで ある。だが、実際にはビジネス目的も多い。筆者の知人についても、台湾での短期出張ま たは長期駐在の経験がある者は決して珍しくない。台湾で起業し、その後経営者としてずっと台湾で生活している者もいる。

言うまでもなく、ビジネス目的で海外渡航する者にとって語学は避けて通れない。台湾も例外ではなく、日本のビジネスパーソンにとっては、中国語と台湾語が学習の対象として目の前に立ちはだかっている。日本語が流暢に話せる台湾人は決して珍しくない。とはいうものの、その現実に甘えきっていると台湾でのビジネスは中途半端に終わる危険性があると、筆者は考えている。

日本人にとって、重要な外国語と言えば、英語・中国語・韓国語・スペイン語・フランス語などが思い浮かぶ。しかし、これらに比べると台湾語はあまりにも影が薄い。実際、日本においては台湾語の教材・教室・教師ともに貧しい現状にある。それは、端的に言って台湾語の学習経験がある日本人が極めて少ない現状を意味している。

どうしてこのような現状にあるのだろうか。台湾で共通語の役割を果たしているのは中国語であり、これをある程度運用できれば外国人が台湾で生活するのに大きな困難を伴わないこと、そして台湾語は正式な表記方法が未確立であることに、その主な原因があると思われる。

では、このような現状の中で日本人、特にビジネスパーソンが台湾語を学習する意義は何であろうか。真っ先に思い浮かぶのは、台湾の人々とより親密に交際することである。筆者は台湾人と話す時、台湾語をかなり混ぜるようにしているが、中国語や日本語ばかりの時と違って、台湾人の態度は明らかにフレンドリーになる。外国人が三河弁や尾張弁などの方言を使って愛知県出身者に話しかけてきた時の様子を思い浮かべれば、容易に理解できるだろう。台湾の人々と親密に交際できれば、ビジネスチャンスも広がりやすいのは当然である。

だが、日本のビジネスパーソンが台湾語を学習する意義はそれにとどまらないのではないか。先述したように、ビジネス目的で海外渡航する者にとって語学は避けて通れないものであり、例えばバリ島で公用語のインドネシア語以外にバリ語も話せば、現地の人々と親密に交際できるのは当然だからである。筆者は、他の言語については考えにくい、まさに台湾語ならではの学習意義があると考えている。では、一体それは何なのか。台湾ビジネスに関心のある方々に有益な知見を提供することを狙いとして、この点について論を展開する。ただ、その前に台湾語の背景を形成するさまざまな事実を押さえておきたい。

筆者は 1993 年から 2003 年まで台湾で生活していた。帰国後も何度か台湾を訪れた。台湾語の学習歴も長い。本稿の記述は、筆者の実体験に大きく影響されていることを強調しておく。

#### Ⅱ、台湾の言語状況

台湾の生活言語は大きく分けて二種類ある。台湾の圧倒的多数を占める漢民族の言語と 先住民族「原住民」の使用する諸言語である。これに日本語を加えて三種類としてもよい。 日本語が流暢に話せる台湾人は決して珍しくないが、実際には日本統治時代(1895-1945) に教育を受けた者、日本留学経験者、日系企業在職者などに使用者は限られている。

漢民族の言語自体も台湾では大きく分けて三種類ある。標準語としての中国語、閩南語 そして客家語である。前述したように中国語は台湾全土の共通語の役割を果たしている。 事実上、台湾の公用語と言ってもよい。ただし、中国大陸で使用される標準中国語「普通話」とは様々な点で差異があり、台湾の中国語は「國語」「台湾華語」と呼ばれている。閩南語と客家語の両者を比べると閩南語の通用度の方が断然高く、一般的にその使用者は台湾の人口の約7割と言われている。台湾の人口は2019年現在で2,300万人を超えているため、計算上は少なくとも約1,600万人が台湾語の使用者ということになる。そのため、閩南語は台湾では「台語」「台湾閩南語」と、日本では「台湾語」とそれぞれ呼ばれている。本稿でいう台湾語もこれに倣っている。また、三種類の言語とも漢字で書き表す時は、日本語の旧字体に相当する「繁体字」を使用する。本稿でも、これらの言語を漢字で書き表す時は繁体字を使用する。

近年は、以上に加えて第四の生活言語が登場してきた。それはタイ語やベトナム語などの東南アジアの諸言語である。これらの言語を母語とする、「新住民」と呼ばれる人々は、社会の基層を支える労働者として、あるいは台湾人の配偶者として台湾に定住している。

生活言語ではない学習言語としては、英語が圧倒的な存在感を誇っている。幼少時から 英語を学んだり、英語圏に留学したりする者が珍しくなく、台湾での英語の通用度は低く ない。日本語はその次の地位を占めてきたが、韓流ブームの影響で近年は韓国語の学習者 が増えている。

#### Ⅲ、台湾語の全体像

閩南語はもともと福建省南部の言語である。福建省南部と台湾以外ではシンガポール・マレーシアなどの東南アジア諸国で使用者が多く、それらの国では「福建語」と呼ばれている。閩南語の内部にはもともと方言差が存在し、この方言差は台湾語にも引き継がれている。先に正式な表記方法が未確立と書いたが、実際には大多数の語彙は漢字表記が可能となっている。正式な発音記号も未確立だが、日本国内で出版された台湾語の教材の多くは、歴史的な伝統を誇る「教会ローマ字」を発音記号として用いている。本稿においても、台湾語の発音を表す時は教会ローマ字を使用する。

漢字表記された台湾語の語彙をつなぎ合わせてみると、中国語と台湾語とは類似点が大きい。台湾語が中国語の方言とみなされる所以である。しかし、その発音となると台湾語は中国語とは全く異なる。したがって、台湾語を全く学んだことのない漢民族は、台湾語を耳にしてもほとんど聞き取ることができない。総じていえば、台湾語は中国語とは似て非なる言語である。これは、広東語や上海語などの他の方言とも共通する特徴である。

歴史的な背景があって、台湾語は日本語の大きな影響を受け、その語彙を借用語として 取り込んだ。台湾語内部の方言差は時代の流れととともに小さくなり、台湾華語の影響も 不断に受けている。また、台湾華語、さらには普通話に対しても影響を与えており、借用 語を多数提供している。普通話に提供された借用語の具体例としては、日本語の「いいね!」 に相当するネット用語「讃(chán)!」が特に有名である。

#### Ⅳ. 台湾語の教材

先述したように、日本においては台湾語の教材・教室・教師ともに貧しい現状にある。 日本国内で出版された台湾語の教材は何種類かあるが、その多くは旅行会話集に代表され る類いの出版物にとどまっている。発音・文法・語彙の三方面をしっかりとカバーした本 格的な教材となると、概ね以下のとおりである。

まず、王育徳著「台湾語入門」(日中出版 1989 年発行)を挙げたい。日本統治時代の台湾を除けば、これは日本の歴史上初めて出版された本格的な台湾語教材であり、台湾語を語る上で避けては通れない極めて重要な書籍である。練習問題がない、付属の CD がないなどの点で古さは免れないが、現在でも十分に使用に堪え得る。

次に、村上嘉英著「ニューエクスプレス台湾語」(白水社 2009 年発行)を挙げたい。同社のニューエクスプレスシリーズはどの本も入門教材として高いレベルにあるが、この本も例外ではない。ただし、あくまでも入門レベルにとどまっている点は覚悟しなければならない。

最後に、樋口靖著「台湾語会話[第二版]」(東方書店 2000 年発行)を挙げたい。書名だけを見ると、旅行用会話集を連想しがちだが、実際の内容は本格的な教材である。しかも、上の「台湾語入門」「ニューエクスプレス台湾語」と比べて、解説の細かさ、分量の豊かさ、語彙の多さなどの点で上回っている。

発音・文法・語彙の三方面をしっかりとカバーした本格的な教材と言えるかどうかはともかくとして、趙怡華著「CD BOOK 絵でわかる台湾語会話」(明日香出版社 2006 年発行)、 趙怡華著「CD BOOK 台湾語会話フレーズブック」(明日香出版社 2010 年発行)、 趙怡華著「CD BOOK はじめての台湾語」(明日香出版社 2014 年発行)などは、すべての例文に台湾語と台湾華語を併記しており、両者を並行して学習できる点で画期的な教材である。

語学学習には辞書も必要であるが、現在、日本国内で出版された本格的な辞書は村上嘉 英編著「東方台湾語辞典」(東方書店 2007 年発行)一冊にとどまっている。約 13,500 語を 網羅しており、例文も豊富なので、入門レベルを超えた学習者でも十分利用可能である。

台湾で出版された外国人向けの台湾語の教材も何種類かあり、台湾の大型書店に行けば容易に入手できる。ただし、例文の翻訳文や解説文はすべて中国語で書かれているため、中国語の文章を読み解く高度な能力が必要となる。また、発音記号として教会ローマ字が使用されているとは限らない。

#### Ⅴ. 学習上の注意点

付け加えになるが、台湾語を学習する上での注意点についても略述しておく。まずは、教会ローマ字についてである。これは一般の台湾人にとって馴染みの薄い現状にある。前述したように、台湾語は正式な表記方法のみならず、正式な発音記号も未確立なままだからである。確かに、台湾においては近年、教育部(日本の文部科学省に相当)の制定した発音記号が流布しつつあるが、ほとんどの台湾人に習得経験があるという段階には至っていない。また、この発音記号は教会ローマ字に基づいているが、両者の差異は決して小さくはない。台湾語のネイティブスピーカーについて台湾語を学習しようとする場合、この点に注意しておかねばならない。つまり、教会ローマ字そのものは独学で身につける覚悟が必要となる。

次に、方言差の問題も無視できない。先述したように、台湾語内部の方言差は時代の流れととともに小さくなった。それでも、地域によって、発音が異なるケースが今でも珍しくない。したがって、例えば台湾北部の人に向かって台湾南部の発音で話しかけると、怪訝そうな顔をされるかもしれない。この点を考慮して学習を進めるべきである。

最後に、先に中国語を学んでから台湾語を学ぶ場合と、中国語を学ばずに台湾語を学ぶ場合とでは、学習上の困難さは後者の方が高い。中国語と台湾語との間には無視できない程度の類似点があるからである。台湾人とのコミュニケーションに台湾華語は欠かせないが、台湾語はそうとも限らない。この現実を考えると、先に中国語、特に台湾華語をある程度マスターしてから台湾語を学ぶ方が得策であろう。

以上の点に注意すれば、日本人にとって台湾語は習得困難な言語とは決して言えないと思う。筆者の経験を述べると、特に発話方面においては、中国語を特徴づける捲舌音がないなどのおかげで、台湾語は中国語より学習しやすかった。また、濁音のない中国語とは異なり、日本語と同様に濁音を含む単語が多く、個人的にはその発音の容易さが初期の学習段階において強く印象に残ったことを覚えている。

#### Ⅵ. 日本人が台湾語を学習する意義(一)

では、いよいよ日本人、特にビジネスパーソンが台湾語を学習する意義について論を展開していきたい。第一は、海を挟んで日本に隣接する地域で多くの人々に使用されている言語について関心と理解を深めることである。それらの言語のうち、誰でも比較的容易に思い浮かべるのは韓国語・中国語・ロシア語であろう。韓国語は韓流ブーム以降すっかり主要言語の仲間入りをした。中国語とロシア語は国際連合の公用語である。したがって、いずれの言語も教材・教室・教師ともに充実しており、学習者の数も多い。これに比べると、台湾語はあまりにも影が薄い。地図を広げてみると台湾は与那国島と至近距離にあり、紛れもなく海を挟んで日本に隣接する地域であることがわかる。そのような地域で少なくとも約1,600万人の人々に使用されている台湾語について、ほとんどの日本人に学習経験がないのは遺憾だと言うしかない。

それだけではない。台湾語は韓国語・中国語・ロシア語と負けず劣らずの歴史的な深いかかわりを日本語と有している。以下、この点について説明する。台湾は長らく原住民のみが生活する地域であった。彼らは複数の民族に分かれて、それぞれ独自の文化を持っていた。いずれもオーストロネシア語族(マレー・ポリネシア語族)に所属する言語を使用していたが、互いの言語間の差異は大きく、民族間の共通言語と言えるものはなかった。

17世紀に中国大陸からの移民が本格化した。そのほとんどは閩南語または客家語を母語とする漢民族であった。客家語を母語とする者は居住地域が限られていたが、閩南語を母語とする者は台湾の平野部全体に広がっていった。このため、閩南語は 19世紀末までには台湾全体で最も通用度の高い言語となり、台湾語たる地位を獲得した。同様の例としては、北米やオーストラリアにおける英語、ブラジルにおけるポルトガル語などを思い浮かべることができる。だが、清朝統治下の台湾においては、官吏たちの使用する「北京官話」が上位言語の地位にあった。台湾語は正式な表記方法が未確立であり、原住民への浸透もままならなかった。

こうした状況の中、日清戦争に勝利し、日清講和条約いわゆる下関条約によって台湾を 割譲された日本は、1895年に台湾の統治を正式に開始した。いわゆる日本統治時代の幕開 けである。日本は台湾において近代的な教育制度を確立し、学校教育を通じて台湾全土で の日本語の普及活動を推し進めた。それが功を奏し、日本統治時代の終了する 1945 年ま でに、日本語は台湾史上初めての全土共通語としての地位を獲得するに至った。 一方で台湾に渡った日本人も台湾語を熱心に学習した。その証拠に、日本人の手によって何冊もの日本人向け台湾語教材が台湾において刊行されている。筆者自身、台湾で生活していた時に国立台湾大学の図書館でそれらを手に取って、じっくりと読み込んだ経験がある。中でも、台湾の最高統治機関たる台湾総督府が長年にわたって編集し、1931年に刊行した「台日大辞典」は傑出した出版物であり、そのすばらしさを称賛する台湾人の声を何度も聞いた。この辞典の復刻版「台湾語大辞典」(国書刊行会 1993 年発行)は愛知産業大学図書館を始め、今でも日本国内各地の図書館で閲覧可能である。台湾語の発音記号として今も使用されている教会ローマ字を創造したという点においては、西洋人、特に宣教師たちの果たした役割は大きい。だが、90,000 語以上を網羅した本格的な台湾語辞書を世に出したという点で日本人の果たした役割も大きいと思う。

さらに見落とせないのは、前述したように、台湾語は日本語の大きな影響を受け、その 語彙を借用語として取り込んだことである。具体的には本稿の末尾において記述するが、 これらの借用語の存在は福建省南部の閩南語と台湾語との決定的な差異を生じさせること になった。

以上の記述を通じて、台湾語は韓国語・中国語・ロシア語と負けず劣らずの歴史的な深いかかわりを日本語と有している事実の一端を垣間見ることができる。世界的な視野を持つビジネスパーソンを自負する日本人ならば、韓国語・中国語・ロシア語と同列の位置に台湾語を置くことを筆者は勧めたい。

#### Ⅲ. 日本人が台湾語を学習する意義(二)

日本人、特にビジネスパーソンが台湾語を学習する意義の第二は、少数言語に対する関心と理解を深めることである。世界的な視野を持つビジネスパーソンを自負する日本人ならば、どの国や地域に渡航するにせよ、特にそれは必要である。現代の国際社会においては、少数言語の使用者たちの多くは自らの言語に誇りを持っていることを隠さない。これに対して無知かつ無関心な態度を取ることは、たとえ世界的な視野を持つビジネスパーソンを自負していても、実際にはその資質に欠けていることを自ら表明しているようなものである。

地球上には数多くの言語が使用されているが、消滅の危機に瀕しているものも珍しくない。台湾語は使用者の人口が少なくとも約 1,600 万人と多く、現段階では消滅の危機には瀕してはいない。しかし、将来的には消滅の危機に瀕する恐れがある少数言語の一つだと感じている。台湾語の学習は、台湾語のみならずほかの少数言語に対する関心と理解を深めることにつながると思う。以下、この点について説明する。

前述したように、日本統治時代においては、台湾に渡った日本人は台湾語を熱心に学習した。だが、それは概ね初期の頃であって、日本語が普及するにつれて、そのような日本人は減少した。日本統治時代の終わりの頃になると、警察官のように一般の台湾人に直接かかわる機会の多い仕事に就いた者を除けば、日本人の台湾語能力は決して高いものではなかった。筆者が日本統治時代に教育を受けた複数の台湾人から聞いた話によると、台湾人生徒のみが通う初等教育機関である「公学校」においては、授業中は一切台湾語を使うことがなかった。授業以外の時間においても、校庭の片隅などで台湾語による立ち話を楽しむ程度であった。また、日本人教師が台湾語を話すのを聞いた経験はないとのことであ

った。これらの事実から、日本語の圧倒的な勢力の前に台湾語は少数言語の地位を余儀なくされたことが見て取れる。

1945年に日本統治時代が終了して、中華民国政府による統治が始まると、中国大陸から新たに台湾に渡った漢民族即ち「外省人」が、学校教育を通じて台湾全土での中国語の普及活動を推し進めた。その結果、日本語の代わりに中国語が全土共通語の地位を確立して、現在に至っている。先述のとおり、台湾華語が台湾で普及した中国語を意味する。1945年以前から台湾に住んでいる漢民族即ち「本省人」の多くは台湾語を母語としているにもかかわらず、またしても台湾語は少数言語の地位を余儀なくされてしまったことになる。

しかも、事態はより深刻化した。日本統治時代においては、台湾人生徒は学校内でこそ 日本語を話したが、一旦家庭内に戻れば、母語である台湾語、客家語、原住民の諸言語を 話していた。しかし、現在の台湾においては、地域や環境によって程度は異なるものの、 生活言語は台湾華語のみという若者が多い。

試しに休日に台北市内の公園に行ってみるとよい。若い両親も子供も台湾華語のみでコミュニケーションを取っている光景が目に入る。そこに外省人・本省人・原住民の違いは見られない。この現実を直視すると、台湾の人口の約7割が台湾語の使用者と言われても、首をかしげざるを得ない。台湾華語が生活言語として独占的な地位を占めてきたのに反比例するように、台湾語、客家語、原住民の諸言語がいずれも衰退への道を余儀なくされたことの表れである。1990年代以降、政府は母語教育の重要性を認め、学校教育においてこれらの言語を教える施策を取っているが、効果はどうであろうか。台湾語は得意ではないと言う本省人の若者に、筆者は最近出会ったばかりである。

台湾語の置かれている状況は、現在の日本国内でも見ることができる。琉球諸語、アイヌ語の置かれている状況がそれである。しかも、日本人が学校教育を通じて当該地域全土(台湾、沖縄、北海道)での日本語の普及活動を推し進めたという点で、台湾語、琉球諸語、アイヌ語は共通の歴史を有している。琉球諸語とアイヌ語はどれも消滅の危機に瀕しており、事態は台湾語より深刻である。

台湾語を学習すると、台湾語以外のさまざまな少数言語に対する関心と理解を深めることにもつながるのではないかと、筆者は思う。

#### Ⅲ. 日本人が台湾語を学習する意義(三)

日本人、特にビジネスパーソンが台湾語を学習する意義の第三は、中国語の方言に対する関心と理解を深めることである。台湾語が独立した言語か、中国語の中の方言かについては政治的な立場も絡んで判断は難しいものがある。ただ、言語学の伝統的な分類に従う限りにおいては、台湾語は中国語の方言と見なし得る。そう考えた場合、中国語については北京語を基にした普通話または台湾華語だけではなく、方言の学習も重要であることが明らかとなってくる。ビジネスパーソンの場合は、台湾渡航をきっかけに中国や東南アジア諸国にも渡航する可能性が出てくる。それが現実になった時は中国語の方言に向き合う機会も増えるので、より一層関心と理解を深める必要に迫られるであろう。

言うまでもなく、中国語は世界で最も使用者人口の多い言語であり、国際連合の公用語の一つである。日本国内においても、教材・教室・教師ともに充実した存在感の極めて高い言語である。しかし、中国語の学習者は多くても、一般的には中国語の方言まで学ぼう

とはしないのではないだろうか。台湾語の学習はこの現状に風穴を開ける意義を持っていると思う。

一口に中国語の方言といっても多種多様だが、教材面で見る限り、日本国内で学習が可能なものは決して多いとは言えない。このうち、最も存在感の高いのは広東語であろう。 広東語は香港で最も通用度の高い言語であり、広東語さえある程度運用できれば外国人が 香港で生活するのに大きな困難を伴わない。これは台湾語の置かれた状況とはまったく異なることに注目したい。

中国語の方言を学ぶことは、実は標準語としての中国語そのものをより深く理解することにもつながる。台湾語の「声調変化」の現象を例にとって考えてみよう。中国語は声調言語の一種であり、台湾語も同様である。しかし、内容は異なる。中国語は四声調であり、その声調の種類は一音節ごとに固定しており、一部の例外を除いて変化することはない。中国語を学習する者にとっては常識中の常識である。しかし、台湾語はそうではない。台湾語は七声調であり、その声調の種類は一音節ごとに固定しているわけではなく、規則的に変化する。例えば、「政(chèng)」は単独では第三声だが、「政治(chèng-tī)」の中では第二声になる。「教会ローマ字」の表記は変わらないので、発音する時に注意が必要である。

これらの違いを目の当たりにすることは、台湾語以外の方言についての関心を抱くことにつながる。実際、筆者は台湾語を学んだ後、広東語に関心を持ち、広東語の学習に着手した。広東語には広東語の特徴があることを知り、中国語に対する理解がより深くなったことを実感した。

#### Ⅸ. 台湾語における日本語の借用語 ― 結びに代えて

日本人、特にビジネスパーソンが台湾語を学習する意義については以上のとおりである。このうち、第一の意義については、更に補足しておく必要を感じている。先述したように、台湾語は日本語の大きな影響を受け、その語彙を借用語として取り込んだ。これらの語彙は今でも台湾で広く通用し、日本人と台湾人がコミュニケーションを取る際に潤滑油の役割を果たしている。さらには、日本人が台湾語について関心と理解を深める動機の役割さえ果たしている。この現実をより具体的に表すのが補足の狙いである。この補足を以って本稿の結びに代えたいと思う。

具体的には、これらの語彙を随意 30 語選んで表にまとめてみる。出典はすべて「東方台湾語辞典」(東方書店 2007 年発行)とし、掲載ページも明らかにした。元となった日本語の語彙は、和語・漢語と外来語に分けた。台湾語には漢字表記しない語彙があるが、それらはダッシュで示した。また、北京対外経済貿易大学・北京商務印書館・小学館共同編集「日中辞典[第3版]」(小学館 2015 年発行)などに依拠して、中国語の訳語をすべての語彙に付記した。表の中の「阿沙力」「歐巴桑」「歐吉桑」「黒輪」「便當」「榻榻米」「機車」は台湾華語の単語である。

台湾語についての知識があるなしにかかわらず、これらの語彙を目にすると、台湾と日本との歴史的なかかわりが目に浮かび、日本人、特にビジネスパーソンが台湾語を学習する意義がより明確になる。台湾ビジネスの現場においてこれらの単語を会話の中に巧妙に取り入れることは、日本人と台湾人との心理的な距離を一気に縮め、遅かれ早かれ一定の実務的な成果につながると思う。

何はともあれ、日本において台湾語の学習人口が増えることを、台湾語の長年の学習者にして愛好者である筆者は、心から願うばかりである。

## 1 和語・漢語からの借用語

漢字	教会ローマ字	日本語	中国語	掲載ページ
阿沙力	a-sá-lih	あっさり	坦率、阿沙力	2
_	a-ta-mah	あたま	頭、頭脳	2
注射	chù-siā	注射	注射、打針	50
野球	iá-kiû	野球	棒球	127
_	kha-báng	かばん	皮包	188
_	khi-mó-chih	気持ち	心情	197
_	kho-niá-kuh	こんにゃく	蒟蒻	203
_	khòng-buh	昆布	海帯	207
	mé-sih	名刺	名片	239
	o-bá-sáng	おばさん	大娘、歐巴桑	250
	o-jí-sáng	おじさん	大叔、歐吉桑	251
黒輪	o-lián	おでん	關東煮、黒輪	251
便當	piān-tong	弁当	盒飯、便當	269
	sên-sé	先生	老師	300
榻榻米	tha-tha-mih	たたみ	草墊、榻榻米	374

### 2 外来語からの借用語

漢字	教会ローマ字	日本語	中国語	掲載ページ
_	bá-tah	バター	黄油、奶油	9
_	há-muh	ハム	火腿	93
_	ho-lú-bóng	ホルモン	激素、荷爾蒙	110
_	iân-jín	エンジン	發動機、引擎	129
_	khâ-tián	カーテン	簾子	189
_	lài-tah	ライター	打火機	212
_	má-lá-lí-á	マラリヤ	瘧疾	239
_	moh-tah	モーター	發動機、馬達	242
_	ne-kú-tái	ネクタイ	領帯	244
_	o-tó-bái	オートバイ	摩托車、機車	252
_	pháng	パン	麵包	285
_	phòng-phù	ポンプ	泵、唧筒	292
	phu-ló-phé-lah	プロペラ	螺旋槳	293
	su-lip-pah	スリッパ	拖鞋	330
_	tho-má-toh	トマト	番茄	387

#### 参考文献・資料

王育徳著『台湾語入門』目中出版、1989年

台湾総督府編『台湾語大辞典』国書刊行会、1993年

篠原正巳著『台湾語雑考 日本漢字音との近似性』致良出版社、1993年

鄭正浩著『聴いて話すための―台湾語基本単語2000』語研、1996年

若林正丈著『台湾の台湾語人・中国語人・日本語人―台湾人の夢と現実』朝日新聞社、1997年

篠原正巳著『続台湾語雑考 日本人と台湾語』致良出版社、1999年

樋口靖著『台湾語会話【第二版】』東方書店、2000年

趙怡華著・陳豐惠監修『CD BOOK 絵でわかる台湾語』明日香出版社、2006年

村上嘉英編著『東方台湾語辞典』東方出版、2007年

村上嘉英著『ニューエクスプレス 台湾語』白水社、2009年

趙怡華著・陳豐惠監修『CD BOOK 台湾語フレーズブック』明日香出版社、2010年

趙怡華著・陳豐惠監修『CD BOOK 新版 はじめての台湾語』明日香出版社、2014年

北京対外経済貿易大学・北京商務印書館・小学館共同編集『日中辞典[第3版]』小学館、2015年

赤松美和子・若松大祐編著『台湾を知るための60章』明石書店、2016年

奥田健士著『わかる!! 台湾ビジネスQ&A 〈2020年改訂版〉』メディアパル、2019年

## 中国における新語、ネット用語の定着と その社会的要因

王 平 (愛知産業大学講師)

## Establishment of New Words and Internet Terms and Its Social Factors in China

Ping WANG

#### →要旨

言語ほど敏感に社会生活を反映できるものはなく、また言語に反映された社会生活ほどリアルなものもない。現代社会では多くの人々がSNSから情報を得ている。SNS情報は、すでに新型マスメディアの座を確立していると言えよう。中国近年の新語・流行語・ネット用語の使用状況を見てみると、最も社会のあらゆる現状を反映するものとして、その年に現れた新しい事物、そして、その一年の人々の観念、価値観の変化を表している。それらの言語はどんなメディアでもよく使われていることが分かる。本研究は、2019年中国国家言語資源観測研究センターが発表した中国の新語・流行語・ネット用語、ネットユーザーのクリック数と流行語ランキング、また『中国言語生活状況報告書』(言語白書)を参考に、代表的な例を挙げて中国における新語、ネット用語の定着とその社会的要因を検討していく。

#### →キーワード

- ・新語、流行語、ネット用語
- ・社会の世相
- ・社会的要因による定着

#### I. はじめに

2019年12月16日、中国国家言語資源観測研究センターが、ネットユーザーが推薦する数千の文字と単語を発表した。国家言語資源観測・研究センターはビッグデータ・コーパスをもとに、言語情報処理技術を使って2019年度10大新語、10大流行語、10大ネット用語を選出した<sup>1</sup>。

10 大新語は、「夜経済(ナイトタイムエコノミー)」、「5G 元年」、「極限施圧(極限まで 圧力をかける)」、「止暴制乱(暴動制止)」、「接訴即弁(苦情に即対応)」、「誇誇群(褒め るためのチャットグループ)」、「基層減負年(基層のプレッシャー軽減イヤー)」、「氷墩墩 /雪容融」、「殺豬盤(ブタは太らせてから殺せ詐欺)」、「郷字号/土字号」。

10 大流行語は、「文明互鑒(文明の相互参考)」、「区塊鏈(ブロックチェーン)」、「硬核 (ハードコア)」、「融梗 (パクリネタ)」、「××千万条、××第一条 (××は数え切れないほどあるが、一番大切なのは××)」、「檸檬精 (レモンの精)」、「996 (過酷な勤務時間)」、「我太難/南了 (辛すぎる)」、「我不要你覚得、我要我覚得 (君がどう思うかではなく、俺がどう思うかが大事)」、「霸凌主義 (覇権主義)」が選ばれた。

10 大ネット用語は、「不忘初心(初心忘るべからず)」、「道路千万本(安全第一条)」、「檸檬精(羨ましい)」、「好嗨喲(気分がハイ)」、「是個狼人(ある意味すごすぎる)」、「雨女無瓜(あなたに関係ない)」、「硬核(ハードコア)」、「996(過酷な勤務時間)」、「14 億護旗手(五星紅旗には 14 億の護旗手あり)」、「断捨離(日本から逆輸入された語句)」<sup>2</sup>。

以上の2019年度10大新語、10大流行語、10大ネット用語は、2019年の社会の状況や社会の変化から生まれ、常に生活する人々の願望や欲求と共に存在し、その時代のトレンドと共に姿を変える。新語、流行語、ネット用語はまさにその年の目下の社会新現象を映し出す鏡であり、変化の最先端にあると言えるかもしれない。本研究は、社会生活の新しい現象と変化を映し出す新語、流行語、ネット用語の定着とその社会的要因を考察することを目的とする。

#### Ⅱ. 2019年の新語、流行語、ネット用語が表す社会の現状をおさらい

社会の変化、発展とともに、言葉も変化する。2019年の新語、流行語、ネット用語は社会の焦点の移り変わりを記録し、文化生態の脈絡を表している。特に多くのネット用語は社会文化あるいはその年の出来事が派生したものである。それにより、例えば現代社会で生活している人々の現状、すなわち、過酷な勤務時間、悩み、ストレスなど、による焦りと無力感を表すと同時に、ストレス解消法を反映する言葉であり、また新たな価値観(他人の目を気にしない生活スタイル、物が豊かな時代に、生活から引き算)を世の中に送り出した言葉が以下の言葉である。「雨女無瓜」、「傷不起」、「996」、「我太南了」、

「我不要你覚得、我要我覚得」、「好嗨喲」、「誇誇群」、「断捨離」

社会生活の新しい現象と変化を映し出す政府の取り組み、国民に奉仕するという共産党 大会の初心を表している言葉は、「不忘初心」、「基層減負年」、「接訴即弁」である。 今年度の経済・社会発展において話題になった出来事と関連して、中国経済の新興の活力源と農村の産業振興の新たな原動力を表す言葉は、「夜経済」、「郷字号」である。三大大手通信会社の56料金プランが正式スタートし、2019年は「56元年」となった。中米貿易交渉や香港のデモの関係で1年が波乱万丈だったこと、また2019年は中華人民共和国建国70周年にあたり、新中国は貧しく弱い国から世界の強国になり、2019年の国慶節祝賀イベントは、新中国成立後の輝かしい成果を全面的に紹介した。閲兵式で検閲を受けた陸・海・空軍の隊列が颯爽とした姿で威勢を示し、大国の兵器が次々と登場し、国民を奮い立たせた。群衆で結成された「素晴らしい生活」などの隊列は、世界に中国人の生気にあふれた姿を見せつけた。しかし、香港の暴徒が中国国旗を海に投げ捨てた行為に対し、CCTVは同日にミニブログのトピックスで「五星紅旗には14億の護旗手あり」と発表し、トップに表示した。多くのネットユーザーがコメントを残し、転載し、祖国への愛、国旗を守るという嘘偽りのない感情を表現した。改めて愛国主義は国全体に広まって、新中国がなければ私たちの現在の幸せな生活もないと愛国一色から発生した言葉は「止暴制乱」、「我和我的祖国」、「金色十年」、「学習強国」、「中米貿易交渉」であることが分かった。

#### Ⅲ. 社会的要因によるに新語、流行語、ネット用語

まず、社会的要因による新語、流行語、ネット用語の事例を分析していく。一つ目の事例は、人民網に2018年から2019年に掲載された週間時事用語を整理・説明する<sup>3</sup>。

1.上海市では2019年7月に全国で初めてごみの分別が義務化された。「上海市生活ゴミ管理条例」の施行スタートと共に流行った「你是什麼垃圾?(あなたは何ゴミ?)」という挨拶などは、2019年の中国における社会的な現象を反映しており、ゴミを手に分別に悩む上海市民の姿を垣間見ることができる。2019年はゴミ分別が大きな話題になった。ゴミに関するホットワードも数多く登場し、なかでも「あなたは何ゴミ?」のフレーズは、挨拶代わりに使われるようになったことと共に人気を博した。上海市第15期人民代表大会第3回会議が15日に開幕し、上海市内居住エリアのゴミ分別排出率が15%から90%まで向上したことが明らかになった4。

以下の言葉は、ごみの分別が義務化された社会の変化を反映していることが分かる。物が豊かな時代に、生活から引き算していく価値観が定着した「断捨離」の事例である。

- ①垃圾分类 → ゴミ分別
  - (中)继上海开展强制垃圾分类之后,北京的垃圾分类立法工作也提上日程。
- (日)「ゴミ分別」が義務づけられた上海に続き、北京もゴミ分別関連法の立法化をめ ぐる取り組みに着手した。
  - ②断舍离 → 断捨離
    - (中) 近日, 生活整理概念"断舍离"的提出者山下英子的新书在中国出版。
- (日) 生活整理概念「断捨離」の提唱者であるやましたひでこ氏の新刊がこのほど、中国で発売された。
  - ③低欲望社会 → 低欲望社会

- (中)相对于过去只看工资、物质上的保障,现在年轻人的要求更趋多元,也相对不那么"功利"。有人与日本的"低欲望社会"相比,其实,"低欲望"并不等于没有欲望,丧失追求和梦想。
- (日)かつてのような給料や物質的な保障ばかりを重視する姿勢に比べ、今の若者の要求はより多様化し、相対的に以前ほど「功利的」ではなくなった。日本の「低欲望社会」と比較する人もいるが、実は「低欲望」は欲望がないということではなく、追いかけるものや夢見るものを失った状態でもない。
  - ④一次性餐具 → 使い捨て食器
    - (中)餐饮经营单位和餐饮配送服务提供者不得主动向消费者提供一次性餐具。
- (日)飲食業経営企業およびフードデリバリー提供者は、消費者に使い捨て食器を自ら進んで提供してはいけない。
  - ⑤慢生活 →スローライフ
- (中)日本快节奏和琐碎的工作事务常令自己十分困扰,如今很享受在中国西部高校的慢生活。
- (日)日本のテンポの速い生活リズムや細々とした煩わしい業務に悩まされてきたが、 今は、中国西部の大学で、スローライフを存分に楽しんでいる。
- 2. 携程旅遊網とマスターカードが 2019 年 4 日に共同で発表した「2019 年中国海外旅行消費報告」によると、海外旅行はすでに中国人にとってレジャーにおける重要な選択肢の一つとなっており、急成長を遂げている。海外旅行者数は、引き続き市場の発展を後押している5。そして、中国の国家移民管理局が発表した統計データによると、2019 年に中国全土の出入国検査機関において出入国検査を受けた出入国者の総数は、前年比 3.8%増の延べ6億7千万人に達した 2019 年、北京や上海など18ヶ所の口岸(出入境検査場)に89本の「一帯一路(the Belt and Road)」専用検査通路が設けられ、延べ29万人に迅速な通関検査という便宜がもたらされた6。また携程旅遊網とマスターカードが北京でこのほど共同で発表した「2019 年中国海外旅行消費報告」から、2019 年も海外旅行市場の急成長が続き、海外旅行は新たな潜在力によってけん引され、沈下型拡散のトレンドが顕著にみられる現状が明らかになった。親子旅行は今年、2 桁台の伸びを見せただけでなく、観光業における「新勢力」の地位をさらに固めつつある。親子旅行の1人1回あたりの関連商品消費額は、それ以外の旅行を18%上回り、6190元に達した。中国新聞網が伝えた7。その中国の海外旅行ブームによる新語、流行語、ネット用語を以下にまとめる。
  - ①落地签 → アライバルビザ
    - (中) 随着波黑月底对中国开放免签, 目前涉及免签、落地签的欧洲国家已经高达7个。
- (日) ボスニア・ヘルツェゴビナが今月末から中国人を対象に査証(ビザ)免除措置を 実施したことで、中国人を対象にビザ免除・アライバルビザ措置を実施する欧洲の国は 7 ヶ国となった。
  - ②包机 → チャーター便
  - (中) 长沙一家大型旅行社联合上海某旅行社,准备增开境外避暑游包机和专列。

- (日)長沙市の某大手旅行社は上海の旅行社とタイアップして、海外避暑旅行用チャーター便・貸し切り列車を増発する予定だ。
  - ③分期旅行 → ローン旅行
- (中)近年来分期旅行使用人数上升趋势明显,20岁到25岁年轻人使用程度最高,因为学生族、职场新人等自有资金不足,但旅行需求旺盛,"先出游、后付款"模式的旅游信贷类产品满足了这部分人群的旅游需求。
- (日)最近はローン旅行の利用者数の増加傾向が目立ち、20~25歳の若年層の利用頻度が最も高い。学生や新入社員などは十分な自己資金を持たないが、旅行ニーズは旺盛で、「まず出かけて、後から支払う」モデルのローン旅行商品がこうした人々のニーズに応えている。
  - ④游记 → 旅行記
- (中)以马蜂窝为例,其 APP 上最前面的两个标签就是攻略和游记。当边看攻略边预订已 经成为了趋势时,休闲旅游消费决策过程会越来越短。
- (日) 馬蜂窩旅行網を例に挙げると、アプリのトップページの目立つ場所に「攻略」と「旅行記」コンテンツがレイアウトされている。現在すでに「攻略」を参考にした上で、旅行を予約するというのが多くの人の習慣となっており、旅行消費を決定するまでのプロセスがますますコンパクトになってきている。
  - ⑤亲子游 → 親子旅行
- (中)大众旅游时代,旅游休闲已成为百姓的生活常态。家庭亲子游是春季旅游市场热点, 度假休闲、观光游和探险游是居民旅游的主要目的。
- (日) 現在、旅行に出かけることは多くの人にとって暮らしの一部となっている。春の旅行市場では、家族・親子旅行が人気で、旅行の目的で多いのはリゾート、観光、探検などだった。
  - ⑥准点率 → 定時就航率
- (中) 航空数据企业 0AG 年度综合报告说,2017年全球准点率最高的航空运营商是日本航空公司,准点率最高的机场是日本东京羽田机场。
- (日) 航空関連データを提供する 0AG 社がまとめた年度総合報告書によると、2017年に世界で定時就航率が最も高かった航空会社は日本の日本航空(JAL)だった。定時就航率が最高の空港は日本の東京にある羽田空港(東京国際空港)だった。
  - ⑦正点率 → ダイヤ遵守率
- (中) 长沙磁浮快线运营两年来实现全面安全运营,累计开行列车89450列次,总运营里程168.37万公里,列车正点率99.85%。
- (日)長沙リニア快線は2年間にわたって全面的な安全運行を実現している。運行本数は累計8万9450本、運営距離は168万3700キロで、ダイヤ遵守率は99.85%。
  - ⑧网约车 → オンライン配車
- (中)为助力网约车和商用车行驶安全,360和华鑫北斗将共同研发北斗车载音视频人脸识别智能监管终端设备。

(日) オンライン配車と商用車の走行安全をサポートするため、ネットセキュリティ大手の360と華鑫北斗は北斗車載音声・動画顔認証スマート監督管理端末設備を共同開発する。

以上の言葉から、「中国の海外旅行延べ人数が引き続き上昇していること、庶民化の方向で成長する市場であること、また多くの新たな航空路線が開通し、消費能力も全体的に高まるのにつれて、一線都市以外が成長の主なエンジンとなっていることが分かった。観光客の年齢分布の主な成長層が、「50後(1950年代生まれ)」、「60後(1960年代生まれ)」 および「90後(1990年代生まれ)」、「00後(2000年代生まれ)」という両端となるダンベル曲線を描いている。特に、若年層の成長ぶりは顕著で、今後の発展潜在力も高い。「90後」の成長が最も著しく、複合年間成長率は58%に達した。比重がいずれも高かったショッピングと体験レストランや博物館、特色あるパフォーマンスが、海外旅行の重点項目となっている。また人気の旅行目的地トップ20のうち、東南アジアが8つを占めた」という社会背景を反映していることが分かった。

#### Ⅳ. 経済的な要因によるに新語、流行語、ネット用語

中国国家統計局は2019年1月17日、2019年の全国国民の一人あたり可処分所得が3万733元 (1元は約16.0円)に達し、初めて3万元を突破したことを発表した。前年と比較すると、名目増加率は8.9%、物価要因を考慮した実質増加率は5.8%だった。このうち都市部住民の平均は4万2359元となり、名目で7.9%増加し、実質で5.0%増加した。農村部住民の平均は1万6021元となり、名目で9.6%増加、実質で6.2%増加だった。

商務部(省)の銭克明副部長が2019年1月21日に国務院新聞弁公室で行われた記者会見で明らかにしたところによると、2019年には、中国の社会消費財小売総額は41兆2千億元(1元は約15.8円)に上り、前年同期比8%増加した。消費は経済成長に対する寄与度が57.8%となり、GDPを3.5ポイント引き上げ、6年連続で経済成長の最大の牽引力になったことを、新華社が伝えた。銭氏は、「2019年には、国民一人あたりの平均サービス関連消費支出の占める割合が45.9%になり、前年比1.7ポイント上昇した。農村部の消費成長率は9%で、都市部を1.1ポイント上回った。また実物商品のオンライン小売が19.5%増加し、高品質化・個性化・多様化した消費が増加した」と述べた8。その経済状況を反映する言葉の事例を、人民網に2018年から2019年に掲載された週間時事用語から整理・説明する。

- ①一站式购物 → ワンストップ式ショッピング
- (中)美国人口居住比较分散,送货到家成本很高,对于美国消费者来说,周末去郊区大规模一站式购物是刚需。
- (日)米国では住宅があまり密集していないため、商品を家まで運ぶコストが高くつく。 米国人消費者にとって、週末の郊外での大規模・ワンストップ式ショッピングは堅い需要 だといえる。
  - ②直播帯货 → ライブコマース
- (中) 2018 年,淘宝直播带货能力已超千亿元。今年"双 11",仅在预售阶段,淘宝就有1.7万个品牌开启直播。

- (日) 2018 年、淘宝ではライブコマースを通じた売上高が 1000 億元を超えた。今年の「ダブル 11 (ネット通販イベント)」は、予約販売の段階で、淘宝に進出している 1 万 7000ブランドがライブ配信を行った。
  - ③网络零售额 → オンライン小売総額
    - (中) 11 月 1 日至 11 日, 全国网络零售额超 8700 亿元, 同比增长 26.7%, 创史上新高。
- (日) 11 月 1 日から 11 日までの全国オンライン小売総額は 8700 億元 (1 元は約 15.5 円) に上り、前年同期比 26.7%増加して、過去最高を更新した。
  - ④用户黏性 → 顧客ロイヤルティ
- (中)6日,天猫国际、第一财经商业数据中心联合发布《2017年度进口消费趋势报告》。 报告显示,在进口消费的新增消费者中,5次及以上复购人群占比近 17%,用户黏性逐渐增强,进口消费常态化趋势渐显。
- (日) 天猫国際 (Tmall グローバル) と第一財経商業データセンター (CBNData) が6日に共同で「2017年度輸入消費情勢報告」を発表した。これによると、輸入消費の新たな消費者のうち、5回以上購入した人々が約17%を占め、ユーザーの顧客ロイヤルティが徐々に高まり、輸入消費が常態化している傾向が明らかになっている。
  - ⑤手势识别 → ジェスチャー認識
    - (中) 支付宝则在继续"集五福"分红包的同时,推出了AR手势识别得红包等玩法。
- (日)支付宝(アリペイ)は5枚の福カードを集めてお年玉をもらう「集五福」を引き続き展開するほか、拡張現実(AR)で手の動きを読み取るジェスチャー認識でお年玉をもらうスタイルなどを打ち出している。
  - ⑥ (游戏/直播) 充值 → 課金
    - (中)数据显示,点外卖、网上购物、游戏/直播充值等是这些白领主要的场景消费活动。
- (日)統計によると、デリバリーの利用やオンラインショッピング、オンラインゲーム やライブ配信への課金などが、ホワイトカラーの主な消費シーンとなっている。
  - ⑦循环经济 → リサイクル経済
- (中)对于以租代买这种形式的出现,42.1%的受访青年觉得循环经济不断发展,租用更加低碳环保。
- (日) 「買わずにレンタルする」というスタイルが登場したことについて、42.1%の若者は「リサイクル経済がますます発展し続ける中、レンタルはより低炭素で環境保護になる」という考えを示した。
  - ⑧分期消费 → 分割払い消費
- (中)统计发现,年轻用户偏爱分期消费,但并不像一些人认为的"超出能力范围的过度消费",他们大部分人会将月供控制在400元以内。
- (日)統計からわかるのは、若いユーザーは分割払い消費を好むが、一部の人が考えるような「自分の支払い能力を超えた過剰な消費」はしていないという点。ほとんどが毎月の支払額を 400 元以内にコントロールしている。
  - ⑨ 风险投资 → ベンチャーキャピタル
- (中) 2013 年至 2016 年,中国吸引的风险投资从大约 30 亿美元猛增至 340 亿美元,增幅全球领先。

- (日) 中国が 2013 年から 2016 年に呼び込んだベンチャーキャピタルは、約 30 億ドルから 340 億ドルに激増し、伸び率で世界トップになった。
  - ⑩夜经济 : ナイトタイムエコノミー
    - (中) 作为夜经济消费的重要一环,餐饮夜间消费情况备受关注。
- (日) 中国ではナイトタイムエコノミーの重要な構成要素である夜間の飲食消費の状況 に今、注目が集まっている。
  - ⑪碎片化消费 → 断片化消費
- (中)不只迷你歌咏亭和传统的抓娃娃机,市场上从碎片化时间里挖掘出来的"新经济"产品随处可见。共享按摩椅、自助果汁机、VR游戏体验等碎片化消费项目逼布商场、电影院、餐馆等地。
- (日) 隙間時間を利用することで掘り出された消費モデルは、ミニ歌咏亭(ミニカラオケの正式名称)や従来の UFO キャッチャーだけではない。市場には隙間時間から生まれた「新経済」商品が多く存在する。シェアマッサージチェアやジュースディスペンサー、VRゲームなどの断片化消費モデルは、ショッピングモールや映画館、飲食店などに進出している。
  - ⑩懒人经济 → ものぐさ経済
- (中)作为互联网商业模式的代表,020 体现的正是一种典型的懒人经济,线上和线下结合的商业模式,不但改变了大众的生活习惯,也使消费者有了更丰富的消费渠道。
- (日) ネットビジネスモデルの代表である 020 が体現するのは、一種の典型的なものぐさ経済であり、オンラインとオフラインを結び付けたビジネスモデル。これは人々の生活習慣を変えただけでなく、消費者により豊富な消費ルートをもたらした。
  - ⑬ 她经济 → ウーマノミクス
- (中) 2014 年中国内地女性经济市场规模近 2.5 万亿元, 而到 2019 年, 这个数字或将增长至 4.5 万亿元。"她经济"越来越强的生命力,成为消费领域各行业绕不开的焦点。
- (日) 2014 年、中国大陸部のウーマノミクス市場は約2兆5000億元規模に達し、19年には4兆5000億元にまで拡大すると予想されている。ますますその力を強める「ウーマノミクス」は、消費分野における各業界の注目の的となっている。
  - ⑭单身经济 → おひとり様経済
- (中)数据显示,2017年中国成年单身人群已达2.22亿人,占到总人口15%。庞大的单身人士带动了新的消费态势--单身经济。
- (日) データによると、2017年には中国の成人単身男性が 2 億 2200万人に達し、総人口に占める割合は 15%になった。膨大な数の単身者は新たな消費トレンドといえる「おひとり様経済」を生み出している。

以上の事例中でも「夜経済(ナイトタイムエコノミー)」は2019年流行語の一つとなっている。中国の大都市圏天津、上海、北京などの都市が相次いで関連措置を打ち出し、夜間経済の発展を強く後押ししている。熱気あふれる夜間消費の背後では、新たなビジネスパワーが絶えず活性化されている。また消費者のニーズの多様化による言語「她经济」、「懒人经济」、「碎片化消费」、「风险投资」、「分期消费」も2019年の中国の経済面の変化の特徴を反映していることが分かる。また例⑭の単身经济(おひとり様経済)には、数字の1が並

ぶ11月11日が、パートナーがいなくても1人で楽しむ「独身の日」であること当てはまる。中国のネット通販大手アリババが2009年に初開催した「独身の日セール」から広がったといわれる。今では、1人鍋、1人カラオケ、独身向けスナック菓子など中国では「おひとり様」サービスが大盛況だ。中国では単身者を連想させる「1」が並ぶ11月11日を「独身の日」としているが、前述のとおり、近年ではネットショッピングの販促日として知られるようになり、「独身の日」セールの経済効果は年々拡大している。

若者世代の孤独感は「お一人様経済」の発展も促進させ得る。中国青年報社社会調査センターが18~35歳を対象に実施したアンケート調査によると、全体の67.6%が「外食する際に気まずさを感じている」という。1人で外食をするときには「手早く済ませたい」(回答率48.5%)、「目立たない席を選んで座る」(37.1%)、「注文量に戸惑う」(36.0%)という声が上がった。他にも、「お一人様のためにレストランの内装を変更する必要があると思う」と回答した人は71.5%に上り、そのうち21.5%は「非常に必要だ」と考えている。今後の中国では、大人数で円卓を囲み、大皿に盛られた中華料理と白酒を酌み交わすことのできる飲食店だけではなく、1人で気楽に食事をすることのできる飲食店も人気を集めるかもしれない。

#### V. 終わりに

社会の変化とともに、言葉も変化する。言葉の変化は社会の変化と緊密に関わり、社会の変化に大きな影響力がある社会現象と物事のあらゆる価値観への変化による影響が大きいことが分かる。新語は常に生活する人々の願望や欲求と共に存在し、その時代のトレンドと共に姿を変える。人々の視線がグローバルになり、価値観が多様化しているこの時代に広告を研究する場合、単に消費者や広告を眺める視聴者としてだけでなく、生活者としての実態を深く学ぶ必要があると考え、今研究は 2019 年 12 月 16 日、中国国家言語資源観測研究センターから、ネットユーザーが 2019 年度 10 大新語、10 大流行語、10 大インターネット用語はいかにいまの中国社会を客観的に反映しているかということが分かった。今後はさらに新語から見る社会的ブーム、ネット用語の定着とその社会的要因について研究を進めることで、新たな進展を図りたいと考える。

#### 【参考文献】

楊 春宇 上野 恵司·王 占華『中国言語生活状況報告書第1巻』、中国教育部言語文字信息管理司、中国書店 2017年12月15日

楊 春宇 上野 恵司·王 占華『中国言語生活状況報告書第2巻』、中国教育部言語文字信息管理司、中国書店 2019年8月26日

2020年1月7日

 $<sup>^{1}</sup>$  http://japanese.china.org.cn/life

<sup>「</sup>中国語総括 2019」「中国網日本語版 (チャイナネット)」

<sup>2019</sup>年12月23日

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup> http://japanese.china.org.cn/life

<sup>「</sup>中国語総括 2019」「中国網日本語版 (チャイナネット)」

<sup>2019</sup>年12月23日

 $<sup>^{3}</sup>$  http://j.people.com.cn/n3/2020/0110/c207985-9647803.html

<sup>「</sup>週間時事用語」「人民網」

<sup>2018</sup>年1月~2020年2月

<sup>4</sup>http://japanese.china.org.cn/life

<sup>「2019</sup>年は平均可処分所得が初めて3万元突破 統計局

<sup>」「</sup>中国網日本語版 (チャイナネット)」

http://japanese.china.org.cn/life「人民網日本語版」
 2019年12月5日
 中国人海外旅行者数は引き続き上昇、市場発展も継続して推進

6 http://japanese.china.org.cn/life 人民網日本語版」2020 年 1 月 6 日7 http://japanese.china.org.cn/life 人民網日本語版」2019 年 12 月 10 日

「2019年における海外旅行の増加スピードトップは若者、消費力トップは中高年」

8 http://japanese.china.org.cn/life 人民網日本語版」 2019 年 12 月 10 日「2019 年の社会消費財小売総額」

## 憲法 35 条と行政手続

横瀬 浩司 横瀬 富如 (愛知産業大学短期大学教授)(愛知産業大学短期大学非常勤講師)

# Article 35 of the Constitution and Administrative Procedure

Koji YOKOSE Fuyuki YOKOSE

#### →要旨

税務調査における税務職員の質問検査あるいは税関職員による郵便物検査などの行政手続は、憲法 35 条に規定する令状主義に反するのではないかという問題について考察・検討した。令状主義の保障の程度は、各行政手続の性質に応じて検討していくほかなく、法令に詳細な規定をおくことは、現状では実現は困難である。また、今後の判例の集積を待つことは、事後的にしか保障の有無がわからないため、権力行使の事前抑制という令状主義の精神からみて問題が残ることを論究した。

#### →**キ**ーワード

- ・憲法 35 条の令状主義
- 行政手続
- プライバシーの保護

#### I. はじめに

憲法 35 条に規定する令状主義は、本来、主として刑事責任追及の手続における強制について、それが司法権による事前の抑制の下におかれるべきことを保障した趣旨であるが、税務調査における税務職員の質問検査あるいは税関職員による郵便物検査などの行政手続にも、適用ないし準用されるかが問題となる。本稿においては、この問題点について、判例の動向及び学説の分析を通じて、考察・検討したい。

#### Ⅱ. 憲法 35 条の法意

憲法 35条1項は「何人も、その住居、書類及び所持品について、侵入、捜索及び押収を受けることのない権利は、第33条の場合を除いては、正当な理由に基いて発せられ、且つ捜索する場所及び押収する物を明示する令状がなければ、侵されない。」とし、同条2項は「捜索又は押収は、権限を有する司法官憲が発する各別の令状により、これを行ふ。」とする。これは、令状主義を規定したもので、捜査機関が一定の行為を行う場合には裁判官が事前に発した令状に基づかなければならないという原則である。

憲法 35条の規定は、本来、主として刑事責任追及の手続における強制について、それが司法権による事前の抑制の下におかれるべきことを保障した趣旨であるが、税務調査における税務職員の質問検査あるいは税関職員による郵便物検査などの行政手続にも、適用されるかが問題となる。

この問題点について、最高裁が初めて判断したのが、「川崎民商事件」である。「川崎民商事件」とは、川崎民主商工会役員も務めたこともある食肉販売業者に昭和 37 年度の所得税確定申告に過少申告の疑いがあったため、川崎税務署職員 3 名が帳簿書類の検査のため食肉販売業者店舗に赴いたところ、食肉販売業者は「ダメだ、ダメだ、事前通知がなければ調査に応じられない」等と大声をあげたり、税務署職員の左上膊部を引っ張るなどして検査を拒んだ。そのため、食肉販売業者は旧所得税法(昭和 40 年 3 月 31 日法律 33 号による改正前の所得税法)違反の検査拒否罪で在宅起訴されたものである。

第1審(横浜地判昭和41年3月25日金判346号11頁参照)は被告人に罰金1万円執行猶予2年の有罪判決を言い渡し、控訴審(東京高判昭和43年8月23日金判346号6頁参照)は第1審判決を破棄して被告人に罰金1万円の有罪判決を言い渡した。被告人は裁判所の令状なしに強制的な検査を認める旧所得税法及び質問に対する検査拒否罪は憲法35条の令状主義等に反すると主張して上告した。

最高裁昭和 47年 11月 22日大法廷判決(刑集 26巻 9号 554 頁)は、「たしかに、旧所得税法 70条 10号の規定する検査拒否に対する罰則は、同法 63条所定の収税官吏による当該帳簿等の検査の受忍をその相手方に対して強制する作用を伴なうものであるが、同法 63条所定の収税官吏の検査は、もつばら、所得税の公平確実な賦課徴収のために必要な資料を収集することを目的とする手続であつて、その性質上、刑事責任の追及を目的とする手続ではない、

また、右検査の結果過少申告の事実が明らかとなり、ひいて所得税逋脱の事実の発覚に もつながるという可能性が考えられないわけではないが、そうであるからといつて、右検 査が、実質上、刑事責任追及のための資料の取得収集に直接結びつく作用を一般的に有するものと認めるべきことにはならない。けだし、この場合の検査の範囲は、前記の目的のため必要な所得税に関する事項にかぎられており、また、その検査は、同条各号に列挙されているように、所得税の賦課徴収手続上一定の関係にある者につき、その者の事業に関する帳簿その他の物件のみを対象としているのであつて、所得税の逋脱その他の刑事責任の嫌疑を基準に右の範囲が定められているのではないからである。

さらに、この場合の強制の態様は、収税官吏の検査を正当な理由がなく拒む者に対し、同法 70 条所定の刑罰を加えることによつて、間接的心理的に右検査の受忍を強制しようとするものであり、かつ、右の刑罰が行政上の義務違反に対する制裁として必ずしも軽微なものとはいえないにしても、その作用する強制の度合いは、それが検査の相手方の自由な意思をいちじるしく拘束して、実質上、直接的物理的な強制と同視すべき程度にまで達しているものとは、いまだ認めがたいところである。国家財政の基本となる徴税権の適正な運用を確保し、所得税の公平確実な賦課徴収を図るという公益上の目的を実現するために収税官吏による実効性のある検査制度が欠くべからざるものであることは、何人も否定しがたいものであるところ、その目的、必要性にかんがみれば、右の程度の強制は、実効性確保の手段として、あながち不均衡、不合理なものとはいえないのである。

憲法 35 条 1 項の規定は、本来、主として刑事責任追及の手続における強制について、それが司法権による事前の抑制の下におかれるべきことを保障した趣旨であるが、当該手続が刑事責任追及を目的とするものでないとの理由のみで、その手続における一切の強制が当然に右規定による保障の枠外にあると判断することは相当ではない。しかしながら、前に述べた諸点を総合して判断すれば、旧所得税法 70 条 10 号、63 条に規定する検査は、あらかじめ裁判官の発する令状によることをその一般的要件としないからといつて、これを憲法 35 条の法意に反するものとすることはできず、前記規定を違憲であるとする所論は、理由がない。」とした。

最高裁昭和 47年 11月 22日大法廷判決は、旧所得税法 63条所定の収税官吏による検査は、①その性質上、刑事責任の追及を目的とする手続ではない、②実質上、刑事責任追及のための資料の取得収集に直接結びつく作用を一般的に有するものではない、③その作用する強制の度合いは、実質上、直接的物理的な強制と同視すべき程度にまで達しているものとはいえない、④公益上の目的、必要性にかんがみれば、その程度の強制は、実効性確保の手段として、あながち不均衡、不合理なものとはいえないとし、以上を総合して判断すると「旧所得税法 70条 10号、63条に規定する検査は、あらかじめ裁判官の発する令状によることをその一般的要件としないからといつて、これを憲法 35条の法意に反するものとすることはでき」ないとする 1)。

この行政手続の①目的性、②作用性、③その作用の間接性、④公益上の必要性・合理性の「総合判断」という枠組みは、「成田新法事件」にも踏襲されている。

「成田新法事件」とは、「新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法」(以下成田新法という。現在の名称は「成田国際空港の安全確保に関する緊急措置法」)に基づき、三里塚芝山連合空港反対同盟所有の通称「横堀要塞」に対して、成田新法3条1項1号に基づく工作物使用禁止命令が昭和54年以降毎年更新され出されたが、その使用禁止命令の取消と損害賠償を求められた事件である。

第1審、第2審とも、使用禁止命令取消については、1年ごとの更新のため、期限が過ぎたため訴えの利益がなくなったとして訴えを却下し、国家賠償請求についても棄却した。

最高裁平成 4 年 7 月 1 日大法廷判決 (民集 46 巻 5 号 437 頁) は、「憲法 35 条の規定は、本来、主として刑事手続における強制につき、それが司法権による事前の抑制の下に置かれるべきことを保障した趣旨のものであるが、当該手続が刑事責任追及を目的とするものではないとの理由のみで、その手続における一切の強制が当然に右規定による保障の枠外にあると判断することは相当ではない(最高裁昭和 44 年 (あ) 第 734 号同 47 年 11 月 22 日大法廷判決・刑集 26 巻 9 号 554 頁)。しかしながら、行政手続は、刑事手続とその性質においておのずから差異があり、また、行政目的に応じて多種多様であるから、行政手続における強制の一種である立入りにすべて裁判官の令状を要すると解するのは相当ではなく、当該立入りが、公共の福祉の維持という行政目的を達成するため欠くべからざるものであるかどうか、刑事責任追及のための資料収集に直接結び付くものであるかどうか、また、強制の程度、態様が直接的なものであるかどうかなどを総合判断して、裁判官の令状の要否を決めるべきである。

本法 3 条 3 項は、運輸大臣は、同条 1 項の禁止命令をした場合において必要があると認めるときは、その職員をして当該工作物に立ち入らせ、又は関係者に質問させることができる旨を規定し、その際に裁判官の令状を要する旨を規定していない。しかし、右立入り等は、同条 1 項に基づく使用禁止命令が既に発せられている工作物についてその命令の履行を確保するために必要な限度においてのみ認められるものであり、その立入りの必要性は高いこと、右立入りには職員の身分証明書の携帯及び提示が要求されていること(同条 4 項)、右立入り等の権限は犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならないと規定され(同条 5 項)、刑事責任追及のための資料収集に直接結び付くものではないこと、強制の程度、態様が直接的物理的なものではないこと(9 条 2 項)を総合判断すれば、本法 3 条 1、3 項は、憲法 35 条の法意に反するものとはいえない。」と判示している。

以上の「川崎民商事件」最高裁昭和 47年 11月 22日大法廷判決と「成田新法事件」最高裁平成 4年7月1日大法廷判決を先例として、郵便物の輸出入の簡易手続として税関職員が無令状で行った検査等について、関税法(平成 24年法律第 30 号による改正前のもの)76条、関税法(平成 23年法律第 7号による改正前のもの)105条1項1号、3号によって許容されていると解することが憲法 35条の法意に反しないとされた事例がある。

この「税関職員による郵便物検査事件」の事案は、以下のようである。平成 24 年 8 月 21 日、東京税関職員が、郵便事業株式会社内において、国外から本邦に発送された郵便物(以下「本件郵便物」という)につき、品名不明のため本件郵便物の外装箱を開披し、ボトルが 2 本入っているのを確認し(ア)、両ボトルにつき TDS 検査(不正薬物・爆発物探知装置による検査)2)をしたところ(イ)覚せい剤反応があっため、税関の審理官に本件郵便物を引き継いだ。同審理官は、ボトルの蓋を開け、中の固形物の破砕片からごく微量を取り出し、仮鑑定をしたところ(ウ)陽性反応を示したため、同税関調査部に鑑定を依頼した。鑑定の結果、覚せい剤と判明したため、同年 8 月 24 日、本件郵便物は裁判官の発付する差押許可状により差し押さえられた。

第1審(東京地判平成26年3月18日判例タイムズ1401号373頁)は、被告人に対して、覚せい剤の営利目的輸入の共同正犯及び関税法上の輸入してはならない貨物の輸入未

遂の共同正犯が成立するとして、有罪判決を言い渡した。

控訴審 (東京高判平成 27年 2月 6日高刑速 [平 27] 号 61頁) は、証拠能力をみとめた第1審の判断を概ね正当として是認できるとし、控訴を棄却した。

弁護人は、本件郵便物に対して行われた前記ア~ウまでの各検査等は、憲法 35 条に違反するなどと主張し、上告した。

最高裁平成 28 年 12 月 9 日判決 (刑集 70 巻 8 号 806 頁) は、以下のように判示し、上告を棄却した。

「ところで、憲法 35 条の規定は、主として刑事手続における強制につき、司法権による事前抑制の下に置かれるべきことを保障した趣旨のものであるが、当該手続が刑事責任 追及を目的とするものではないとの理由のみで、その手続における一切の強制が当然に同 規定による保障の枠外にあると判断することは相当でない。

しかしながら、本件各規定による検査等は、前記のような行政上の目的を達成するため の手続で、刑事責任の追及を直接の目的とする手続ではなく、そのための資料の取得収集 に直接結び付く作用を一般的に有するものでもない。また、国際郵便物に対する税関検査 は国際社会で広く行われており、国内郵便物の場合とは異なり、発送人及び名宛人の有す る国際郵便物の内容物に対するプライバシー等への期待がもともと低い上に、郵便物の提 示を直接義務付けられているのは、検査を行う時点で郵便物を占有している郵便事業株式 会社であって、発送人又は名宛人の占有状態を直接的物理的に排除するものではないから、 その権利が制約される程度は相対的に低いといえる。また、税関検査の目的には高い公益 性が認められ、大量の国際郵便物につき適正迅速に検査を行って輸出又は輸入の可否を審 査する必要があるところ、その内容物の検査において、発送人又は名宛人の承諾を得なく とも、具体的な状況の下で、上記目的の実効性の確保のために必要かつ相当と認められる 限度での検査方法が許容されることは不合理といえない。前記認定事実によれば、税関職 員らは、輸入禁制品の有無等を確認するため、本件郵便物を開披し、その内容物を目視す るなどしたが、輸入禁制品である疑いが更に強まったことから、内容物を特定するため、 必要最小限度の見本を採取して、これを鑑定に付すなどしたものと認められ、本件郵便物 検査は、前記のような行政上の目的を達成するために必要かつ相当な限度での検査であっ たといえる。このような事実関係の下では、裁判官の発する令状を得ずに、郵便物の発送 人又は名宛人の承諾を得ることなく、本件郵便物検査を行うことは、本件各規定により許 容されていると解される。このように解しても、憲法 35条の法意に反しないことは、当 裁判所の判例(最高裁昭和 44 年(あ)第 734 号同 47 年 11 月 22 日大法廷判決・刑集 26 巻 9 号 554 頁、最高裁昭和 61 年 (行ツ) 第 11 号平成 4 年 7 月 1 日大法廷判決・民集 46 巻5号437頁)の趣旨に徴して明らかである。」

この「税関職員による郵便物検査事件」最高裁平成 28 年 12 月 9 日判決も、行政手続の ①目的性、②作用性、③その作用の間接性、④公益上の必要性・合理性の「総合判断」という枠組みを踏襲している。ここで、問題となるのは、「発送人及び名宛人の有する国際郵便物の内容物に対するプライバシー等への期待がもともと低い」というプライバシーへの 言及である。以下、章を改めて問題点を考察・検討する。

#### Ⅲ. 総合判断とプライバシーの保護

以上のように、「川崎民商事件」最高裁昭和 47年 11月 22 日大法廷判決、「成田新法事件」最高裁平成 4年 7月 1日大法廷判決及び「税関職員による郵便物検査事件」最高裁平成 28年 12月 9日判決は、憲法 35条の令状主義が行政手続にも及びうることを一般論として認めている。しかし、各事案の行政手続には令状不要(法令違憲ではない)とされているため、いかなる場合に令状主義が保障されるのかは各判決からは分からない。これは、「川崎民商事件」以来解消されていない疑問であるという本質的な指摘がある 3)。

「川崎民商事件」最高裁昭和 47年 11月 22日大法廷判決は、行政手続が、①その性質上、刑事責任の追及を目的とする手続ではない、②実質上、刑事責任追及のための資料の取得収集に直接結びつく作用を一般的に有するものではない、③その作用する強制の度合いは、実質上、直接的物理的な強制と同視すべき程度にまで達しているものとはいえない、④公益上の目的、必要性にかんがみれば、その程度の強制は、実効性確保の手段として、あながち不均衡、不合理なものとはいえないとし、以上を総合して判断するとした。この行政手続の①目的性、②作用性、③その作用の間接性、④公益上の必要性・合理性の「総合判断」という枠組みは、「成田新法事件」最高裁平成 4年7月1日大法廷判決と「税関職員による郵便物檢查事件」最高裁平成 28年 12月9日判決にも踏襲されている。

しかし、最高裁のあげたこの 4 つの要件は、憲法 35 条の適用基準なのか、憲法 35 条の令状主義の要件についての合憲性判定基準なのか、それとも双方合体したものなのか定かでないという批判がある 4)。また、ほとんどの行政手続は、上記の①から④の事由に該当するであろうから、「憲法 35 条の法意に反する」とされる範囲は、「総合判断」の名の下に極めて狭いものとされようという指摘もある 5)。

この 4 つの要件の「総合判断」は、各事案の特質によって異なったものになるだろう。「税関職員による郵便物検査事件」最高裁平成 28 年 12 月 9 日判決は、行政手続の①目的性、②作用性、③その作用の間接性、④公益上の必要性・合理性の「総合判断」という中で、「国際郵便物に対する税関検査は国際社会で広く行われており、国内郵便物の場合とは異なり、発送人及び名宛人の有する国際郵便物の内容物に対するプライバシー等への期待がもともと低い上に、郵便物の提示を直接義務付けられているのは、検査を行う時点で郵便物を占有している郵便事業株式会社であって、発送人又は名宛人の占有状態を直接的物理的に排除するものではないから、その権利が制約される程度は相対的に低いといえる。」と判示している。これは、比例原則の枠組みの中で、令状主義による保障の要否を決するにあたり、制約される利益の内容と制約の程度を測定する必要性を意味している。

例えば、警察官が宅配便業者の運送過程下にある荷物について、荷送人や荷受人の承諾を得ずに、捜査機関が検証許可状によることなくエックス線検査を行うことは適法かという事案に対して、最高裁平成 21 年 9 月 28 日決定(刑集 63 巻 7 号 868 頁)は、「本件エックス線検査は、荷送人の依頼に基づき宅配便業者の運送過程下にある荷物について、捜査機関が、捜査目的を達成するため、荷送人や荷受人の承諾を得ることなく、これに外部からエックス線を照射して内容物の射影を観察したものであるが、その射影によって荷物の内容物の形状や材質をうかがい知ることができる上、内容物によってはその品目等を相当程度具体的に特定することも可能であって、荷送人や荷受人の内容物に対するプライバシー等を大きく侵害するものであるから、検証としての性質を有する強制処分に当たるも

のと解される。そして、本件エックス線検査については検証許可状の発付を得ることが可能だったのであって、検証許可状によることなくこれを行った本件エックス線検査は、違法であるといわざるを得ない。」としている。これは、社会通念上、国内での封緘や包装をした荷物は、途中で開披されて他人に内容物を見られることなく、荷受人に配達されることが一般的に期待されており、その期待は合理的なものとしての認識を前提していると考えられるという指摘がある 7。

「税関職員による郵便物検査事件」においては、前述の事案では、両ボトルにつき TDS 検査(不正薬物・爆発物探知装置による検査)をしたところ(イ)覚せい剤反応があった 段階で、関税に関する法令の規定による輸出入貨物の取締に関する情報に関すること等の事務をつかさどり、情報を捜査機関に提供し、警察官による捜査へと移行すべく、「郵便物の輸出入の簡易手続」上の検査を終了すべきであった、という根強い批判がある®。

被告人は、関係人の承諾や裁判官が発する令状なしに行われたア〜ウの手続によって取得された証拠に基づき、覚せい剤輸入罪で懲役 12 年罰金 600 万円の有罪判決を受けたのである。

しかし、「結局は、権利制約の程度に関する判断は、国境を越える郵便物に対するプライバシーへの評価に収斂していくことなる。」という指摘があるように 9、「税関職員による郵便物検査事件」最高裁平成 28 年 12 月 9 日判決は、無令状での鑑定とそのために必要な処分を正当化するために、プライバシー及び占有の要保護性の低下を宣言せざるを得なかったかもしれない 10。

#### W. むすびにかえて

確かに、行政手続は、刑事手続とその性質においておのずから差異があり、また、行政目的に応じて多種多様である。その多種多様な行政手続に対して憲法 35条の全面適用を主張するのでない限り、令状主義の保障の程度は、各行政手続の性質に応じて検討していくほかなく、法令に詳細な規定をおくことは、現状では実現は困難であろう。また、今後の判例の集積を待つことは、事後的にしか保障の有無がわからないため、権力行使の事前抑制という令状主義の精神からみて問題が残ることになる 11) 12)。

#### 註

 $<sup>^{11}</sup>$  ここで、憲法 35 条に「違反しない」ではなく、憲法 35 条の「法意に反しない」という表現が用いられたのは、憲法 35 条の「適用」でなく「準用」を念頭に置いているからであろう、という指摘がある(高倉新喜「憲法 35 条の令状主義と無令状で無承諾の行政手続」法学セミナー748 号(2017 年)122 頁参照)。

<sup>2)</sup> 不正薬物・爆発物探知装置検査とは、輸出入される商業貨物、出入国旅客等の携帯品及び国際郵便物等の表面を拭き取り、採取した検体をイオン化し、質量を分析することで、隠匿された覚醒剤等の不正薬物及び爆発物を探知することが可能な検査をいう。

<sup>3)</sup> 中坂泰司『憲法基本判例を読み直す』(有斐閣、2011年)310頁・317頁、中島徹「税関職員による無令状での郵便物検査と憲法 35条」『平成 29 年度重要判例解説』(有斐閣、2018年)29頁参照。しかも、結論において、このような行政手続が令状なくしても憲法に反しないのであれば、違憲の場合はあり得ないのでないかという疑問もある(佐藤幸治「行政調査と憲法」『行政判例百選Ⅱ(第1版)』(有斐閣、1979年)261頁参照)。

<sup>4)</sup> そのため、「川崎民商事件」最高裁昭和 47年 11月 22日大法廷判決が行政手続一般に憲法 35条の制約を原則として認めたのか、それとも場合によっては憲法 35条が適用されうると判示したにとどまるのか定かでない。また、本件質問検査は憲法 35条に反しないとの結論も、本件手続には憲法 35条は適用されないとの趣旨か、それ

とも適用されるが憲法 35条の令状主義の要求を満たしているとの趣旨か、釈然としないとする(松井茂記「行政手続と令状主義および自己負罪拒否特権」『憲法の基本判例第2版』(有斐閣、1996年)161 頁参照)。

- 5) 高倉·前掲註 1)論文 122 頁参照。
- 6) 緑大輔「関税法に基づく税関職員による郵便物の輸出入の簡易手続として行われる無令状検査等が憲法 35条の法意に反しないとされた事例 | TKCローライブラリー新・判例解説 Watch 刑事訴訟法 107号(2017年)3頁参照。
- n 洲見光男「郵便物の輸出入の簡易手続として税関職員が無令状で行った検査等について、関税法(平成 24 年 法律第 30 号による改正前のもの)76 条、関税法(平成 23 年法律第 7 号による改正前のもの)105 条 1 項 1 号、3 号によって許容されていると解することが憲法 35 条の法意に反しないとされた事例」刑事法ジャーナル 52 号 (2017 年)132~133 頁参照。
- 8) 河村有教「税関職員が無令状で行った検査等について、関税法上許容される郵便物の輸出入の簡易手続であるとして憲法 35 条の法意に反しないとされた事例」海保大研究報告 62 巻 1 号(2017 年)187 頁参照。
- 9) 岸野薫「税関職員による無令状での郵便物検査と憲法 35条」TKC ローライブラリー新・判例解説 Watch 憲法 123号(2017年)3 頁参照。
- 10) 過度に射程の広い論理に基づいてないかは疑問とする余地が残るという指摘がある (緑・前掲註 6)論文 4 頁参照)。
  - 11) 野中俊彦·中村睦男·高橋和之·高見勝利『憲法 I 第 5 版』(有斐閣、2012 年) 415 頁参照。
  - 12) 中島·前掲註 3)論文 29 頁参照。

#### 参考文献

石川健治「質問検査権(2)」『租税判例百選「第4版]』(有斐閣、2005年)208~209頁。

川出敏裕「刑事手続と事故調査」ジュリスト1307号(2006年)10~18頁。

河村有教「税関職員が無令状で行った検査等について、関税法上許容される郵便物の輸出入の簡易手続である として憲法35条の法意に反しないとされた事例」海保大研究報告62巻1号(2017年)171~187頁。

岸野薫「税関職員による無令状での郵便物検査と憲法35条」TKCローライブラリー新・判例解説Watch憲法123号(2017年)1~4頁。

笹田栄司「裁判官の令状なしに行われた税関検査の合憲性」法学教室439号(2017年)121頁。

洲見光男「郵便物の輸出入の簡易手続として税関職員が無令状で行った検査等について、関税法(平成24年法律第30号による改正前のもの)76条、関税法(平成23年法律第7号による改正前のもの)105条1項1号、3号によって許容されていると解することが憲法35条の法意に反しないとされた事例」刑事法ジャーナル52号(2017年)128~134頁。

曽根俊文「税務調査判例の展開と行政調査権」論究ジュリスト3号(2012年)47~55頁。

高倉新喜「憲法35条の令状主義と無令状で無承諾の行政手続」法学セミナー748号(2017年)122頁。

中島徹「税関職員による無令状での郵便物検査と憲法35条」『平成29年度重要判例解説』(有斐閣、2018年)28~29頁。

松井茂記「行政手続と令状主義および自己負罪拒否特権」『憲法の基本判例第2版』(有斐閣、1996年)160~163 頁。

緑大輔「関税法に基づく税関職員による郵便物の輸出入の簡易手続として行われる無令状検査等が憲法35条の法意に反しないとされた事例」TKCローライブラリー新・判例解説Watch刑事訴訟法107号(2017年)1~4頁。

南野森「行政手続とデュー・プロセス」『憲法の争点』(有斐閣、2008年)88~89頁。

# 第2期オバマ大統領就任演説に関する 修辞的分析

寺澤 陽美 (愛知産業大学短期大学准教授)

## An Attempted Rhetorical Analysis of President Obama's Second Inaugural Address

Harumi TERASAWA

#### →要旨

アメリカ第 44 代大統領バラク・オバマによる第 2 期就任演説について、修辞法を中心に分析したところ、複数の文や句において類似の形式や構造などを繰り返し用いる対句法、同様あるいは類似の表現を複数の文にわたって各々の文頭に置いて繰り返す、主句反復の技法が特徴的に使用されていた。一定のパターンやリズム、音などを創り出し、聞き手に対して、より印象的な言辞を与えることができるものである。また、第 1 期就任演説で見られたイスラムへの呼びかけなど外向きのメッセージは割愛され、演説の内容には概して国内に視点の比重が置かれた意図が表れていた。

#### →キーワード

- ・バラク・オバマ
- · 第 2 期大統領就任演説
- 英語スピーチ
- 修辞法

#### I. はじめに

第44代アメリカ合衆国大統領バラク・オバマは、2013年1月21日<sup>1)</sup>、首都ワシントン D.C.の連邦議会議事堂前で、集まった聴衆を前に二度目となる就任演説を行い、再選され 新たに始まる4年間を見て語った。第2期大統領就任演説である。

大統領演説は、アメリカにおける代表的なスピーチの一つとされている。オバマ大統領の第 1 期の評価は分かれていたものの、オバマがアメリカ合衆国史上初のアフリカ系大統領であり再選され第 2 期を迎えたことは話題を呼んだ。英語による約 19 分間のスピーチには、多くの聴衆の注目と理解を得るために、どのような意図や要素が込められていたのだろうか。

大統領選の主要論点として、第一に、財政、税制、雇用に代表される「経済」、第二に、軍事、外交、テロ対策を含む「安全保障」、第三に、教育、犯罪対策、同精魂などの「社会問題」の三点がある(鈴木、2010)。また当選後に国内外に向けて行う大統領就任演説は、主に、人々の結合、国家の過去と未来の融合、政治方針の明示、大統領に対する正しい認識を示すといった四つの特徴的な性質を持つ儀式演説であるとされる(鈴木、2009)。このように大きなテーマで多くの聴衆を前にスピーチを行う場合、どのような方法で聞き手を惹きつけ耳を傾けさせ、理解を得ようとするのだろうか。話し手は、どのように聞き手の興味関心を引き、内容を印象付け、主張を理解させ共感を得ようとするのだろうか。こうした方策は、非英語話者にとっても、英語でスピーチを行おうとする時或いは理解しようとする時の重要な手がかりとなると考えられる。スピーチ行為はコミュニケーションの一つであり、非言語と言語が同時に作用する。言語メッセージ活動としては、"visual"と"vocal" さらに"verbal"の三要素が相互依存し内包される(橋本、1988)。この言語メッセージの三要素のうち、本稿では、特に"verbal" つまり言語面に焦点を当て、文言の構造や語彙使用の修辞2つまりレトリックを中心に、考察を試みることとする。

#### Ⅱ. 第2期オバマ就任演説にみられる修辞的特徴

英語で演説、すなわち多くの人々に対してスピーチを行う時、聞き手に対してより印象的に語りかけるため、さまざまな修辞的技法が凝らされる。本稿で扱う第2期オバマ大統領就任演説においては、次のような修辞法が考えられる。聞き手に話し手と一体感を持たせるための人称代名詞"we"の効果的な選択、聴衆に直接語りかけるための疑問文形式の効果的使用、同様あるいは類似の形式や構造をひとつの文中で繰り返し用いる対句法、さらに、同様あるいは類似の表現を複数の文にわたって繰り返す再現といった手法などである。これらの修辞的技法のうち、本稿では、特に特徴的な使用が観察される対句法と反復の手法の使用に注目していきたい。

#### 1. 対句法

パラレリズムとも呼ばれる対句法<sup>3)</sup>は、英語においても書き言葉やスピーチで度々見られる修辞法の一つである。二つ以上の文や句において、類似の形式や構造などを繰り返し用

いることで、文の中に一定のパターンやリズム、音などを読み手や聞き手に印象的に与えることができる。

ここからは、2013 年 1 月 21 日 (現地時間) に行われた第 2 期オバマ大統領就任演説では、どのように対句法が用いられているか、演説の文言から具体的な例を見ていく。なお本稿において扱う文言は、アメリカ・ホワイトハウスが公開する原稿に基づくものを用いることとする。実際の演説の中での登場順に番号を付し、スピーチ原稿からの英文引用に続き、カッコ内に筆者による和訳を記す。なお、スピーチ中の発話 4、表記、句読法は、ホワイトハウスが公開するスピーチ原稿に従っている。また、英文中の下線は修辞の具体的事例を示すために筆者が付したものである。

(1) America's possibilities are limitless, for we possess all the qualities that this world without boundaries demands: <u>youth and drive</u>; <u>diversity and openness</u>; <u>an endless</u> capacity for risk and a gift for reinvention.

(アメリカの可能性は無限です。なぜなら、ボーダーレス化する世界が求める資質を 我々はすべて持っているからです。それは若さと活力であり、多様性と開放性であり、 無限の危機対応能力とさらなる改革の才能なのです。)

アメリカの持つ無限の可能性を述べるなかで、まず若さと活力、次に多様性と開放性、 さらに危機対応能力と改革の力といった意味上類似性の認められる名詞を含む語句をそれ ぞれ対にしている。さらにそれを三組重ねることによって、印象的なリズムを作り出し、 聞き手の耳に届きやすい構造となっている。

(2) So we must harness new ideas and technology to <u>remake</u> our government, <u>revamp</u> our tax code, <u>reform</u> our schools, and empower our citizens with the skills they <u>work</u> harder, learn more, and reach higher.

(ですから、我々の政府を再建するためには、新たな構想と技術を活用しなければなりません。税制を改革し、学校を改革し、そして人々がより熱心に働き、より学び、より成長するために必要な技術を持てるように、人々に力を与えていかなければなりません。)

上記の文中では二つの対句が含まれている。まず、現在アメリカが置かれた状況に必要な改革について言及する際に、"remark" "revamp" "reform"と「再び、新たに、繰り返し」の意味を持つ接頭辞 re-の付いた三つの動詞を選び用いることによって、発音上においても意味上においても政府の改革の必要性がより強調される。そして文の後半部分においては、"harder" "more" "higher"と比較級を三度重ねることによって、よりよい生活のためには、アメリカの人々にさらなる力や努力が必要であることを強調的に説いている。

限られた長さの一文の中に複数の対句があり、聴衆の耳に非常に印象付けられるくだりとなっていることがよくわかる。

(3) Being true to our founding documents <u>does not require</u> us to agree on every contour of life; it <u>does not mean</u> we will all define liberty in exactly the same way, or follow the same precise path to happiness. Progress does not compel us to settle

centuries-long debates about the role of government for all time — but it <u>does</u> require us to act in our time.

(建国の文書に忠実であることは、人生における全ての事柄について我々に合意することを求めません。皆がまったく同じ方法で自由を定義するわけでもありません。あるいは、全く道をたどって幸福を追求する必要もありません。前進するために、幾世紀にも渡って議論されてきた政府の役割に関する議論を決着させることを強いるものでもありません。ただ、我々の時代に合った行動を起こすことを求めているのです。) "does not +動詞"の否定形を三度にわたり繰り返したうえで、"does +動詞"の形の強い肯定を最後に用いることによって、最後の肯定形がより効果的に主張される結果となっており、修辞的に非常に効果的な一節である。

(4) We must act, knowing that today's victories will be only partial and that it will be up to those who stand here in <u>four years and 40 years and 400 years</u> hence to advance the timeless spirit once conferred to us in a spare Philadelphia hall.

(今日の勝利がまだ部分的なものに過ぎないことや、かつてフィラデルフィアの議事堂で我々に与えられた不朽の精神を未来へと前進させる役割は、今から4年後、40年後、400年後にこの場に立つ人に委ねられるのだということを知ったうえで、我々は行動を起こさなければなりません。)

今日の世代の自分達が、アメリカのために今、行動を起こさなければならないと述べている。4年に一度行われるアメリカ大統領選挙を念頭に置いて4の倍数の数字、すなわち "four years" "40 years" "200 years"と三度繰り返している。大統領選挙は国が存在するかぎり永遠に続けられていくであろうということが強調されると共に、4の倍数の数字でリズムが作り出されていると考えられる。

#### 2. 反復

反復は、同様あるいは類似の表現を複数の文にわたって再現する、文字通り繰り返しの手法である。スピーチの中では、単語から文に至るまでさまざまなレベルでの反復的手法がありうるが、本稿では、"anaphora"あるいは"epanaphora"と呼ばれる「主句反復」に特に注目し分析する。主句反復は、近接する複数の文の冒頭に同様の表現やフレーズを置いて各文を始める修辞法である。

以下に、本スピーチの中で見られるその具体例を挙げていく。実際の演説の中での登場順に番号を付し、スピーチ原稿からの英文引用に続き、カッコ内に筆者による和訳を記す。また、英文中の下線は修辞の具体的事例を示すために筆者が付したものである。

(1) <u>Together, we</u> determined that a modern economy requires and highways to speed travel and commerce, schools and colleges to train our workers.

<u>Together</u>, we discovered that a free market only thrives when there are rules to ensure competition and fair play.

Together, we resolved that a great nation must care for the vulnerable, and protect

its people from life's worst hazards and misfortune.

(我々は共に判断しました。近代経済において、迅速に移動し商取引をするために鉄道や高速道路が必要であると。労働者を育成するために学校や大学が必要であると。 我々は共に知りました。自由な市場は競争と公平な行為を保証するルールがあってこそ、繁栄するのだということを。

我々は共に決心しました。偉大な国は、脆弱な部分を意識し、最悪の危険や不幸から 自国民を守らなければならないということを。)

これらは演説が始まって3分ほど経過した比較的冒頭の部分で登場する、連続する三つの文であるが、それぞれの文の冒頭で「我々は共に~した」と繰り返し強調している。こうした印象的な文頭での繰り返しすなわち主句反復の手法が、特に演説序盤で用いられることによって、これから行われる大統領の演説に対し、聴衆の多くがさらに耳を傾ける契機となっていくと言えるであろう。

(2) For <u>we, the people,</u> understand that our country cannot succeed when a shrinking few do very well and a growing many barely make it.

We, the people, still believe that every citizen deserves a basic measure of security and dignity.

We, the people, still believe that our obligations as Americans are not just to ourselves, but to all posterity.

We, the people, still believe that enduring security and lasting peace do not require perpetual war.

We, the people, declare today that the most evident of truths — that all of us are created equal — is the star that guides us still;

(なぜなら、豊かに暮らす人々が減って、かろうじて暮らすような人が増えるようであれば、我々の国は繁栄しないと、我々国民は分かっているからです。

すべての国民が基本的な安全と尊厳を持つ権利があると、我々国民は今も信じています。 我々はアメリカ人として、自らのためのみならず、後に続く世代すべてのために責務が あると、我々国民は今も信じています。

安全と平和を永続的に確保するためには、絶えず戦争をする必要はないと我々国民は今も信じています。

我々国民は今日、宣言します。すべての人間は生まれながらにして平等である、という 極めて明白な事実こそが、今もなお我々を導く星であることを。)

"We, the people"で始まる文が繰り返し用いられており、"we the people the United States"というアメリカ合衆国憲法前文の文言を聴衆であるアメリカの人々に思い起こさせる表現である。アメリカ国民であれば思いをいたすことのできるフレーズを主句に置いて反復的に用いることによって、より多くの聴衆を引き付けるとともに、アメリカ国民としての一体感の高揚につながっていくであろう効果が期待される。

(3) For <u>our journey is not complete until</u> our wives, our mothers and daughters can earn a living equal to their efforts. <u>Our journey is not complete until</u> our gay brothers and

sisters are treated like anyone else under the law – for if we are truly created equal, then surely the love we commit to one another must be equal as well. Our journey is not complete until no citizen is forced to wait for hours to exercise the right to vote. Our journey is not complete until we find a better way to welcome the striving, hopeful immigrants who still see America as a land of opportunity until bright young students and engineers are enlisted in our workforce rather than expelled from our country. Our journey is not complete until all our children, from the streets of Detroit to the hills of Appalachia, to the quiet lanes of Newtown, know that they are cared for and cherished and always safe from harm.

(なぜなら、我々の妻や母、そして娘たちが努力に見合う生活ができるようになるまで、我々の旅は終わらないのです。同性愛者の兄弟姉妹が法の下で他の全ての人たちと同様に扱われる日がくるまでは、我々の旅は終わらないのです。もし我々が本当に生まれながらに平等であるならば、互いへの愛もまた確かに平等でなければならないからです。投票する権利を行使するために何時間も待たされる人がいなくなるまで、我々の旅は終わることはありません。我々の旅は、勤勉で有望な移民を歓迎し、アメリカを機会にあふれた国であると信じてもらえるような良い施策を見出すまでは終わることはありません。優秀な若い学生や技術者がアメリカから追放されるのではなく、労働力として受け入れられるようになるまでは終わりません。そして、我々の旅は、デトロイトの路地からアパラチアの丘陵、ニュータウンの静かな小道まで、すべての子どもが愛され、大切にされ、そして暴力から守られていると感じられるようになるまで終わることはないのです。)

「我々の旅は終わらない」という、大統領在任期間中の挑戦を旅に例えた表現が、五度にわたって各文の文頭で繰り返されている。この印象的な表現の後には、それぞれ、女性、同性愛者、移民、若者など、弱者やマイノリティーの抱える問題に向き合うという、オバマ大統領の強い意志が強調的に語られている。

(4) You and I, as citizens, have the power to set this country's course. You and I, as citizens, have the obligation to shape the debates of our time -- not only with the votes we cast, but with the voices we lift in defense of our most ancient values and enduring ideals.

(皆さんと私は、国民として、この国の方向を定める力を持っているのです。皆さんと私は、国民として、この我々の時代に何を議論すべきことを定める責任があります。ただ投票するだけではなく、最も由緒ある価値観や不滅の理想を守るために声を上げることをもって行うのです。)

演説を通し、主張の多くの機会に主語に"we"を用い、大統領自身を含めた国民全体を「我々」と指すことで国家全体のまとまりが意図されてきた。そして演説の終盤で、主張をまとめる方向へ向かいながら、"You and I, as citizens"を主語に置き、「皆さんと私は、国民として」とすることで、誰もが同じ国民の立場で、また、立場の異なる国民が一つになり、これからのアメリカを創っていくのだという、再選されたオバマ大統領の強い決意が表れている。

以上、対句と反復の修辞技法の具体的な使用とその効果について、第 2 期オバマ大統領 就任演説において明示的に用いられている例を挙げながら考察してきた。例示のような修辞的技法は、約 19 分間の演説の中で全体に散りばめられ頻繁に使用されており、つまりほぼ毎分のように同様あるいは類似の形式や構造の表現や文が繰り返されていることになる。大統領就任演説においては、政治姿勢や社会問題が語られるため、文が長く文言や内容が難解になることがあり、聴衆へのアピールが散漫になる可能性がある。こうした手法を効果的に取り入れることによって、単調さを軽減し、一定のリズムや音を創り出し、また特徴的パターンの表現を聞き手に印象付ける効果を期待することができる。第 2 期オバマ就任演説において、修辞上の特徴が明確に表れていると言える。

#### Ⅲ. 第2期オバマ就任演説にみられる内容的特徴

第2期オバマ大統領就任演説について、ここまで修辞的特徴を中心に分析を行ってきたが、修辞的特徴の他に、第2期の演説に特徴的な内容について、二点触れておきたい。

第一に、演説冒頭に近い部分で、 "a government of, and by, and for the people"つまり「人民の人民による人民のための政府」を 200 年以上にわたって守り抜くよう委ねられてきたと述べ、エイブラハム・リンカーン50が 1863 年に行ったゲティスバーグの演説"that government of the people, by the people, for the people"を想起させる表現を用いたことである。第 1 期任期中、また選挙期間中で生じた国内の分断を融和し、一つの国家として団結し第 2 期を乗り切ろうとの意図が見て取れる。

第二に、弱者に寄り添うべく、個別の地名や文言を取り上げ演説に盛り込んだことである。例えば、セルマ $^6$ 、ストーンウォール $^7$ 、ニュータウン $^8$ の名を挙げていること、また、"our gay brothers and sisters"と性的マイノリティーについても触れている点は、注目される。第 2 期を迎えるオバマ大統領と国家に存在する困難な問題や賛否の分かれる課題に取り組む意欲がうかがわれる。

これに対し、第 1 期就任演説では、アメリカ大統領からイスラムの国々や人々への直接 的な呼びかけがあったことを考えると、演説の内容は概して国内に視点の比重を置き、 「我々の旅は終わらない」と演説冒頭でも述べたとおり、オバマは大統領に再選され、引 き続き 4 年間の任期を与えられたことを見据えた意図が表れていると言えるであろう。

#### Ⅳ. おわりに

本稿では、2013 年 1 月 21 日に行われた第 2 期オバマ大統領就任演説において特徴的に見られる修辞法を中心に、具体的な使用例をもとに考察を試みた。その結果、主に以下の二点が明らかとなった。第一に、複数の文や句において類似の形式や構造などを繰り返し用いる対句法が度々使用されていた。第二に、同様あるいは類似の表現を複数の文にわたって各々の文頭に置いて繰り返す、主句反復の例が多数観察された。これら二つの特徴は、文中または複数にわたる文に一定のパターンやリズム、音などを創り出し、聞き手に対して、より印象的な言辞を与えることができる効果的な技法である。この他に、第 1 期就任

演説で見られたイスラムへの呼びかけなど外向きのメッセージは割愛され、演説の内容は 概して国内に視点の比重が置かれた意図が表れている。

大統領演説はアメリカにおける代表的なスピーチの一つであり、大統領と国民、自国と 他国の間において行われるある種のコミュニケーションである。このコミュニケーション 行為について、修辞法をはじめさまざまな観点から理解することは、英語話者のみならず 非英語話者にとっても、英語コミュニケーションを行うための重要な手がかりとなるであ ろう。

#### 註

- 1) アメリカ東部標準時。オバマ大統領在任は第1期2009年1月20日~2013年1月20日、第2期2013年1月20日~2017年1月20日。
- 2) 言葉を美しく巧みに用いて効果的に表現すること、またその技法を言う。レトリック。
- 3) 対句法は、並行性、並立法とも呼ばれる。parallelism。
- 4) 実際の発話には言いよどみなどが起きるため、ホワイトハウスが公開するスピーチ原稿と異なる箇所が認められる。
- 5) Abraham Lincoln(1809 年~1865 年)、第 16 代アメリカ合衆国大統領。
- 6) Selma、1965 年、アフリカ系アメリカ人の権利拡大を訴えるデモ行進の出発地となったアラバマ州の町の名。
- 7) Stonewall Inn は 1969 年に同性愛者弾圧事件の発生したニューヨーク州のゲイバーの名。
- 8) Newtown、2012年12月、第2期オバマ就任演説の1ヶ月前に銃乱射事件が発生したコネティカット州の町の名。

# 参考文献・資料

東照二 (2009) 『オバマの言語感覚 人を動かすことば』NHK出版生活人新書.

海老澤邦江(2013)「アメリカの代表的スピーチの修辞について 一プレゼンテーションへの応用一」『江戸川大学語学教育研究所紀要』Vol.11, pp1·11, http://id.nii.ac.jp/1193/00000198/(閲覧日2019年11月30日).

近江誠、佐藤幸男、田中武人(2010)『歴史に残る大統領の就任演説』pp4-8, 小学館.

鈴木健(2009) 「オバマ大統領就任演説のひみつを探る」『オバマ大統領就任演説』朝日出版社.

鈴木健(2010)『政治レトリックとアメリカ文化 オバマに学ぶ説得コミュニケーション』朝日出版社.

鶴田知佳子(2009)「オバマ演説 希望を実感させる説得力」『朝日新聞』2009年1月22日15面,朝日新聞社.

寺澤盾(2013)『聖書でたどる英語の歴史』大修館書店.

二階堂忠春、田中千尋(2009) 『聞き手を熱狂させる!戦略的話術』廣済堂.

西川秀和・池本克之(2008)『オバマ 勝つ話術、勝てる駆け引き』講談社.

橋本満弘 (1988) 『英語コミュニケーション』 p45, 学書房出版.

ハーラン, パトリック (2016) 『大統領の演説』 角川新書.

福田慎司(2009)「オバマ大統領就任演説の内容と特徴的修辞技法の分析」『福岡大学人文論叢』第41巻第1号, pp.159-173.

福田慎司 (2013) 「オバマ大統領第2期就任演説の内容と特徴的修辞技法の分析」『福岡大学人文論叢』第45巻第1・2 号, pp.53-70.

藤本一美 (2009) 『戦後アメリカ大統領事典』pp.392-434, 大空社.

三浦俊章(2010)『オバマ演説集』岩波新書.

安武知子(2009)『コミュニケーションの英語学』開拓社.

横井希(2010)「Obama大統領の演説からみるアメリカ大統領英語の変遷」『大阪音楽大学研究紀要』第四十九号, pp.65-76. 綿貫陽(2000) 『改訂版ロイヤル英文法』旺文社. CNN English Express編集部編(2012)『オバマ再選演説集』朝日出版社.

Spetalnick, M. (2009). SCENARIOS: Obama speech heralds break with Bush era. *Reuters January 21, 2009* https://www.reuters.com/article/us-obama-change-sb/scenarios-obama-speech-heralds-break-with-bush-era-idUSTRE50J7KM20090120(閲覧日2019年11月1日).

Spice, B. (2016). Most Presidential Candidates Speak at Grade 6·8 Level. Carnegie Mellon University News

March 16, 2016

https://www.cmu.edu/news/stories/archives/2016/march/speechifying.html(閲覧日2019年11月1日).

#### 大統領就任演説原稿参照元

Inaugural Address by President Barack Obama. The White House.

https://obamawhitehouse.archives.gov/the-press-office/2013/01/21/inaugural-address-president-barack-obama (閲覧日2019年11月30日) .

# 木育とプログラミング教育

牧野 純也 (愛知産業大学 非常勤講師)

# The MOKUIKU and Programming Education

Junya MAKINO

# →要旨

幼児教育と木のおもちゃについて調べてきたところ、木を中心とした教育運動である「木育」という言葉につきあたった。平成 16 年に北海道で始まったこの運動は「木とふれあい、木に学び、木と生きる」をキーワードに、感性や社会性の育成から、人と自然が共存して生きる持続可能な社会までを目指す運動となっている。この「木育」は、捉え方のあいまいな極めて"ゆるい"概念ながら、これまで私が研究を行ってきた、幼児教育における「非認知能力」や、「感性教育」そして「プログラミング教育」に大きくクロスオーバーするものであった。「木育」が持つ感性への働きかけを中心に、その展開を探った。

# →キーワード

- 木育
- 木のおもちゃ
- 幼児教育
- ・持続可能な社会
- ・手で作り、手で感じ、手で覚える
- 非認知能力
- 感性教育
- プログラミング教育
- ・プログラミングマインド

#### I. はじめに

幼児教育に関わっていくと、近年よく耳にする言葉に「木育」がある。

数年来、幼児教育における「非認知能力」についての研究を行ってきたが、その過程において有力なツールとして木のおもちゃがピックアップされることとなった。

木のおもちゃを通じてある幼稚園と関わっていく中で、図らずも「木育」という言葉に触れることになったのだが、これまで素材としてとらえてきた「木」が、環境や理念、教育ジャンルをも指す(と思われる)「木育」という言葉につながり、それが一般社会において一定以上に広がっていたことには、少なからず驚きと戸惑いがあった。

また、遊びを主体とした経験の中で培われていく「非認知能力」は体系的とは言えないものの、小中学校に導入されたばかりのプログラミング教育と、その根幹をなすプログラミングマインドに密接に関わっていく。(これについては拙著「プログラミングマインドとは何か」<牧野純也・今井昌彦・高野盛光 共著>を参照されたい。)

その遊びを構成する一つとして、私たちが特に重視してきた木のおもちゃが、もし「木育」なるものに包括されるとしたならば、それは何を意味するのか。そして、そこから何を導き出すことができるのか。新たな視点としての活用を図ることができるようなものなのか。本稿ではそこを考えてみたいと思う。

## Ⅱ. 木育とは ~既存の木育資料から~

#### 1.北海道

「木育発祥の地」とされる北海道では、道知事政策企画室直下に「北海道木育推進プロジェクト事務局」が設置されている。「平成 16 年度協働型政策検討システム推進事業報告書」によると、以下のように木育の意義が記されている。

(※注:以下引用部分の項目記号番号は原書のまま)

#### 木育の必要性

- (1)木のもつ魅力
- ○木は人にやさしい

#### 【主な特徴】

- ・細胞の中に多くの空気を含み、断熱性や保温性に優れる(木のぬくもりを感じる)
- ・紫外線を吸収し、赤外線を反射させる(目にやさしい)
- ・音を吸収、分散により、音をまろやかにする(耳にやさしい)
- ・衝撃をやわらげる (クッション性)
- ・カビや結露を抑える調湿作用があり、発散される匂いや成分には雑菌や害虫を寄せ付けない
- 体をリラックスさせる
- ○木は身近な素材

#### 【主な特徴】

・北海道の森林面積は、総面積(北方領土を除く)の71%(H15)を占めている

- ・木は形を変え(自然木の状態、木材の状態、木製品の状態)身近に存在している
- ・切る・削る・割る・砕く・磨くなど、使用する道具や方法にあわせた加工の容易さ
- ・燃料としての活用(日本の薪炭材需要量 S57 : 1,852 千㎡ →H14:653 千㎡)
- ○木は循環する再生資源

#### 【主な特徴】

- ・木は育つ過程で CO2 を吸収し、蓄積する。CO2 の吸収能力は成長力の旺盛な若い木ほど優れている
- ・木材燃焼時に放出される CO2 は、もともとは木が大気中から吸収したもので CO2 収支は変わらない(カーボンニュートラル)
- ・製造・加工の際に必要なエネルギーが、プラスチックや鉄など他の資源と比べ小さい
- ・木材は再生資源であり、循環利用が可能な資源である
- (2)木のもつ多様な可能性
- ■木に囲まれた生活空間を整えることや、いつでも木にふれることのできる暮らし方は、私たちの心や体を健やかに保ち、育みます。
- ■木は長期間かけて育ち、長期間の使用が可能で、時間の経過とともに記憶や歴史、 愛着など人の営みとの深い絆を生み出します。
- ■木は立木や木材、製品など様々な形で存在し、多様な暮らしや活動、遊びを生み、 人々に大きな恩恵をもたらし、家庭や地域、社会に貴重なつながりを生み出します。
- ■森林には水源涵養、二酸化炭素の吸収・固定、保健休養機能などの人間が生きていく上で不可欠な機能があり、環境が重視される社会においては木の重要性がますます。 高まります。
- (3) 今、なぜ木育なのか?
- ①感性や社会性を高める場として

木のぬくもりや扱いやすさ、植え育てることのできる命の営みの体感、森林を舞台とした遊びや体験・学習など、存分に想像力や創造性を発揮できる場や機会を、私たちの北海道から提供・発信していくことが、感性や社会性を育むことの大切さを社会に気づかせるきっかけとなります。

②北海道の「木の文化」を育むために

私たちが、今、どんなにささいなことからでも身近に北海道の木を使っていこうとする姿勢をもつことが、私たちの暮らしと木の関係を密接なものに変え、北海道の木材自給率 $\times 40.6$  (H15実績)と低迷する北海道の林業や木材産業の底上げにつながるとともに、北海道ならではの「木の文化」を育む原動力となります。(※木材自給率=道産材供給量/道内の木材総需要量 $\times 100$ )

③森林や環境に対する認識を高めるために

今、私たち一人ひとりが、森林や木材が循環利用可能な再生資源であることや、伐っても良い木と、そうでない木の確かな認識を持つことが、北海道や日本という規模からの地球環境保全につながり、循環型社会形成にも役立つものとなります。

# 2. 青森

「青森県中南地域県民局地域農林水産部」の発行で、平成28年に「子どもたちのための「木育」手引書」が作成されている。文中には木育が北海道発祥であることが記され、「おらが県でも」という意味を込めて「わんどの木育」と称して普及を図っている。

# 「木育(もくいく)」について

「木育」とは、森林資源に恵まれた青森県において、子どもの頃から木を取り入れた 生活の中で、木と森に親しみ、人と、木や森のかかわり、森林づくりの大切さを考えら れる豊かな心を育む活動です。

10 年ほど前に北海道で生まれた「木育」という言葉は様々な活動・考え方を含むもので、森林・林業だけではなく保育・子育て支援などの幅広い分野で、その対象は子どもからお年寄り、また、活動場所は室内から森まで、と「誰でも」「どこでも」活動できるものです。

青森県中南地域県民局では、平成26年度と平成27年度において、「わんどの木育」 普及推進事業を実施し、主に未就学児を対象として木製玩具を活用した木育を実施し ました。

平成 27 年度には、年間を通じて木育活動に取り組む「木育モデル園」を選定し、(1)木製玩具での遊び体験、(2)身近な植物観察、(3)木を使ったものづくり、の3つの内容を柱として活動しました。

これらの活動により、子ども達には木のおもちゃ、木や森などに触れ、理解するための体験の場が、大人には「木育」の大切さを理解していただくきっかけができたのではないかと考えています。

#### 3. 徳島

徳島では、県産木材利用促進の観点から平成25年に条例が施行され、その中に木育も位置付けられている。

#### 「木育」とは

「木育」とは、子どもをはじめとするすべての県民が『木とふれあい、木に学び、木でつながる』取り組みです。

それは、人が生まれ、その生命を終わるまで木を身近に使っていくことを通じて、人と森林との関わりを主体的に考えられる人づくりをめざしています。

「木育」がめざす人づくり

木とふれあい感性を育む

木と「ふれあう」ことにより感性を高め、木との関わりから自分自身を大切にすることを知り、人や自然に対する「気づき・尊敬する気持ち」を育てます。

木でつながる人づくり

身近な人と一緒に木で遊び、木に学び、木でつながる活動を通じて、木と森林、河川、

都市とのつながりを想像することが重要です。また、人間活動における教育、環境、産業、消費などのつながりを理解して、木の良さや利用の意義を普及する人づくりをめざします。

#### 4. 木育ファミリー (任意団体:北海道札幌市)

木とふれあい、木に学び、木と生きる

木育は豊かな森林と木材に恵まれた北海道生まれの新しい言葉です。

それは、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

私たちのまわりでは一枚の紙から家具や建物にいたるまで、木から生まれたものがたくさん使われています。

でも、材料となった木やその木が生きてきた森を想像できる人はどれだけいるでしょうか?

木育は木とのかかわりを通して、私たちも自然の一部であり多くの生命と共存しなが ら生きていることを実感し、未来へつなげていく取り組みです。

# 木育のめざすもの

●五感とひびきあう感性

木と五感でふれあい、手でつくり、考える経験をとおして人と自然に対する「思いやり」と「優しさ」を育みます。

●共感できる心

身近な人と木で遊び、木に学び、モノをつくる経験を通じて楽しさや喜びを共感し、 地域や社会、産業への関心につなげます。

●地域の個性を生かした木の文化

地域の森や木の良さを見直し、木が身近にある北海道ならではの暮らしや文化を提案します。

●人自然が共存できる社会

循環利用が可能な資源である木の可能性や、森と木に携わる仕事の素晴らしさを伝え、 持続可能な未来へ向けた社会をめざします。

#### 5. 木育ラボ (NPO 法人 芸術と遊び創造協会)

「木育」このことばは、2004年に北海道で生まれたことばです。

その後、2006年に「森林・林業基本計画」の中で閣議決定されたことばでもあります。 それ以来、最近では、さまざまな人がさまざまな立場からこのことばを使うようになりました。 そこで私たちは、「木育」を「木が好きな人を育てる活動」と考えました。 そしてその活動が目指す目的を「かきくけこ」でまとめてみました。

# 木育「かきくけこ」

か=環境を守る「木育」

き=木の文化を伝える「木育」

く=暮らしに木を取り入れる「木育」

け=経済を活性化する「木育」

こ=子どもの心を豊かにする「木育」

## Ⅲ. 木材と感性

#### 1. 子どもの心を豊かにする

木育には「人と森のつながり」「木と森のつながり」から「人と人のつながり」を作り出す (木育ファミリー) など、壮大な展開が数多くの場面で考えられるが、こと幼児教育において木育は、前述木育ラボの"木育「かきくけこ」"においての"こ"である「子どもの心を豊かにする」に着目することになる。

この「子どもの心を豊かにする」に関連するであろう木育関連の記述は実に数多くある。 代表的なものに、

#### <北海道>

私たちの心や体を健やかに保ち、育みます。

木のぬくもり

感性や社会性を育む

<青森>

豊かな心を育む

<徳島>

木とふれあい感性を育む

木と「ふれあう」ことにより感性を高め

<木育ファミリー>

豊かな心を育む

五感とひびきあう感性

木と五感でふれあい、手でつくり、考える経験をとおして人と自然に対する「思いやり」 と「優しさ」を育みます。

< 木育.jp (NPO 法人 活木活木(いきいき)森ネットワーク) >

様々なものに好奇心を持つ

創造的な思考で問題解決できる

といった言葉を見ることができる。

これらの論調としては「木に触れる」「木を用いる」「木に関わる」ことで、

「心が豊かになる」「感性が育まれる」ということに集約できる。

ところが、地方自治体や林野庁などの公的機関、NPO法人など数多くの機関において 木育が叫ばれ、その中の大きな柱としてこの「子どもの心を豊かにする」点が挙げられて いるにも拘らず、その論拠が殆ど示されていない点が非常に気に掛かる。 子どもが木を用いて作られたおもちゃで遊ぶのと、プラスチック製の同等のおもちゃで遊ぶのを比較して、「木のおもちゃの方が感性が育つ」と言われれば直観的には「そうだろうな」と誰しも思うものであろうが、しかしながらその論拠は実に漠然としている。それはなぜかと一言でいえば「なんとなく」になってしまう。

唯一それらしい記述が見られるのは、「木育ファミリー (任意団体)」のパンフレット 「木育とは?」にある「五感と響きあう」という言葉くらいだ。

そこで、ここでは室内での一人遊び〜数名のグループ遊びのできるような木製およびプラスチック製のおもちゃ(積み木など)を想定し、その素材として「木材 (無塗装)」を用いた場合に、ここで出てきた「五感」に働きかける要素に(この場合プラスチックと比較して)どのような違いが現れるのか、を考えてみたい。

#### 2. 視覚

何も言わずに認識・観察を行う感覚を考える場合、それは視覚を指し示すことが一般的である。よく言われる「人間の感覚は視覚が八割」という言葉は数値的な論拠が薄弱(拙著『プラクティカル教育の原理+方法論』p.125参照)ではあるが、情報量的に他の感覚を大きく凌駕していることには疑いがない。それゆえこの木育の効果において「五感」と表現しているということは「視覚以外の感覚にも留意せよ」という意味に捉えることができるだろう。

しかしながら、まずは視覚情報的に木のおもちゃをとらえてみると、プラスチックと比較した場合に



Fig.1: 木目のハッキリした材(ヤマグワ)

- ・木目がある (方向がある)
- ・色に違いがある (不揃い)
- ・(無塗装の場合) 黄土~茶~焦げ茶の範囲の色である (赤~黄系統:青系統がない)
- ・反射 (光沢) がまちまちである などの特徴が挙げられる。さらに時間経過による変 化を加えると、
- ・色が(濃い方向に)変化する
- ・光沢が増す

といった変化も挙げられよう。

木目は、単にそのおもちゃに方向があるというだけではなく、木製の全てのパーツには(よく見れば)一つ一つ異なる木目があり、「唯一無二」を感じさせる。この「唯一無二」は、たとえプラスチック製パーツに木目やその他の模様をプリントしたとしても、同じ感じを呼び

起こすことはない。これに色の不揃いも加わり、より強く感じられることとなり、材が異なればさらにその程度は大きくなる。

色彩の系統は、人間の肌が持つ色彩が赤〜黄系統であることから、木材はすべてからだ (肌)と同系色であると言うことができる。これにより、印象が左右される面があると思 われる。 無塗装の木材が持つ表面の光沢は、仕上げの滑らかさはもちろんだが、その木材の密度に密接につながりがある。密度の低い(軽い)バルサや桐のような材では、いくら表面を滑らかに磨いても光沢は現れない。だが、ブナ以上の密度を持つ材、例えばカエデやローズウッドなどを滑らかな仕上げにすれば美しい光沢が現れる。

また、木材の切削をグラインダやサンドペーパーなどのやすり系ではなく、のみなどの 刃物を用いて「叩いて彫る」と、その角度や刃先によっては木材の表面が圧縮されて密度 が高まるため、切削面に美しい光沢が現れることがある。

木材の経年による外観の変化は、日光・風雨にさらされ続けた場合には色が抜け、白っぽく変化して光沢を失うことになるが、ことおもちゃ等を室内で用いていった場合は、逆に木材が手脂を吸って(オイルフィニッシュをしたかのように)濃く渋い色に変化し、光沢を増す。この変化は多少の汚れを伴ったとしてもその殆どが風合いとして美しいものである。つまり、「使い込むほどにきれいになって」いく。

これに対しプラスチック製のパーツを用いた場合は、(特に意図しない限りは)均質・均一の素材であって、同じ色・かたちであれば「同一性」を強く感じさせることになる。

表面は光沢を持たせることも、マットに仕上げることも自由自在であるが、光沢を持たせた場合は(風雨にさらされなくとも、使用するだけで)経年により細かな傷が加わっていき、光沢は一方的に失われていく。こじつければ経年で生じたマットな外観を「味」と感じることもできるかも知れないが、一般的には「古びた」ものとして敬遠されることになる。

# 3. 触覚

次いで、触覚情報として木のおもちゃをとらえてみる。同じくプラスチック製と比較した場合には

- ・ 重さが違う (プラスチックよりも重い (密度が高い) 場合が多い: 例外あり)
- ・重さが違う (一つ一つのパーツで不揃い)
- ・重さが違う (素材ごとに大きく密度が異なる)
- ・重さが偏る場合がある(同じ木の中でも密度が不揃い)
- ・肌触りが異なる(仕上げにもよるが、例えば同じ番手のペーパーで磨いても異なる)
- ・硬さが違う (素材ごとに硬度が大きく異なる)
- ・温度感覚が違う (素材ごとに大きく異なる)
- といった点が挙げられる。さらに
- 吸湿する
- ・湿度変化で抵抗が増減する (表面・ジョイント等)
- ・湿度変化で大きさ・重さが変わる (吸湿・吸水)
- ・温度変化に左右されにくい

などの点も考えられる。

木にもプラスチックにも種類があり、その比重は様々であるが、ことおもちゃとして用いられる場合の素材と構造で考えたとき、プラスチックは強度を保てる範囲で中空に成形される場合が多い。結果としてパーツの重量は中まで詰まった木製品のほうが重くなりがちである。

また、木製の場合素材ごとに比重は大きく異なるうえに、同種・同一の木であってすら木取りする位置によって密度に偏りがあるので、パーツ単位でみても全く同じ材質は存在しない。ここでもまた「唯一無二」を感じられる。その偏りは、投げたり回したりといった物理的動作を伴う遊び方においてより顕著に表れることになる。偏りが許容されるか否かはそのおもちゃの特性に依存することになるため、単純に優劣は評価しがたいが、調整に伴う手間暇コストは木の方が掛かるのは間違いない。

木の肌触りは、その素材によって大きく異なる。単に同一条件化における肌触りにも違いはあるが、湿度変化を伴う場合その違いはより顕著に表れる。総じて密度の高い木材はより滑らかになり、湿度による影響は少なめになる。とはいえ、プラスチックと比較した場合はすべての木材において比較にならないくらい湿度・水分の影響は大きい。

硬さについても木・プラスチックともども多種多様であるが、例えば、爪の先で押さえて凹ませるなど、プラスチック系素材は力を加えて変形させた場合に、全く跡がつかないか、いったん跡がついても元に復元することが多い(例外あり)。これに対し、木は硬い材質以外は圧縮変形したままで跡がつき、ほぼ復元はしない(可塑性)。この「元に戻らない」感覚も、「唯一無二」と併せて自然素材を強く感じさせるものである。

温度感覚も、表面加工や木の素材の違いで大きく異なる。総じて表面の肌理が同一程度ならば、比重の大きな材質の方が温度感覚は「ひんやり」として低い。逆に、軽めの素材の方が触った感じでは暖かく感じられる。これは、素材内の空気の含有率による。これに対しプラスチック素材の温感はある程度の差はあるものの、木ほどの違いは見られず、硬軟や比重とも強い関係は見られない。

この温度感覚に類する言葉は、木を扱う場合に大変多く耳にする。いわゆる「木のぬくもり」である。木育運動の端緒であった平成16年北海道の木育推進プロジェクトチームによる記述には、「木のぬくもり」が木材の空気含有による保温性・断熱性を指すとする記述が見られる。しかし、その後の他の木育推進事業等においては保温性・断熱性についての言及は殆ど見られなくなり、むしろ科学的な温度感覚からは離れてきているように感じられる。

実際、ローズウッドなどの高密度の木材を触ると、明らかに(同環境に置いた)多くのプラスチック素材よりもひんやりと冷たく感じられるし、「木のぬくもり」という言葉が使用されている文脈から読み取っても、多くの場合情緒的な記述に終始しており、その場合は温度感覚とは直接関係無さそうである。

つまり「木のぬくもり」という言葉は、ここ数年の木育では「生命の持つやさしさや暖かなイメージ」「太陽の光をさんさんと浴びて育ってきた木のイメージ」を象徴的に表している言葉であって、物理的・生化学的な温感とは異なると思われる。

湿度は、木を扱う上で大変重要な要素である。正倉院宝物殿が、壁に使われている木材の吸湿による膨張・収縮を用いて換気制限を自然に行っている話は、小学校の検定済み教科書にも掲載された。吸湿による体積変化は、おもちゃにおいては接続・組み合わせ部分の着脱しやすさなどに大きく影響するし、同じく吸湿による木材表面の摩擦係数の変化は、摺動部を持つおもちゃにおいてその動作に大きく影響を及ぼす。大きさ・重さも触ってわかる程度に変化するため、子どもたちが天候への関心を向けるきっかけにもなり得る。これに対しプラスチックは、アクリルなどごく一部がわずかに吸湿する性質を持つの

みで、湿度・水分による変化はほとんどない。

また、木材は温度については、氷点下から発火寸前まで湿度ほどの変化影響は見られな い。密閉車内の高温で溶けてしまうプラスチックとは大きく異なっている。

#### 4. 聴覚

木材がそのまま何もしないで音を発生することはまずなく、楽器として笛や弦楽器など に加工する場合を除いて、木材に関連する聴覚刺激の殆どは衝突、つまり「叩く」ことに よって得られると言ってよい。これに対しプラスチック製玩具では、木と同様に叩くこと でも音は発するが、音色として美しさに欠ける傾向があるため、中空の構造を利用して、 内部に鈴や音を出すための粒子を入れることで、動かすだけで音が出る構造になっている ものがある。また、木と比較してある程度精密な成形が容易であるため、笛の構造を持た せる場合もある。

触覚の項で述べたように、木材には可塑性があるので「叩く」ような衝撃を加えると、 音を発すると同時に硬度によっては変形して元に戻らないし、割れを生じる可能性もあ る。これを防ぎ、叩く動作を常熊化したい場合には、相応の硬さと弾性を兼ね備えた材を 用いる必要がある。実際、拍子木にはシタン・コクタン・カリン・カシといった特に硬い 材が用いられるし、ドラムスティックにはヒッコリーやメイプル、アオダモといった硬さ と弾性を兼ね備えた材が用いられている。おもちゃとして使用する場合にも、積み木など 投げたりぶつけたりが想定されるものには、相応の硬さを持った材が求められる。そし て、それらの材の種類によって、叩いて発する音は大きく異なる(※1)。具体的には、 密度が高く硬い材になるほど同じ大きさの木でも音程が上がってくる。



※1:木琴などの鍵盤打楽器と呼ばれ るものでは、一般的には叩く音板の材 質を揃え、長さだけを変えることで音 程を調節する。そうすることで音色を 一定に保ったまま音程を変えることが できる。しかし、オークビレッジの木 琴「森の合唱団」は、まったく長さの 同じ音板を用いながら、その材質をト チ、ホオ、カバ、ヒノキ、センダン、 ナラ、サクラ、キハダ、ブナ、カエデ と変えることで(主に材の密度の違い で) 音程を調節している。楽器的には

それぞれの音板で音色が微妙に異なってしまうため、独特の音色のちぐはぐさが生じ るが、それゆえに他のものでは得られない材質の違いを耳で実感することができる。

#### 5.嗅覚/味覚

木材・プラスチックともに基本的に食品になり得ないので、ここでは味覚はさておいて

嗅覚を考えてみる。

プラスチック類は、におい成分としてアルデヒド類、ケトン類、カルボン酸類の揮発成分を発する。いずれも製造時の熱分解によって発せられるものである。その殆どは人によって不快もしくは気にならない、と分類されるものであって、よい香りととらえられることはまずない。

これに対し木材のにおい成分は、テルペノイド類・芳香族類・アルカロイド類のようによい香りと感じられるもの、低級脂肪酸類のように不快な臭気と感じられるものなどがある。それらは樹木本来の生理活動で生成されるものと、木材成分が微生物等によって分解された結果生じるものの2通りがある。

ここでまず言えることは、プラスチックのにおいのほぼ全てが、製造・成型時に(一気に)生じるものだということである。それに対して木材のにおい成分は、木材自体の成長に伴って蓄積されてきた成分と、その木材が微生物等によって分解され生じるという、そのいずれもがその木材の「歴史」ともいえる長い時間を伴うものであるということだ。

いうまでもなく木材は、その成長に数十年以上の長い時間を要する。快不快こそあれ、木材のにおいは、その長い時間を踏まえた「重み」を伴うということが言える。そしてこの「重み」は単に時間の長さだけではない。樹種はもちろん生育環境(場所・機構・土質・日当たりetc)も踏まえたものなのである。

「ローズウッド」と呼ばれる高級木材がある。一種類の木の名前ではなく、インディアンローズウッド、キングウッド、ホンシタンなど、マメ科の木材のうちで濃い(赤・茶・オレンジ)系の色で密度が高く・重く硬い材を指す。そしてその特徴の一つが「バラに似た香りがする」というものである。実際にはバラばかりではなく様々な種類の香りであるというが、特にバラそっくりの香りがするチューリップウッドももちろんこの仲間だ。

また、食べられる実が生る木は、材も多くがその実をほのかに連想させる香りがする。 アンズ、ウメ、カキ、サクラ、ザクロ、ナツメ、ビワなどがこれにあたる。

マツやビャクダンのように、だれもが嗅いだらすぐにわかるような独特の強い香りをずっと発し続けるものもあるが、木材のにおいの多くは加工時など切削面が新たに表れたときにだけハッキリあらわれ、時間が経つとほとんどわからなくなることが多い。

# 6.ふくみ

以上のように見てくると、木材に関する視覚以外の感覚は「周辺の説明から外堀を埋めるように、あるいは浮き彫りにするように(まわりくどく)説明する必要がある」と感じる。直接的に言葉にしづらく、単純な記述・数値化が困難なのだ。そのため、木材の知識を包括的に身に着けるには、一見無駄が多く(周辺を含む)膨大な情報量を必要とするし、「これ」と的確に指示・言明することが困難なために、知識に「ふくみ」(余裕・あそび)を持たせて習得・経験する必要がある。これはとりもなおさず「非認知能力」を必要とし、またそれを培っていく過程そのものだといえる。

そして、その「ふくみ」を持つことは、その木材が生まれ出るまでの膨大な時間と周囲の環境(気候・土・光・水・空気・微生物・植物・動物・虫etc・そして人)に思いをはせ、それらの中に自らが入り込んで自らとつなげていくことを意味する。そうして、木とそれを取り巻く世界を自分のものとしていく過程が「木育」なのであろう。

そして木育によって培われる非認知能力、これこそが(木育によって育まれる)「感性」だ、ということになる。

# IV. 木の種類と特性

- ・樹種:樹種名は『【原色】木材加工面がわかる樹種事典』によった。カシ→アカガシ、 ウバメガシ のように一般名から分岐/変更されている場合がある。
- ・環孔材:広葉樹のうち、導管が年輪に沿って並んでいるもの。年輪がはっきり見える。
- ・散孔材:広葉樹のうち、導管が全体に散らばっているもの。年輪がわかりづらい。
- ・放射孔材:広葉樹のうち、導管が中心から放射状に並んでいるもの。硬度が高め。
- ・針葉樹: 針葉樹には導管はなく仮道管が材全体を満たしている。硬度が低め。
- ・硬度:1(最軟)~10(最硬)で表す。

	木	材として使ん	用される代表的な樹種	一覧(五十音	盾順)		
樹種	科名	針/広	産地	比重	硬度	色	備考
アオダモ	モクセイ科	広(環孔)	北海道~九州	0.62~0.84	7	クリーム/白	硬/粘
アカガシ	ブナ科	広(放射)	本州/四国/九州	0.8~1.05	8+	淡紅色	重/硬/粘
アカマツ	マツ科	針葉樹	北海道~九州	0.42~0.62	3	赤味クリーム	耐水性
アパ	マメ科	広(散孔)	アフリカ	0.62~0.95	6+	オレンジ~赤茶	加工容易
イタヤカエデ	ムクロジ科	広(散孔)	北海道	0.58~0.77	7	クリーム	甘い匂い
イチイ	イチイ科	針葉樹	北海道~九州	0.45~0.62	3+	オレンジ	加工容易
イヌマキ	マキ科	針葉樹	本州~沖縄	0.48~0.65	4	クリーム	硬針葉樹
インディアンローズ	マメ科	広(散孔)	インド	0.85	6	赤紫	美高級材
ウエンジ	マメ科	広(散孔)	アフリカ	0.88	8	チョコレート色	硬く強い
ウバメガシ	ブナ科	広(放射)	本州~沖縄	1.03	9+	赤味クリーム	国産最硬
エンジュ	マメ科	広(環孔)	全国	0.64	5	焦げ茶	中国原産
オニグルミ	クルミ科	広(散孔)	北海道~九州	0.53	4	褐色	加工容易
			ヨーロッパ	0.8	6		
オリーブ	モクセイ科	広(散孔)	アフリカ	0.89	7	褐色	油分強
カツラ	カツラ科	広(散孔)	北海道~九州	0.5	4	クリーム	加工容易
カヤ	イチイ科	針葉樹	本州/四国/九州	0.53	3	黄色	将棋盤等
キハダ	ミカン科	広(環孔)	北海道~九州	0.48	4	黄~黄土	加工容易
キリ	キリ科	広(環孔)	北海道/本州/九州	0.19~0.4	1	アイボリー	国産最軟
<u>ーーマッ</u> キングウッド	マメ科	広(環孔)	ブラジル	1	8	褐色~紫	バラ臭
クス	クスノキ科	広(散孔)	本州/四国/九州	0.52	4		ラインス 樟脳臭
クリ	ブナ科	広(環孔)	北海道~九州	0.6	5	黄土	耐久性高
クロマツ	マツ科	針葉樹	本州/四国/九州	0.44~0.67	3+	クリーム	ヤ二強
ケヤキ	ニレ科	広(環孔)	本州/四国/九州	0.47~0.84	4~7	<u>フリーム</u> オレンジ~黄	木目美
シイ	ブナ科	広(放射)	本州~沖縄	0.5~0.78	8	クリーム	割れねじれ
	アオイ科		上 本州~沖縄 北海道~九州			クリーム/白	合板仕上げ
シナ	ブナ科	広(散孔)	<u> </u>	0.37~0.61	3		
シラカシ スギ	ヒノキ科	広(放射) 針葉樹	北海道/本州	0.74~1.02	8	<u>クリーム</u> 赤褐色	<u>重/硬/粘</u> 建材·直
				0.3~0.45	2		<u> </u>
	マメ科	広(散孔)	アフリカ	0.74	7	焦げ茶/肌色	加工難
セン	ウコギ科	広(環孔)	北海道~九州	0.4~0.69	5	クリーム	木目美
センダン	センダン科	広(環孔)	本州~沖縄	0.55~0.65	5+	赤茶	加工容易
ダケカンバ	カバノキ科	広(散孔)	北海道/本州	0.65	6	ピンク~クリーム	安価良材
タモ	モクセイ科	広(環孔)	北海道/本州	0.43~0.74	6+	クリーム	粘り強い
チーク	シソ科	広(環孔)	東南アジア	0.65	4	黄土	油多良材
チューリップウッド	マメ科	広(散孔)	ブラジル	0.96	9	赤~ピンク	バラ臭
<u>ッガ</u>	マツ科	<u>針葉樹</u>	本州/四国/九州	0.45~0.6	3-		高級建材
ニレー	ニレ科	広(環孔)	北海道~九州	0.42~0.71	6	クリーム	加工難
バーズアイメープル	ムクロジ科	広(散孔)	北アメリカ	0.7	5~6	クリーム〜飴色	加工難
バルサ	アオイ科	広(散孔)	中米~南米	0.08~0.25	1	クリーム/白	最軽/軟
ヒッコリー	クルミ科	広(環孔)	北アメリカ	0.72~0.9	6+	ベージュ	硬/粘
ヒノキ	ヒノキ科	針葉樹	本州/四国/九州	0.34~0.54	2~3	白~黄~ピンク	高級建材
ビワ	バラ科	広(散孔)	本州/四国/九州	0.86	7+	クリーム	重厚強靭
ビャクダン	ビャクダン科	広(散孔)	インド/オーストラリア	0.8~0.9	4	黄色	香り独特
<u> ブナ</u>	ブナ科	広(散孔)	北海道~九州	0.5~0.75	5+	ベージュ	加工容易
ブビンガ	マメ科	広(散孔)	アフリカ	0.8~0.96	8	あずき色	硬・重厚
ブラジリアンローズ	マメ科	広(散孔)	ブラジル	0.85	6	赤~黒~紫	美・加工易
ベイスギ	ヒノキ科	<u>針葉樹</u>	北アメリカ	0.32~0.42	2	黄土	加工容易
ベイマツ	マツ科	<u>針葉樹</u>	北アメリカ/オセアニア	0.53~0.55	3	赤味クリーム	加工容易
<u> </u>	モクレン科	広(散孔)	北海道~九州	0.4~0.61	4	黄緑色	加工容易
ホワイトアッシュ	モクセイ科	広(環孔)	北アメリカ	0.67~0.69	6+		粘り強い
ホンコクタン	カキノキ科	広(散孔)	東南アジア	0.8~1.2	9	黒	硬/強/重
ホンシタン	マメ科	広(散孔)	東南アジア	1.09	9	茶色	<b>硬•重</b>
マカバ	カバノキ科	広(散孔)	北海道/本州	0.5~0.78	7+	薄あずき色	均質
<u> </u>	ミカン科	広(散孔)	本州/四国/九州	0.8	5	レモン色	小物用
ミズナラ	ブナ科	広(環孔)	北海道~九州	0.45~0.9	5	クリーム	家具材
ムクノキ	ニレ科	広(散孔)	本州~沖縄	0.85	6	褐色	<u>建材•道具</u>
ヤマグワ	クワ科	広(環孔)	北海道~九州	0.52~0.75	6+	緑褐色~焦げ茶	木目美
ヤマザクラ	バラ科	広(散孔)	本州/四国/九州	0.62	5	黄~緑~ピンク	経年美
ラワン	フタバガキ科	広(散孔)	東南アジア	0.46~0.68	4-	赤味クリーム	合板
神代〇〇			土中(1000年以上)			ニ種々の材。渋い濃	色、貴重品

# V. 現実への対応能力(汎用性)

# 1. 生きている現実

これまで見てきたように、木材には数多くの種類があるうえ、生き物であるから厳密には一つとして同じものはない。さらに一本の同じ木でも材を取った部位で異なり、製材後の乾燥の度合い、時間のおき方でも違いが生じる。木材は材になってからも乾燥や経時とともに色が変化し、「割れ」や「ねじれ」などを生じることがある。これは酸化をはじめとする化学変化と、木材内部に常に力が掛かっているためで、つまり伐採しても"死んで"単なる「モノ(静物)」になっているのではなく、ある意味"生きている"のだ。

「感性」としてはこれをどこまで認識できるか。逆から見れば、一つとして同じもののない、そして変化し続ける木材の、どこまでを「同じもの」として括って認識するのか(≒ 違いをどこまで無視するのか)、ということが問題となる。

一般に、違いが判り、区別ができるようになって"良さ"がわかると"元には戻れない"と言われる。美味しい酒を知ってしまったら、それまで普通に飲んでいた合成焼酎が飲めなくなった、というようなものだ。感性を磨くことはできても、鈍くすることはできない、ということであろう。

杉山明博の制作する「創具」という一種の積み木がある。この創具は、全て無着色で削り出しのままの無垢の木材で作られているが、色も硬さも形も大きさも異なる、数多くの材種からなるパーツで構成されている。また、絶妙に手に馴染む(気持ちのよい)かたちに削り出されているもの、何らかの意味のある組み合わせをアフォードするかたちのもの等で構成されたいくつかのシリーズがあり、加えて組み合わせをしたくなる絶妙な位置に、それぞれのパーツを繋げることのできるジョイントが設けられている。単に積み重ねるだけではなく、思いのまま立体的に組み上げて構成することができる。



Fig.3:杉山明博「創具」

この「創具」に触れていると、誰でも何の指示をされなくとも自然に、動物・乗り物・ 建物・街・ひみつきち、等の意味のある何かを作り出したくなる。

ハッキリとそれぞれのパーツの材が異なり、かたちが異なり、それぞれの手触りも大きさも匂いも重さも叩いた音も異なることがわかるのだが、それらを構成して意味のある何かを作り上げるときには、それは総体として「家」になり、「くるま」になり、「ライオン」

になる。この自由自在な「見立て」をアフォードする創具は、それぞれの材の違いを認識することを何ら妨げない。創具に触れた子どもたちは、「くま」を作りつつもローズウッドで作られた一つの滑らかなパーツを撫でながら「これって気持ちいい」「私これが好き」と言う。前述の酒とは異なり、違いが分かってもなお、感性を妨げずに総体として括った「見立て」を構成することができるのだ。

#### 2. オブジェクト・プロパティ・メソッド

2020 年度から小学校でプログラミング教育が全面実施される。このプログラミング教育の中心目的となるのは、プログラミングする知識技術ではなく「プログラミングマインド」と呼ばれる、いわば(プログラミング的な)もののとらえ方だ。

プログラミングとは、オブジェクトと呼ばれる「モノ」に対して、何らかの目的に沿ったメソッドと呼ばれる操作を、プロパティと呼ばれるそのオブジェクトの性質に応じて設定していくことである。つまり、プログラミングマインドとは現実世界をオブジェクト・プロパティ・メソッドの三つに分解して捉えること、と言い換えることができる(愛産大経営論叢 第21号『プログラミングマインドとは何か』第3章参照)。

言うまでもなく、現実世界は連続した多種多様な物事で構成されているから、その捉え 方が粗雑で感性の鈍いものであったなら、現実を反映しないリアリティと有効性に欠ける プログラムとなる。また、細かなディテールにこだわりすぎて、総体をとらえられない「木 を見て森を見ず」の状態となったなら、プログラムとして構成して動作させることなどで きない。

このプログラミングマインドを培う場面でこそ、木育による感性と、創具による見立てが生きてくる。求められるのは細やかな感性で現実世界を「ふくみをもちつつ」的確にとらえ、見立てで培った構成力と汎用性でプログラム化(構成)していく、ということなのだ。

#### VI. おわりに

現実世界は日々刻々と変化し続けている"諸行無常"の状態であって、多種多様な経験を積むべき小学生に対して、現実を固定化するかのようなプログラミング教育を取り入れること自体に批判がある。その心配はある意味正しく、もし固定化して変化や多様性を切り捨てる、感性を鈍化させるようなもののとらえ方を助長してしまうのであれば、プログラミング教育などすべきではないと思う。

だが、本稿で述べてきた木育や創具がもたらす感性と構成力/汎用性を踏まえた上で培われる「プログラミングマインド」ならば、豊かな感性を損なうことなくこれからの世界を(プログラミング的に)担い、発展させていくことができるだろう。これなら子どもたちにふさわしいものということができる。

現在の巷における「木育」が持つふわふわとしたあいまいさと、性急で議論のないプログラミング教育の推進に一抹の不安を抱きつつも、これらをうまく組み合わせて的確な教育環境が整えられることを願ってやまない。

#### 参考文献・資料

#### 【書籍】

- ・河村寿昌/西川栄明『【原色】木材加工面がわかる樹種事典』、誠文堂新光社、2019年
- ・今井昌彦/高野盛光/牧野純也/首藤貴子『プラクティカル教育の原理+方法論』、静岡学術出版、2018年
- ・西川栄明『樹木と木材の図鑑』創元社、2016年
- ・梶田熙 他『実用木材・木質材料小事典』、東洋書店、2013年
- ·村山忠親『原色木材大辞典185種』、誠文堂新光社、2013年
- ・松井勅尚『幼児の心と体を育むはじめての木育』、黎明書房、2013年
- ・岩本恵三『図解 木と木材がわかる本』、日本実業出版社、2008年
- ・稲本正&オークビレッジ『緑の国』、世界文化社、1998年
- ・稲本正『森の自然学校』岩波書店、1997年

#### 【学術論文】

・愛産大経営論叢 第21号『プログラミングマインドとは何か』牧野純也 今井昌彦 高野盛光 2018年

#### 【webサイト】

- ·木育.jp http://www.mokuiku.jp/
- ・NPO法人木育フォーラム (木育ラボ) http://mokuiku.org/
- ・林野庁 こども森林館 https://www.rinya.maff.go.jp/kids/top.html
- ・木育ファミリー http://www.mokuiku.net/
- ・一般財団法人 日本木材総合情報センター https://www.jawic.or.jp/
- ·一般社団法人 日本植物生理学会 https://jspp.org/

#### 【その他資料】

- ・小山市立車屋美術館 杉山明博造形の世界 木とあそぼ アートで200『木の見本帖』、2018年
- ・中南地域県民局地域農林水産部『子どもたちのための「木育」手引書』、2016年
- ・徳島県『とくしま木育』、発表年不詳:2013年以降
- ・木育推進プロジェクトチーム『木育』、2005年
- ・オークビレッジ株式会社 商品パンフレット

# 西洋と日本の相違

一 言葉、理論、思想、方法論について(19)

赤松 宏 (経営学部非常勤講師)

# Differences between Europe and Japan

- on Languages, Theories, Thoughts and Methods -

# Hiroshi AKAMATSU

# →要旨

「マーンズキャ・ウパニシャッド」は絶対者と個我の関係を聖音オームと関連づけつつ説明している。絶対者がいかにして現象界を成立せしめているかを明らかにするために、四位の説が立てられたが、それは絶対者(ブラフマン)が四つの部分からなるということではない。四つの位が順次後の部分が前の部分の根底となって前の部分を基礎づけていることを意味する。ただここで見いだされる最究極者としての第四位はもはや「あるもの」あるいは肯定的な原理と見なすことはできず、ただ否定的にのみ言い表せる絶対否定者であり、畢竟空である。

#### →キーワード

第一位 覚醒状態 聖音 a に対応 第二位 夢眠状態 聖音 u に対応 第三位 熟睡状態 聖音 m に対応 第四位 音量を有せず 絶対者 (ブラフマン) ∫ 現象界 (時間的存在)

主宰神(超時間的存在)

「マーンズキャ頌」は「マーンズキャ・ウパニシャッド」に基いてつくられた哲学詩であ るので、この哲学詩に入る前にウパニシャッドの新思想を考察することにする。「マーンズ キャ・ウパニシャッド」においては、絶対者(ブラフマン)を聖音オームとの対比関係に おいて説明している。オームとは元来バラモンが儀式の際に敬虔な心持で祈念を凝らして 唱える聖音であり、この音は古来、一種特別な神秘的意義を有すると考えられてきた。「マ ーンズキャ・ウパニシャッド」は個我と絶対者との問題について、このオームと関連づけ ながら展開している。ありとあらゆる一切のものはブラフマンにほかならず、そのブラフ マンは同時にわれわれの「自己」(ayam atma)でもある。万有は絶対者たるブラフマン のうちにその存在根拠を有し、一切の現象はブラフマンに基づいて成立しているのである が、そのブラフマンを象徴する語が聖音オームであり、それはブラフマンそのものと同一 視される。したがって超越した聖音オームは万有の象徴であり、オームのうちには万有が 具現されており、過去、現在、未来に属する一切の時間的存在はすべてオームの字音 (aksara) にほかならず、さらに三世を超越した超時間的存在もオームの字音に他ならな い 1)。ところで特に注意すべきことは、この絶対者たるブラフマンは差別相としての現象 界と対立する原理ではなく、現象界と対立するものは、超時間的存在としての主宰神であ る。つまり時間的存在としての現象界も超時間的存在たる主宰神も絶対者たるブラフマン の一側面にすぎない。

このような絶対者が現象界を如何にして成立せしめているかを明らかにするため四位の説がたてられたといえる<sup>2)</sup>。

位の名称	個人の意識	知的活動	経験の対象		聖音 Om を
	状態との対				構成する諸
	応関係				音量との対
					応関係
第一位	覚醒状態を	外的知を有	粗雑なるも		第一の音量
(普遍位)	その領域と	する	のを経験す		a 字
Vaisvanara	なす		る		
第二位	夢眠状態を	内的知を有	微細なるも		第二の音量
(光明位)	その領域と	する	のを経験す		u 字
Taijasa	なす		る		
第三位	熟睡状態を	純知のみ	歓喜を経験	万有の主宰神	第三の音量
(智恵位)	その領域と	一体となる	する	全知者	m字
Prajna	なす			内制者	
				万有の根源	
				万有の生起と	
				帰入の起こる	
				根底	
第四位		内的知ある		現象の融消	音量を有せ
Caturtha		に非ず		寂滅	ず
		外的知ある		吉祥	
		に非ず		不二	
		内外両者に			
		関する知あ			
		るに非ず			
		純粋の知よ			
		り成るにも			
		非ず			
		知あるにも			
		非ず			
		知無きにも			
		非ず			

絶対者(ブラフマン)が四位からなるということは、シャンカラもいうようにブラフマンが四つの部分からなるということではない。四つの位が順次根底となって基礎づけている関係をいうのであって、後の位は順次前の位の根底となっているのである。ところでこの四位の説が体系的である所以は、従来の諸観念、諸思想を単に統合整理したのではなく、従来のウパニシャッドの思想より一歩進んだ立場に立って体系化したからに他ならない。たとえば「マーンズキャ・ウパニシャッド」ではブラフマンの第三位を「万有の主宰神」「全知者」「内制者」「万有の根源」「万有の生起と帰入の起きる根源」と規定しているが、

これらの諸概念は古ウパニシャッドにおいては、いずれも絶対者あるいは世界の最高原理を意味するものであったが、「マーンズキャ・ウパニシャッド」ではこれらは第三位に名付けられたものであるとして、その背後にさらに第四位を想定し、従来のウパニシャッドでは最高原理とされていたものよりもさらに根底的な原理を見出したのである3。

ただここで見いだされた最究極者としての第四位は、もはや「有るもの」あるいは肯定的な原理とみなすことはできず、ただ否定的にのみ言い表せる絶対的否定であり、畢竟空である。かつて古ウパニシャッドの哲人ヤージュニアヴァルキアは、アートマンの本質は「純知のみ」(prajnanaghana)と規定したが、ここでは「純知のみに非ず」と否定されている。したがって古ウパニシャッドにおいて万有の本源と考えられた原理を基礎づけうるものは、それと次元を異にする絶対否定者でなければならない。万有の本源が積極的肯定的原理であるのに対して、第四位は見られず、把握されざる消極的否定的原理でなければならない4)。

人間の意識状態についても従前のウパニシャッドにおいては覚醒状態、夢眠状態、熟睡状態という三つの状態を考え、熟睡状態においてはブラフマンと合一していると説いてそれを絶対視していたが、「マーンズキャ・ウパニシャッド」においては、この三つの状態を成立させている三つの位(pada)とは異なった第四位がこれらの三つの状態を基礎づけていると考える。すなわち第四位は意識の面では特定の領域を持たないがゆえに、他の三つの意識状態を可能ならしめていると考えたのである。このように「マーンズキャ・ウパニシャッド」が第四位を立てたことは、古ウパニシャッド一般の形而上学を継承しつつ、それを超越しようとする論理的発展過程における必然的転換であったといえる。ただ第四位をこのようなものとして把捉させるに至った機縁となったものは大乗仏教の空観であったと思われる。その表現の驚くべき一致あるいは類似がこれを証明している 50。

「マーンズキャ・ウパニシャッド」においては「万物の根源」、「万有の生起と帰入との起きる根底」をブラフマンの第三位に配しただけで、未だその生起と帰入の問題は何ら説かれていなかった。ところが「マーンズキャ頌」第一章では三つの位についての比較を説いたあとで、空間的、時間的制約を受けている現象界の一切の事物は、世界原因としての「プラーナなるプルシャ」、すなわち「神」(deva)があたかも太陽が光線を放つように、一種の発出論によって流出した者であるがゆえに、個我は最高我の一部分(ekadesa)であると考えており、その哲学的立場は「ブラーフマ・スートラ」と同様、不一不異論であったということができる。

「マーンズキャ・ウパニシャッド」および「マーンズキャ頌」第一章ではブラフマンのの四位のそれぞれに独自の意義が付与されていたのに対して、第二章ではブラフマンの位(pada)の思想が全く捨てられ、覚醒時の経験はすべて虚妄であって、夢眠時のそれとの間に本質的な区別は存在しないという思想に変わる 60。この思想は仏教の唯識哲学から取り入れたもので、それによってマーヤー説を確立しようとしている。夢眠時のみならず覚醒時のそれも虚妄だとすれば、事の真相はどう表現すればよいのか。それは「滅びることなく、また生ずることなく、縛せられたものなく、また修行に勤めるものなく、解脱を欲するものなく、解脱したものもない。これが最高の真理である 70。」これが事の真相だとすれば、何故に現象界の差別相が成立するのか。それはアートマンなる神(deva)の自己展開によって現象界が創造されると説く。「アートマンなる神は自らのマーヤー(mava)に

よって自ら自己を分別する。それ(アートマン)こそ諸々の個物を知る。」創造の原理はアートマンなる神あるいは主宰神(prabhu)であるが、それ自体は不二者(advaya)であり、それ自ら万物を「分別して作り出す」(kalpayati)のである。この kalpayati という語が「思惟分別」と「創造」の両義を有しており、アートマンが世界創造神であり、その神の思惟がそのまま差別的現象界の産出なのである。差別的対立のある現象界は認識並びに行動の主体としての個我と、それに対立する客観的諸事物よりなるが、絶対者の分別とはこれら一切を現にあるがごとくに成立せしめることである。「アートマンなる神はまず第一に個我を分別して作り出し、その次に外的並びに内的なる種々の事物を分別して作り出す。」個我は精神的存在であり主体的であるからアートマンなる神に近いものであるが、外的な諸事物は客観でありアートマンの自己疎外態とみなすべきであるからアートマンより遠いものである。したがってまず近い個我を産出し、次に客観的対象的諸事物を産出すると考えたのであろう 8)。

以上のべたようにありとあらゆるものはアートマンである神の分別〈思惟〉に基づいて成立しているのであり、世界展開の原動力は神の中にあり、この神の中にある原動力こそマーヤー(maya)に他ならない。ところがこのマーヤーという力は神自体の中にあり、神を昧ますもの、神も迷い(sammoha)を有する。つまり神が迷って行う思惟が世界展開なのである。マーヤーによって世界展開を行う神、つまり世界原因としての神は勝義の絶対真理と同一ではない。勝義の真理は、絶対否定者であり、いかなる肯定的陳述をも許容せざるものであるがゆえに、みずから迷妄を具有し世界展開の原因としての神は、勝義の真理の直接の否定態として存在する。この神の観念がシャンカラの想定する主宰神(isvara)と相通ずるものであることはいうまでもない。9。

「マーンズキャ頌」第一章においては世界原因としての神が、一種の発出論に基づいて被造物は神から流出したものとして個我も世界もともに実在性を有するものとして承認されていたが、第二章になると一転して覚醒時の経験は夢眠時のそれと同様すべて虚妄であり、一切の事物はその実在性を否定されるに至る。

第三章では第二章に引き続き「万物は至る所生じつつあるけれども、真実にはなにものも生じない」といい、個我の不生不滅を虚空のたとえをもって説明している。アートマン〈大我〉は大虚空にたとえられ、個我(小我)は瓶のなかの虚空にたとえられる。瓶の中の虚空は元来大虚空と異なるものではなく、ただ瓶という制限を受けているに過ぎない。それと同様瓶が破壊すれば瓶の中の虚空が大虚空に帰一するように、諸々の個我も身体などの集合(samghata)が消滅すれば、アートマン〈大我〉に没入するのである 10<sup>1</sup>。個我と大我が同一であるとしても、互いに対立する個我を成立せしめているものは、身体、感官などの集合体に他ならない。では集合体は如何にして生じたかといえば、「アートマンのマーヤーによって創造された」という。では「実にマーヤーによって生起する」といわれた「有なるアートマン」と大我、大虚空にたとえられた不生不滅のアートマンとはどう違うのか、そのあたりがはっきりしない。(未完)

# 註

- 1) 中村元 (1967)「中村元選集第10巻」春秋社、pp.313-314
- 2) op.cit.pp.314-315
- 3) op.cit.pp.316-317
- 4) op.cit.p.317
- 5) op.cit.p.318
- 6) op,cit.pp.320-321
- 7) op. cit. pp. 322-323 これはまさに般若心経の一節をおもわせる。「これ諸法は空相にして、不生不滅、不垢不 浄、不増不減」
- 8) op.cit.pp.323-324
- 9) op.cit.pp.324-325
- 10) op. cit. pp. 326-327

# 在外子会社の実際総合原価計算システムの構築 (材料消費金額の計算)

— Microsoft Access クエリーで構築するデータベースの実際 —

伊藤 浩 (愛知産業大学非常勤講師)

# Structuring method of actual process cost accounting system for overseas subsidiary (Calculation of materials consumed)

-Database system designed by Microsoft Access Query-

#### Hiroshi ITO

# →要旨

The goal of cost accounting is to calculate the manufacturing unit price for each product. With the introduction of expensive ERP systems, the calculation can be made easier, but the user does not know the calculation process.

On the other hand, manufacturers who are eager to calculate will set up a project team in-house and try to calculate costs using Excel functions, macros and VBA. However, even if they can build a huge pile of spreadsheets, it is difficult to simply process the cost data generated from the manufacturing process every day.

This report shows the process of easily calculating the manufacturing unit cost for each product using only Access Queries without interrupting the flow of costs.

#### →キーワード

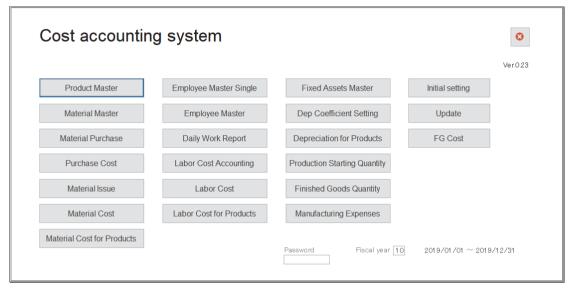
- ·Direct material costs, Indirect material costs allocation
- ·Material\_ID, Ymcode, Invoice\_Num

#### I. Model

A subsidiary of a Japanese company in the Philippines assembles materials imported from Japan and sells the products overseas. The accounting period is from January 1, 2019 to December 31, 2019. Although there are plurality of work processes, calculation for each process is not performed, and all manufacturing costs are summed up into one. The currency is US dollar.

Assuming such a company, I built a cost accounting system using Microsoft Access.

• Figure 1 Main menu of the cost accounting system



#### II. Accounting of material costs by database system

Generally, material costs are classified into raw material costs, purchased parts costs, fuel costs, factory consumables costs, consumable tool equipment costs, and the like, and they are calculated according to the characteristics of each material.

However, in this case, in order to calculate the actual accurate manufacturing costs, material costs are calculated by a continuous recording method in which all the material consumption records are obtained. Direct material costs are calculated by recording the quantity of that material consumed for a specific product. If the consumption of materials are not limited to a specific product, they are totaled as indirect material costs and allocated to each product based on direct material costs.

Even with a simple inventory calculation method that does not record consumption, it is possible to reversely calculate the input amount for the current month from the actual inventory at the end of the month. The disadvantage is that the amount of shrikage and loss is not known, which is included in the material consumption.

Cost accounting is calculated on a monthly basis. The material costs for each product for this month are direct material costs + indirect material costs allocation.

Direct material costs are the sum of the monthly material consumption of each material multiplied by the monthly material consumption unit price.

These are all calculated with the actual quantity and actual price. In the past, planned quantities and planned prices were used because of calculation complexity, delays in obtaining numerical values, price fluctuations, etc. At present, the speeding up of information has made it easier to calculate actual process cost accounting, and system is in place to calculate the cost when the actual inventory is completed.

#### III. Designing Tables

Designing Tables to calculate the material costs are as follows.

# ● Figure 2 "Material\_Master" Table Design

Material_Master ×		
Field Name	Data Type	
Material_ID	Short Text	
Material_Name	Short Text	specs(new)
Item_name	Short Text	
Item_code	Short Text	
Location	Short Text	
M_SKU	Number	Stock Keeping Unit
UOM	Short Text	unit of measure(m,pcs)
Remarks	Short Text	
input_date	Date/Time	
End	Yes/No	

The minimum required fields are "Material\_ID" and "Material\_Name", but other fields are set for the purpose of material management.

● Figure 3 "T\_Material\_Purchase" Table Design

T_Material_Purchase X		
Z Field Name	Data Type	
Material_Purchase_ID	AutoNumber	
MP_Date	Date/Time	Date of Material Purchase
Material_ID	Short Text	
MP_Qty	Number	
MP_Total_amount	Number	Include purchase cost
MP_Unit_price	Calculated	
Invoice_Num	Short Text	
YMcode	Calculated	Year Month Code
Remarks	Short Text	

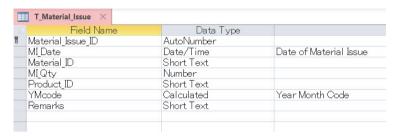
This is a Table for storing material purchase records that are purchase date, material ID, quantity, total price, unit price (automatic), invoice number, year/month code (automatic), and remarks. "YMcode" is used as an extraction condition for totalizing costs on a monthly basis. For example, if the data is January 2019, the YMcode is automatically recorded "1901".

● Figure 4 "T\_Material\_Purchase\_cost" Table Design

	T_Material_Purchase_cost ×		
	Field Name	Data Type	
li.	Purchase_cost_ID	AutoNumber	
	PC_Date	Date/Time	Invoice Date
	Invoice_Num	Short Text	RR NUMBER
	Particulars	Short Text	
	PC_Amount	Number	Amount
	PC_Tax	Number	Ta× 2%
	PC_Net	Number	Net Due
	Remarks	Short Text	
	YMcode	Calculated	Year Month Code

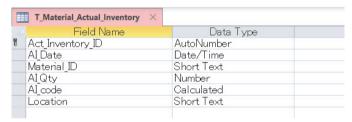
This table records incidental costs, such as shipping costs and customs duties, that are incurred in conjunction with the purchase of multiple materials. Input items are payment date, invoice number, content, total amount, tax, deduction amount, remarks, and year/month code for each invoice.

● Figure 5 "T\_Material\_Issue" Table Design



This table records material issue as material production consumption. Input items are delivery date, material ID, consumption quantity, product ID, and year/month code. If the product ID cannot be specified, leave it blank and it is counted as indirect material cost.

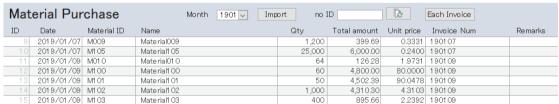
● Figure 6 "T Material Actual Inventory" Table Design



This table records the actual inventory quantity of materials. Input items are inventory date, material ID, actual inventory quantity, year/month code, and location.

# ${\rm IV}.$ Creating Data Entry Forms

● Figure 7 "F\_Material\_Purchase" Form



The record source is "T\_Material\_Purchase" Table. Input monthly material purchase records. The unit price here is a numerical value obtained by dividing the purchase amount by the purchase quantity. The incidental cost of importing the material is added to the purchase price of the material based on the invoice.

# ● Figure 8 "F\_Material\_Purchase\_Cost" Form

Ma	terial Pu	rchase Cost	Month 1901 Import	no Invoice		No Arrival		
ID	Date	Invoice Num (RR)	Particulars		Amount	Tax	Net	Remarks
	1 2019/01/07	190107	STORAGE CHARGE/CARGO TRANSFER FEE		1,200.00	0.00	1,200.00	
	2 2019/01/07	190107	SERVICE FEE/LOCAL DELIVERY CHARGE		2,543.00	50.86	2,492.14	
	3 2019/01/09	190109	STORAGE FEE/CARGO TRANSFER FEE		6,900.25	0.00	6,900.25	
	4 2019/01/09	190109	SERVICE FEE/BACKDOOR FEE/LOCAL DELIVERY CHARGE		2,380.23	47.60	2,332.63	
	5 2019/01/11	190111	STORAGE CHARGE/CARGO TRANSFER FEE		1,285.65	0.00	1,285.65	
	6 2019/01/11	190111	SERVICE FEE/LOCAL DELIVERY CHARGE		1,125.33	22.50	1,102.83	
	7 2019/01/15	190115	STORAGE CHARGE/CARGO TRANSFER FEE		3,528.20	0.00	3,528.20	
	0.040.704.745	400445	DEDUCE FEE (DAGANDOOD FEE (LOCAL DELD FERVOLLADOE		4.500.50	00.04	4.440.54	

The record source is "Material\_Purchase\_cost" Table. Input the purchase incidental cost incurred when purchasing the material for each invoice.

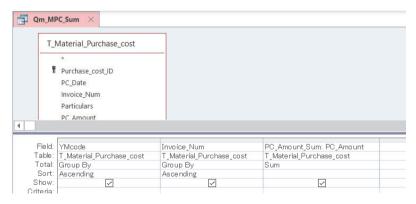
● Figure 9 "F\_Material\_Issue" Form

Mat	erial Issu	ie <sup>Mont</sup>	h 1901 V Import	no ID	D	
ID	Date	Material ID	Name	Qty	Product ID	Product Name
	2019/01/08	M009	Material009	840	P01	Product 01
9	2019/01/08	M01 0	Material01 0	740	P01	Product 01
10	2019/01/08	M011	Material011	1,220	P01	Product 01
11	2019/01/08	M01 2	Material01 2	3,880	P04	Product 04
12	2019/01/08	M013	Material013	2,860	P05	Product 05
13	2019/01/08	M01 7	Material01 7	460	P06	Product 06
14	2019/01/08	M021	Material021	840	P07	Product 07
15	2019/01/08	M022	Material022	620	P04	Product 04
16	2019/01/08	M023	Material023	710	P03	Product 03
17	2019/01/08	M024	Material024	110	P03	Product 03
18	2019/01/10	M025	Material025	510	P03	Product 03
19	2019/01/10	M027	Material027	90	P03	Product 03
20	2019/01/10	M030	Material030	70		
21	2019/01/10	M031	Material031	250	P04	Product 04
22	2019/01/10	M032	Material032	2,650	P01	Product 01
23	2019/01/10	M033	Material033	920	P27	Pmduct 27

The record source is "T\_Material\_Issue" Table. This form records the material consumption. Input the product ID if the material is consumed for a specific product. If the product cannot be specified, "Pruduct\_ID" is blank and the quantity is counted as indirect material cost.

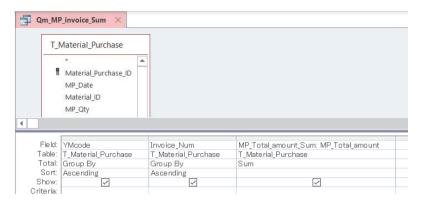
# V. Allocation of materials purchase incidental cost

● Figure 10 "Qm\_MPC\_Sum" Query Design



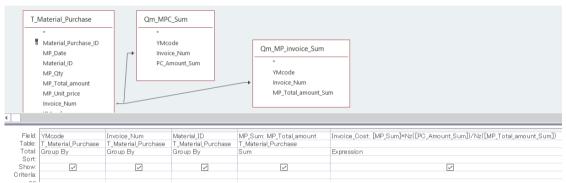
This query sums the material purchase incidental costs entered as a monthly total ([PC\_Amount\_Sum]) for each invoice.

● Figure 11 "Qm\_MP\_invoice\_Sum" Query Design



This query sums the purchase price of materials as a monthly total ([MP\_Total\_amount\_Sum]) for each invoice.

# ● Figure 12 "Qm2\_MP\_invoice" Query Design



This Query combine "Invoice\_Num" column of "Qm\_MPC\_Sum" Query and "Invoice\_Num" column of "Qm\_MP\_invoice\_Sum" Query with "Invoice\_Num" Column of "T\_Material\_Purcase" Table, and allocate the total incidental costs to each material based on the monthly direct material costs.

"Invoice\_Cost" field is allocation of materials purchase incidental cost.

The formula is [MP\_Sum]\*Nz([PC\_Amount\_Sum])/Nz([MP\_Total\_amount\_Sum]).

● Figure 13 "Qm2\_MP\_invoice" Query Datesheet View

100	Qm2_MP_inv				
	YMcode →	Invoice_Num +	Material_ID +	MP_Sum →	Invoice_Cost -
	1901	190107	M001	1,582.00	221.56
	1901	190107	M002	8,112.00	1,136.11
	1901	190107	M003	976.64	136.78
	1901	190107	M004	6,960.00	974.77
	1901	190107	M005	676.00	94.68
	1901	190107	M006	1,352.00	189.35
	1901	190107	M007	231.72	32.45
	1901	190107	M008	435.63	61 .01
	1901	190107	M009	399.69	55.98
	1901	190107	M1 05	6,000.00	840.32
	1901	190109	M01 0	126.28	77.50
	1901	190109	M1 00	4,800.00	2,945.80
	1901	190109	M1 01	4,502.39	2,763.15
	1901	190109	M1 02	4,310.30	2,645.27
	1901	190109	M1 03	895.66	549.67
	1 0 0 1	1 0 0 1 0 0	MH OA	63.60	30.03

#### VI. Calculation of material consumption amount for this month by the average method

● Figure 14 "F\_Material\_Cost" Form

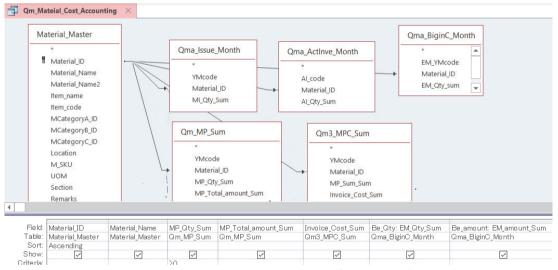
Mat	erial Cost Acc	counting	Month	1901 🗸	Monthly F	opulating	Ending Inve	ntory Ma	aterial Cost	[à		Import Shi	rinkage Cost 278
Reset Fi	lter 🔍	Beginning	Inventory		Purchase			Is	ssue	Ending Boo	k Inventory	Actual	Shrinkage
Material ID	Name	Qty	Amount	Qty	Amount	Purchase Cost	Unit Cost	Qty	Amount	Gty	Amount	Qty	Qty
M01 0	Material010	1,000	1,800.00	64	126.28	77.50	1.88	740	1,393.61	324	61 0.1 7	324	0
MO11	Material011	1,200	984.00	550	485.60	71.93	0.88	1,220	1,074.67	530	466.86	530	0
MO1 2	Material012	4,800	2,880.00	750	458.66	109.00	0.62	3,880	2,41 0.25	1,670	1,037.40	1,666	4
M013	MaterialO13			4,087	6,370.00	663.67	1.72	2,860	4,922.02	1,227	2,111.65	1,225	2
MO1 7	Material017	560	7,952.00	100	1,449.00	307.63	14.71	460	6,766.62	200	2,942.01	200	0
M021	Material021	563	365.95	640	435.63	10.95	0.68	840	567.35	363	245.18	363	0
M022	Material022	296	207.20	600	399.69	10.05	0.69	620	426.90	276	190.04	276	0
M023	Material023	520	6,240.00	500	6,000.28	150.80	12.15	710	8,625.16	310	3,765.92	310	0
M024	Material024	66	2,653.20	100	4,000.83	100.55	40.69	110	4,475.93	56	2,278.65	55	1
M025	Material025	335	1,742.00	400	2,000.39	50.27	5.16	510	2,631.64	225	1,161.02	225	0
M026	Material026	32	2,406.40	80	5,986.00	150.44	76.28		0.00	112	8,542.84	112	0
M027	Material027	62	5,395.24	73	6,358.00	441.73	90.07	90	8,105.96	45	4,089.01	45	0
M028	Material028			100	63.60	4.42	0.68		0.00	100	68.02	100	0
M029	Material029			100	62.75	4.36	0.67		0.00	100	67.11	100	0
M030	Material030			100	36.99	2.57	0.40	70	27.69	30	11.87	30	0

The record source is "Qm\_Mateial\_Cost\_Accounting". This form shows, from the left, beginning inventry, monthly purchase, monthly consumption, ending book inventory, ending actual inventory, and inventory loss.

The relationship between these items is as follows.

Beginning inventry + Monthly purchase - Monthly consumption = Ending book inventory Ending book inventory quantity - Actual inventory quantity = Inventory loss

● Figure 15 "Qm\_Mateial\_Cost\_Accounting" Query



This query is composed of the following some queries. ([Field Name])

<sup>&</sup>quot;Qma\_BiginC\_Month" Query: The included fields are actual inventory quantity and inventory amount at the end of the previous month. These fields are treated as beginning inventory quantity([Be\_Qty]) and beginning inventory amount([Be\_amount]).

<sup>&</sup>quot;Qm\_MP\_Sum" Query: The included fields are monthly purchase quantity([MP\_Qty\_Sum]) and purchase amount([MP\_Total\_amount\_Sum]).

<sup>&</sup>quot;Qm\_MPC\_Sum" Query: Allocation of material purchase incidental cost([Invoice\_Cost\_Sum]) is inclued.

<sup>&</sup>quot;Qma\_Issue\_Month Query": Material consumption quantity for this month([MI\_Qty\_Sum]) is

inclued.

"Qma\_ActInve\_Month" Query: Actual inventory quantity at the end of this month ([AI\_Qty\_Sum2]) is inclued.

"Unit\_C" field is unit price of material consumption for this month by the average method. This is calculated by the following formula.

IIf(Nz([Be\_Qty])+Nz([MP\_Qty\_Sum])=0,0,(Nz([MP\_Total\_amount\_Sum])+Nz([Be\_amount])+Nz([In voice\_Cost\_Sum]))/(Nz([MP\_Qty\_Sum])+Nz([Be\_Qty])))

Material consumption amount for this month ([Material\_Cost\_Month]) is calculated by the following formula.

[Unit\_C]\*Nz([MI\_Qty\_Sum])

Ending book inventory quantity ([End\_Book\_Qty]) is calculated by the following formula.

Nz([Be\_Qty])+Nz([MP\_Qty\_Sum])-Nz([MI\_Qty\_Sum])

Ending book inventory amount is calculated by the following formula.

Nz([MP\_Total\_amount\_Sum])+Nz([Be\_amount])+Nz([Invoice\_Cost\_Sum])-Nz([Material\_Cost\_Mont h])

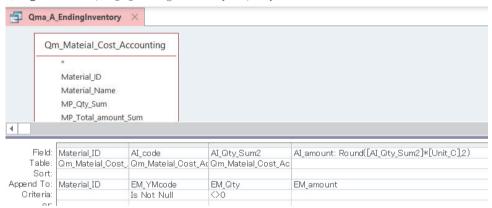
Take actual inventory at the end of the month and compare with book quantity. If there are quantity loss, investigate the cause, and if they are measurement error, correct actual inventory. Inventory loss is as follows.

Shrinkage quantity ([Shrinkage\_Qty]) = [End\_Book\_Qty]-[AI\_Qty\_Sum2]

Shrinkage Cost = [Shrinkage\_Qty]\*[Unit\_C]

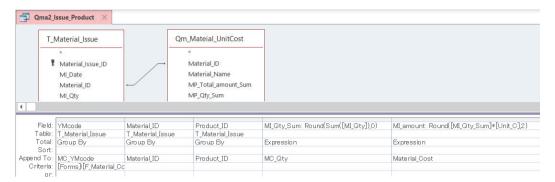
Finally, the actual inventory quantity is determined as the end for this month and recorded as the biginning inventory of the following month by "Qma\_A\_EndingInventory" Query.

• Figure 16 "Qma\_A\_EndingInventory" Query



<sup>&</sup>quot;Qma2\_Issue\_Product" query records the material consumption amount for this month in "Tc\_Material" Table. Material consumption with a product ID is recorded as direct material consumed and material consumption without it is recorded as indirect material consumed.

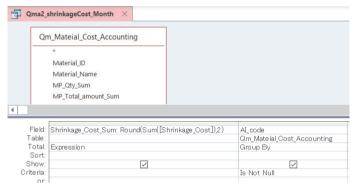
# • Figure 17 "Qma2 Issue Product" query



● Figure 18 "Tc\_Material" Table (Query execution result)

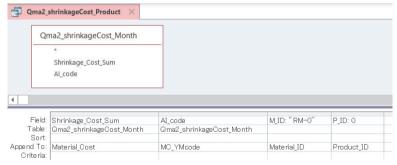
Tc_Material	×				
∠ Material_Co: +	Material_ID +	Product_ID 🕶	Material_Cost +	MO_Qty →	MC_YMcode -
16	M023	P03	8,625.16	710	1901
17	M024	P03	4,475.93	110	1901
18	M025	P03	2,631.64	510	1901
19	M027	P03	8,105.96	90	1901
20	M030		27.69	70	1901
21	M031	P04	54.58	250	1901
22	M032	P01	9,615.48	2650	1901
23	M033	P27	14 586 59	920	1901

● Figure 19 "Qma2\_shrinkageCost\_Month" Query



This query sums the monthly total of inventory shrinkage costs.

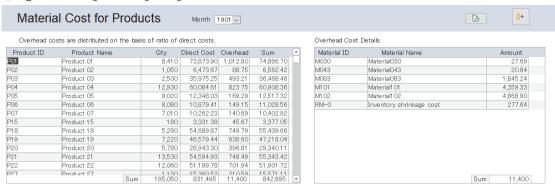
● Figure 20 "Qma2\_shrinkageCost\_Product" Query



This query records inventory shrinkage costs as indirect material costs for this month in the "Tc\_Material" table.

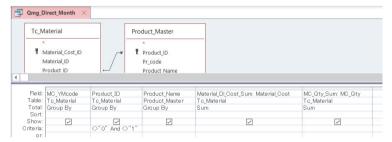
# VII. Material consumed and indirect material cost allocation by product

# ● Figure 21 "F Material Cost Products" Form



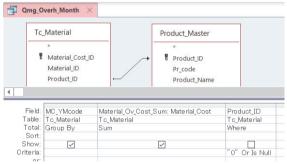
This list requires monthly direct materials amount and indirect material costs allocation for each product. For that, some queries must be combined.

# ● Figure 22 "Qmg\_Direct\_Month" Query



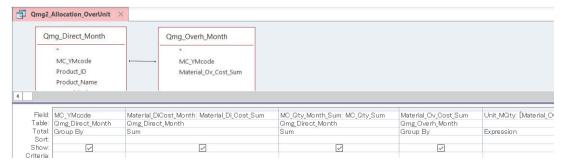
This Query sums monthly direct materials quantity and amount for each product.

# ● Figure 23 "Qmg\_Overh\_Month" Query



This query sums monthly indirect material costs.

## • Figure 24 "Qmg2 Allocation OverUnit" Query



This query calculates the unit price of the allocation amount based on the direct material costs amount or the material consumption quantity.

"Material DiCost Month" field is monthly direct materials amount ([Material Di Cost Sum]).

"MC\_Qty\_Month\_Sum" field is monthly total of direct materials quantity ([MC\_Qty\_Sum]).

"Unit Maty" field is unit price of monthly indirect material costs. (Quantity based)

The formula is "[Material\_Ov\_Cost\_Sum]/[MC\_Qty\_Month\_Sum]".

"Unit\_Mcost" field is unit price of monthly indirect material costs. (Amount based)

The formula is "[Material\_Ov\_Cost\_Sum]/[Material\_DiCost\_Month]".

# ● Figure 24 "Qmg3\_Direct\_Overh\_Month" Query

	g_Direct_Month	<u> </u>	Qmg2_Allocation_OverUr	nit		
	MC_YMcode Product_ID Product_Name Material_Di_Cost_Sum		MC_YMcode Material_DiCost_Month MC_Qty_Month_Sum Material_Ov_Cost_Sum			
Tabl	ld: MC_YMcode e: Qmg_Direct_Month	Product_ID Qmg_Direct_Month	Product_Name Qmg_Direct_Month	Material_Di_Cost_Sum Qmg_Direct_Month	MC_Qty_Sum Qmg_Direct_Month	Material_Ov_Cost: [Unit_MCost]*[Material_Di_Cost_Sum]
Se She Criter	w: 🗸	<b>V</b>			<b>V</b>	V

This query is the record source for "F\_Material\_Cost\_Products".

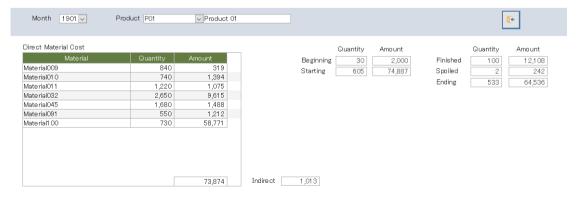
"Material\_Ov\_Cost" field is indirect material costs allocation amount.

The formula is "[Unit\_MCost]\*[Material\_Di\_Cost\_Sum]"

#### VIII.Conclusion

Query combines some fields in the table and uses these ones to calculate manufacturing costs by the four basic arithmetic operations etc. There is no need to use a programming language such as SQL or VBA that can be handled only by advanced users. Also, it doesn't require a lot of spreadsheets, it just needs some data to import.

Finally, here is the form for calculating costs of finished goods and the amount of work in process at the end of the month. Note that the direct and indirect material costs amounts for "Product 01" in Figure 21 match those ones in this form.



# 国際ビジネス教育に関わるプログラム研究

—TOEIC®テスト対策講座—

各務 行雅 (愛知産業大学准教授)

# Program Research on International Business Education

-The TOEIC® Test Extension Course-

Yukimasa KAGAMI

### →要旨

最近、多くの企業において **TOEIC**® テストのスコアによって海外赴任に行く機会や企業内における昇格、あるいは給付手当(資格奨励)金などが得られることに注目が集まっている。一方、いくつかの大学では **TOEIC**® テストのスコア (400 点以上が目安)が卒業要件(必修科目)になっている。

そこで、本学において TOEIC® テスト対策講座に取り組みたいという意欲的で、かつ 積極的な学生を募集し、比較的短期間(約4カ月)でスコアを向上させる実践的な学習プログラムに取り組み、スコア向上のための効果的な指導を行い、テスト対策講座の前後において上昇したスコア結果の分析などについて研究報告をする。

#### **→**キーワード

- ・国際ビジネス教育
- ・TOEIC® テスト
- ・効果的な英語学習法
- · International Business Education
- · The TOEIC® Test
- · Effective English Teaching Approaches

### I. はじめに (テーマの理由と目的)

近年、英語の資格試験の一つである TOEIC® テストが企業の採用試験や昇格・昇進に少なからず影響を与えているために、大学生が就職活動を始める前から TOEIC® テストを受験する傾向が強くなってきているように思われる。企業の採用条件のトップはコミュニケーション能力であり、続いて高い英語力が求められている。TOEIC® テストのスコアは採用時点だけではなく、入社してからも報奨金が得られることから年々受験者数が増え続け、今や実用英語検定試験(通称、英検)以上の人気がある。

TOEIC® テストは Listening Section(100 問、約 46 分)と Reading Section(100 問、75 分)から成り、合計 200 問を約 2 時間で解くテストである。スコアはそれぞれのセクションで  $5\sim495$  点に換算され、合計  $10\sim990$  点で示される。また、大学生であれば、500 点以上のスコアを取ると履歴書に記載できるスコアだと見なされるが、できれば在学中に 600 点以上の スコアの獲得を目標にすることが望ましいとされる。

しかし、一方で、TOEIC® テストのスコアが 400 点程度の英語教員が公立中学校いるのが教育の現情である(「TOEIC280 点、中学校英語教師の英語力の低さが浮き彫りに」, 2018 年 7 月 29 日閲覧)。 文部科学省(2018)の報告によれば、中学校や高校の英語教員の基準に TOEIC® テストで 730 点以上のスコアが望ましいとの基準を公表しているが、2018 時点で中学校英語教師の約 70%が 730 点を取得していない状況であるとし、早期に目標を達成すること推奨している。

しかしながら、この報告は、残りの約3割しか英語教師の資格基準を満たしていないことを意味しており、英語を教える力量に欠けている教師が多いのではないかと言わざるを得ない(「中学英語教師の7割以上が英語準1級(TOEIC730点)もない現実」、2018年7月23日閲覧)。

TOEIC® テストにおけるスコア 730 点は、満点のスコアが 990 点であることを考慮すれば、70%程度しか正答(正解)していないことを意味するため、英語を十分理解しているとは言えないのではないかと十分に考えられる。

そこで、本学に於いて英語力向上に意欲を燃やす積極的な学生に TOEIC® 講座を受けてもらい、1学期(4カ月)でどれだけスコアを向上させることができるか、実践的な学習プログラムに取り組んでみようと考えた。

この研究で改善しようとする課題、事業の目的、期待される効果については、次の 通りである。

#### ①改善しようとする課題

「国際教育に係る英語学習プログラム研究」というテーマで TOEIC® テスト対策 講座を在学生のために開講し、約4カ月でスコアを向上できる効果的な学習プロ グラムを作成する。

### ②事業の目的

国際的な舞台で活躍できる人材を育成するために、大学教育の通常のカリキュラム以外で意欲的に TOEIC® 試験対策講座に取り組む学生の TOEIC® スコアの向上を目指す。

#### ③期待される効果

- (1) 初中級程度の英語力をもつ本学の学生が短期間で平均スコアは  $50\sim100$  点を向上させることができる。
- (2) 受講学生の約半数が履歴書に書くことができる最低限とされるスコア 500 点以上を取得することができる。

本実践研究報告では、初めて TOEIC® テストに挑む学生に対して、2 つの期待される効果を達成できるためのプログラムに取り組んだ成果について分析・考察し、今後におけるさらなる効果的な TOEIC® テスト対策プログラム研究について提案したい。

### Ⅱ. TOEIC® 対策講座の必要予算計画案と募集計画

本学の学内教育 GP で与えられた予算案と募集計画は、以下の通りである。

### \*必要予算計画案(受講者:13人)

・TOEIC IP 試験受験料	¥4,155×12 人=49,860 円
・TOEIC 対策テキスト(1)	
・TOEIC 対策テキスト(2)	¥1,555×13 人=21,215 円
<ul><li>マークシート用シャーペンシル</li></ul>	¥324×13 人= 4,212 円
・その他(郵送料及び振り込み手数料)	2,963 円
合 計	100.000 ⊞

#### \*募集計画

UNIPA(本学の学内配信メールシステム)の一斉メールで対象になる学生に本講座に参加を希望する学生は、直接研究室に来て申し込み、9月22日のお昼休みに予定している TOEIC® 講座ガイダンスに出席することを伝えた。また、申し込む際、対策講座の授業に全部出席すること、及び TOEIC® IP テストを受験することが必須であることを理解してもらった上で、約束事を掲げた誓約書に署名して参加してもらった。

その結果、TOEIC®対策講座に参加した学生は 13人で、その内訳は、4年生1人、3年生2人、2年生1人、1年生9人と新入生が最も多く、男女比で、7:6とほぼ同数であり、国別では、日本人が9人、留学生は4人で、中国人が3人、ベトナム人が1人であった。

#### Ⅲ. TOEIC® 対策講座の教材と学習の進め方

本講座で使用した教材は、『はじめてでも 600 点ごえ! TOEIC® テスト全パート完全対策 新形式問題対応(早川幸治著、2016年、永岡書店)』で、これを中心的に使って毎回の講座で計画に沿って進めた。早川(2016)によると、TOEIC® テスト対策には、①英語力、

②情報処理能力、③対策力の3つの能力が必要であると述べている。単に英語力が高いだけでは、膨大な量の英語を聴いたり、読んだりして解答に辿り着くことはできないし、各パートの特徴と特性(引っ掛け問題)を理解し、その対策を立てておかなければ、TOEIC®テストで高スコアを出すことができないからである。筆者自身も50冊を超えるTOEIC®テストのテキストに目を通したが、このテキストには、ステップ1で学習プランを立て、ステップ2で本書をこなし、ステップ3では模擬試験で実践力を磨くという段階を踏んでいるので、受講者は無理なく学習を進めることができると判断した。

そして、『改訂版 もしも、こんな英語の授業に出会っていたら?―英語の「なぜ?」を解き明かす 55 の秘話(各務行雅著、2015年、㈱三恵社)』を 2 冊目の教材本として扱った。これには英語学習のヒントが盛りだくさん書いてあり、それを受講生が授業外で活用できることがねらいである。

次に、講座の日程は、学生が授業を履修していない木曜日の4時間目を最大限利用 することにした。なお、テスト対策講座の日程と学習内容は、以下の通りである。

<b>◎TOEIC®</b> 対策講座ガイダンス	09月24日	(木)	お昼休み
①TOEIC® 対策講座 (概要+プレテスト①)	10月04日	(木)	4時限目
②TOEIC® 対策講座 (プレテスト②)	10月11日	(木)	4時限目
③TOEIC® 対策講座 (パート1)	10月18日	(木)	4時限目
④TOEIC® 対策講座(確認小テスト①、パート2)	10月01日	(木)	4時限目
⑤TOEIC® 対策講座(確認小テスト②、パート3)	11月08日	(木)	4時限目
⑥TOEIC® 対策講座(確認小テスト③、パート4)	11月15日	(木)	4時限目
⑦TOEIC® 対策講座(確認小テスト④、パート5)	11月22日	(木)	4時限目
®TOEIC® 対策講座(確認小テスト⑤、パート6)	11月29日	(木)	4時限目
⑨TOEIC® 対策講座(確認小テスト⑥、パート7①)	12月06日	(木)	4時限目
⑩TOEIC® 対策講座 (確認小テスト⑦、パート7②)	12月13日	(木)	4時限目
①TOEIC® 対策講座(確認小テスト®、全パート)	01月10日	(木)	4時限目
⑫TOEIC® 対策講座(TOEIC® 模擬試験)	01月17日	(木)	4時限目
③TOEIC® 対策講座(TOEIC® IP 試験)	01月24日	(木)	4時限目
⑭TOEIC® 対策講座 (ポストテスト)	01月31日	(木)	4時限目
⑤TOEIC® 対策講座 (講座の振り返りとまとめ)	02月07日	(木)	4時限目

毎週の講座における学習の進め方としては、使用テキストの学習進度に従って、学生の英語力や理解度に歩み寄りながら、各パートの問題の特徴や注意事項、効果的な解き方の説明、例題に取り組む方法で進めた。また、その週に学習した語彙の発音練習を行い、次週の最初の5分で語彙の意味を英語で書くという小テストを受験してもらい、小テスト終了後、すぐにその場で小テストの答え合わせを行い、次の週の学習課題に取り組んでいった。また、学習中は受講者に何度も英単語や英文の音読に力を注ぐ時間をとった。特に、シャドーイングの手法を用いて、音声を聴いたらすぐに英語を何度も再生できるよう練習を何度も繰り返した。

もちろん、筆者の TOEIC® テスト受験 10 回以上の経験から、実際の受験に役に立

ちそうな解法テクニックについても、解答する上で必須だと思われる随所に織り込んでいった。受講者の中には1度だけ TOEIC® テストを受験した学生が2人いたので、経験した学生の声を共有することに役立ったと思われる。

本講座の特徴的な取り組み方法としては、講座の最初に市販されている TOEIC® 模擬試験問題をプレテストとして、過去に一度も TOEIC® テストを受験したことがない多くの学生にいきなり受験してもらったことが挙げられる。この方法を用いると、公開試験と類似した問題を解答し、直後に答え合わせをすれば予想されるスコアが比較的簡単に算出できるので、大変利用価値が高いと言える。そして、講座の最後においてもプレテストとまったく同じ試験問題をポストテストとして受験してもらった。これは TOEIC® テスト未受験の学生が4カ月でスコアがどれだけ向上するのかを測る一つの方法として、一番わかりやすいのではないかと考えたからである。

また、市販の TOEIC® 模擬試験だけでは正確なスコアが測定できないので、学内で TOEIC® IP (Institutional Program) テストを受験してもらうことにした。TOEIC® IP テストというのは、過去に出題された公開試験の問題を再利用した問題を使い、10人以上の受験者が集まれば、いつでもどこでも受験できる制度である。また、スコアの返送が1週間以内であり、一人当たり約4,155円と比較的割安に受験の機会を設けることができるので、新入生の英語力を測定する手段として採用している大学は多いと聞いている。以下に、各パートの特徴と解法上、特に注意する点を述べたい。

### ①パート1 (写真描写問題、全6問、4択)

写真に写っている人物の動作や物の位置や状態を描写した4つの英文から正し く描写している英文を1つ選択する。ただし、動作を受けている人や物が主語 になったり、後方に写っている人や物が描写されたりする場合があるので、十 分に注意する必要がある。

②パート2 (応答問題、全25 問、3択)

疑問文、平叙文に対して3つの応答文から正しいものを1つ選択する。ただし、 疑問文→答えの単純な組み合わせ以外に、疑問文→疑問文、平叙文→疑問文、 平叙文→平叙文があるので、十分に注意する必要がある。

③パート3 (会話問題、3問×13セット=全39問、4択)

 $2\sim3$ 人の会話(約 30 秒)を 13 セット(最後の 3 セットには図表がある)聞いて、それに続く 3 つの質問に答える。ただし、会話文に出てくるキーワードは、たいてい言い換えられた選択肢(例、cheap が inexpensive、free がcomplimentary)に変わっているので、十分に注意する必要がある。また、 1 セットの 3 つの問いは、会話全体(森) $\rightarrow$  部分(木) $\rightarrow$  部分(木)に関する問いが多いので、会話の流れに注意するとよい。

④パート4 (説明文問題、3問×10セット=全30問、4択)

1人の説明 (約30秒) を 10 セット (最後の2 セットには図表がある) 聞いて、それに続く3つの質問に答える。ただし、説明文に出てくるキーワードは、大抵言い換えられた選択肢 (例、30 days  $\Rightarrow$  one month、move  $\Rightarrow$  relocate、free  $\Rightarrow$  complimentary など) に変わっているので、十分に注意する必要がある。ま

た、1セットの3つの問いは、パート3と同様、会話全体(森)⇒部分(木) ⇒部分(木)に関する問いが多いので、会話の流れに注意して聞き取るように するとよい。

- ⑤パート5 (短文穴埋め問題、全30 問、4択) 空欄に当てはまる正しい語彙(単語、または語句)を1つ選択する。文法問題と語彙問題が半々あり、空欄の前後に着目すると比較的正解を見つけやすい。
- ⑥パート6 (長文穴埋め問題、全12 問、4択) 空欄に当てはまる正しい語彙(単語や語句、または英文)を1つ選択する。パート5のような文法問題と語彙問題以外に英文自体を挿入する問題があり、メール文書全体の内容を理解していないと解答を見つけられないので、十分に注意する必要がある。
- ⑦パート7 (読解問題、 $2\sim4$  間×10 セット+5 間×5 セット=2 54 間、4 択) 文書はシングルパッセージ(10 題、29 間)、ダブルパッセージ(2 題、10 間)、トリプルパッセージ(3 題、15 間)の3 種類があり、それに続く質問に答える。ダブルパッセージの問題では、2つの文書に跨る質問やトリプルパッセージの問題では、3つの文書に跨る問題が出題される。たとえば、1つ目の文書に「開演:3 時より」とあり、3つ目の文書で「開演 30 分前に到着する予定」とあれば、「予想到着時刻は2 時半」という選択肢があるので、解答を選択する際には十分に注意する必要がある。

このように、どのパートにおいても正確に英語を聴いたり、読んだりして、瞬時に正解を導き出す瞬発力のある英語力が求められる。特に、日本人にとって難易度が高いとされている Reading Section (Part 5~Part 7) は、パート毎に制限時間を自分で決めて、時間内に全間が解けるよう日頃から十分に訓練しておく必要がある。と言うのは、受験者の約70%は時間内に解答することができないため、残った問題の解答欄を適当にマーク(塗り絵と言う)すると聞いているが、これは絶対に避けたい。よく受験者が「時間が足りなかった」などと言い訳をするが、時間が足りなかったために解答できなかったというのは本当の理由ではなく、実は時間内に終えられるようにする訓練する時間や努力が足りなかったことが本来の理由である。

#### Ⅳ. TOEIC® テスト対策講座の受講者の出席状況

次ページの図表1は、受講者の出席状況を一覧表にしたものである。なお、図表中に見られる「公」の文字は、「公欠」を、〇は「出席」を、/は「欠席」を、×は「遅刻」をそれぞれ示している。

本講座を受ける前に、受講学生に対して全授業に出席することを誓約書で確認し、署名してもらったので、毎回の授業の出席率 100%を期待していたが、学期途中、家庭の事情で退学を余儀なくされた新入生が1人あった。また、講座後半になって体調不良等の理由で欠席をした新入生が1人いたが、13人中9人の学生は出席率が100%であった。

図表1:TOEIC® テスト対策講座の受講者の出席状況

TOEIC 木4	C講座(学内GP)			第 ① 講 座	第 ② 講 座	第 ③ 講 座	第 ④ 講 座	第 ⑤ 講 座	第 6 講座	第 ⑦ 講 座	第 8 講 座	第 9 講 座	第 ⑩ 講 座	第 ⑪ 講 座	第 ⑫ 講 座	第 ① 講 座	第 ① 講 座	第 ① 講 座	
	学籍番号		回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	出席率
No	学年	学生氏名	月	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12	1	1	1	1	2	(%)
	,		日	4	11	18	1	8	15	22	29	6	13	10	17	24	31	7	
1	15B104 4年生	学生A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	公	0	0	0	100
2	16B078 3年生	学生B		0	0	0	0	0	0	0	/	0	0	/	公	0	0	/	80
3	16B082 3年生	学生C		0	0	公	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
4	17A049 2年生	学生D		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0	0	93.3
5	18A057 1年生	学生E		0	0	0	0	0	0	0	/	/	0	/	/	0	/	/	60
6	18A062 1年生	学生F		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
7	18B012 1年生	学生G		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	公	100
8	18B025 1年生	学生H		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
9	18B034 1年生	学生I		0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
10	18B075	学生J		0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
11	18B097 1年生	学生K		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	公	100
12	18B109 1年生	学生L		0	0	0	0	0	0	0	0	公	0	0	0	0	0	0	100
13	18B128 1年生	学生M		0	0	0	0	0	0	×	/	0	/	/	/	/	/	/	退学

## V. TOEIC® テスト対策講座の学習成果

約4カ月の TOEIC® テスト対策講座における学習成果 (スコアの向上) は、次ページの図表2にテストのスコアを、続いて図表3には3回分の TOEIC® テストのスコアをグラフ化したものを掲載した。

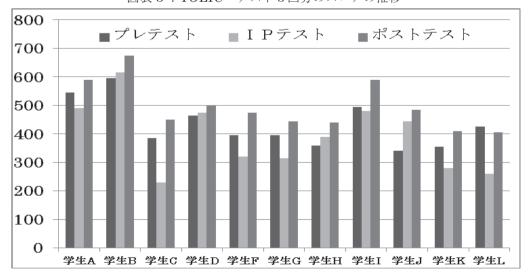
これらの結果から、ポストテストを受験した受講者 11 人のスコアの平均は 496.8 点であり、履歴書に書ける最低スコアの 500 点にはほんの少し及ばなかったものの、全体として実質 64.5 点のスコア向上が見られた。これは期待される効果の 1 つ目であった「初中級程度の英語力をもつ本学の学生が短期間で平均スコアは  $50\sim100$  点を向上させることができる」を達成できたと言える。

そして、期待される効果の2つ目であった「受講学生の約半数が履歴書に書くことができる最低限とされるスコア 500 点以上を取得することができる」に関しては、受講者 11 人のうちで、500 点以上を取ったのは4 人(最高点は675 点、IP 試験では615 点)だけであったので、2つ目の目標は達成することはできなかった。

図表 2: TOEIC® テスト第1回~第3回のスコアの推移

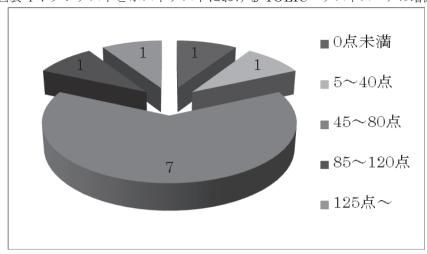
			_	1	***			AT a D			AT a D				
No 学籍番号		学生氏名		第1回 10月4・11日(プレテスト)				第2回	1年本 /	第3回 1月31日(ポストテスト)				第1回と	
	(学年)	月日	リスニング リーディング トータル			1月24日(IP試験)						第3回の			
			リスニンク	リーティンク	トータル	リスニンク	リーティンク	トータル	リスニンク	リーティンク	トータル		増減		
1	15B104	学生A		315	230	545	285	205	490	335	255	590	+	45	
2	16B078	学生B		305	290	595	375	240	615	385	290	675	+	80	
3	16B082	学生C		200	185	385	145	85	230	240	210	450	+	65	
4	17A049	学生D		285	180	465	290	185	475	265	235	500	+	35	
5	18A057	学生E		280*	230*	510*	235*	140*	375*	_	_	_			
6	18A062	学生F		200	195	395	180	140	320	260	215	475	+	80	
7	18B012	学生G		245	150	395	215	100	315	220	225	445	+	50	
8	18B025	学生H		190	170	360	220	170	390	235	205	440	+	80	
9	18B034	学生!		300	195	495	320	160	480	310	280	590	+	95	
10	18B075	学生J		215	125	340	275	170	445	255	230	485	+	145	
11	18B097	学生K		170	185	355	170	110	280	230	180	410	+	55	
12	18B109	学生L	***	240	185	425	150	110	260	195	210	405	_	20	
13	18B128	学生M		265*	275*	540*	_	_	_	_	_	_			
	全体の平均スコア			245.4	192.5	446.6	238.3	151.3	389.6	266.4	230.4	496.8	+	50.2	
	実質の平	均スコア(*を除く	)	240.5	191.7	432.3	238.6	152,3	390.9	266.4	230.4	496.8	+	64.5	

図表 3: TOEIC® テスト 3 回分のスコアの推移



また、プレテストとポストテストでテストスコアがどれだけ増減したのかについて 調べたグラフを次ページの図表 4 に示した。

図表4:プレテストとポストテストにおける TOEIC® テストスコアの増減



この図表によると、11 人の受講生のうちで 10 人の学生がスコアを向上させ、7 人の学生が 85 点~120 点のスコアが上昇し、その中でも学生 J は 340 点から 485 点~ と 145 点もスコアを伸ばしたことがわかる。しかしながら、1 人の学生だけはスコアを 20 点下げた。

実を言うと、学生 J は初回の講座終了後に、どうやって英語を勉強すればよいのか悩んでいると言って相談に来たのである。この学生はプレテストで全受講生 13 人のうちで、プレテストのスコアが受講生の中で最低の 340 点だったからである。その時は、 $TOEIC^{\otimes}$  テストを受験したことがないのだから、心配する必要はないし、毎回の授業に取り組んで、自宅でも付属の CD を聴いて、小テストで確実に合格点を取るようにすれば良いなどと助言した。元々、中学校や高校で英語が得意ではない学生であったが、最終的に全受講生の中で 1 番スコアが向上し、素晴らしい成果を上げたことを受講生の前で褒めることができて、筆者もこの学習方法に自信を持つことができた。

#### Ⅵ. おわりに(本研究の成果と今後の課題)

今回の TOEIC® テスト対策講座の取り組みで、プレテストとポストテストの TOEIC® スコアを比較すると、全体で平均 64.6 点の上昇が見られた。本実践研究の開始当初、目標に掲げた期待される効果の1つであった「平均スコアで 50~100 点のアップ」は達成できた。しかしながら、受講した 12 人の学生のうちでポストテストのスコア 500 点以上を取得できたのは4人のみで、2つ目の効果であった「受講者の半数以上がスコア 500 点以上を取得する」ことは達成できなかった。

1月に実施した TOEIC® IP 試験(学内受験)では比較的低めの平均スコアが出たが、それでも615点(ポストテストでは675点)を取得した学生が1人いたことは非常に大きな成果であった。また、プレテストで340点だった1人の学生がポストテストで145点増の485点まで伸ばしたことは大きな成果であり、その学生は英語力に自信をつけたと思われる。ただ、講座の出席率に関しては、1月に退学した学生が1人

と無断で欠席が多かった学生が1人出て、最終のポストテストが受験できなかったことが非常に残念であった。

そして、対策講座の最終日に受講した学生全員に対し、本講座を終了してみての感想や意見を尋ねてみたところ、「英語はあまり得意ではなかったが、今後も英語学習を続けたいという気持ちになった(9人)」、「毎週、この講座で一緒に学習する仲間ができたことが良かった(4人)」、「自分でもう既に次の  $TOEIC^{\otimes}$  公開試験の申し込みを済ませた(3人)」、「卒業後も  $TOEIC^{\otimes}$  試験の勉強を続けていきたい(1人)」など、多くの受講者が好意的に捉えてくれたことも大きな成果であった。

最後に、今後の課題として、1週間に1回の講座ではなく、できれば2回の講座を開き、同じく約4カ月間で受講者のTOEIC® スコアの平均点を100点近く向上させ、かつ受講者の半数以上が500点以上のスコアが取得できるような学習プログラムを開発し、効果的な英語の指導を行っていきたい。

#### 謝辞

本学の堀越学長より多大な援助(学内教育 GP)をいただき、約4カ月間に渡って TOEIC® 講座を開講できたことに対し、この場を借りて深く感謝を申しあげたい。

#### 参考文献・資料

Educational Testing Service (2019) 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 5 』国際ビジネスコミュニケーション協会。

Educational Testing Service (2018) 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4 』国際ビジネスコミュニケーション協会.

早川幸治(2016)『はじめてでも 600 点ごえ!  $TOEIC^{®}$  テスト全パート完全対策 新形式問題対応』永岡書店.

各務行雅 (2015) 『改訂版 もしも、こんな英語の授業に出会っていたら? ― 英語の「なぜ?」を解き明かす 55 の秘話』(㈱三恵社.

各務行雅 (2014)『もしも、こんな英語の授業に出会っていたら?―英語の「なぜ?」を解き明かす 50 の秘話』㈱三恵社.

小石裕子 (2016) 『【新形式問題対応】 TOEIC(R) TEST 英文法 出るとこだけ!』アルク.

宮野/智靖(監修)(2016)『TOEIC テスト予想模試 新形式問題対応』旺文社.

「TOEIC280点、中学校英語教師の英語力の低さが浮き彫りに」

https://eikaiwa.weblio.jp/school/information/education/junior-high-school-teacher/linear-li

(閲覧日: 2018年7月29日)

「中学英語教師の7割以上が英語準1級(TOEIC730点)もない現実」

https://www.huffingtonpost.jp/yuki-suzuki/toeic-teacher\_b\_7653970.html

(閲覧日: 2018年7月23日)

「英検準1級以上取得の教員は中学で33.6%、高校で65.4%」

https://gotcha.alc.co.jp/entry/20180417-eigoryoku-chosa (閲覧日:2018年7月23日)

「TOEIC のスコア(点数)ごとに可能な『英語でできること』の目安とレベル」

https://toeic-me.com/level.html (閲覧日:2018年7月23日)

2019 年度研究業績一覧

凡例 ◎著書 ○学術論文 □紀要など掲載 無印 その他の業績

## 経営学部 総合経営学科

- □丸山 宏: 「ファンド売却企業の買収プレミアム率と新規公開株市場との関係の計量分析」第62回日本経営システム 学会全国研究発表大会(新潟国際情報大学)講演論文集、pp.64·67、2019年5月
- □丸山 宏:「ファンド売却企業の買収プレミアム率と新規公開株市場との関係の計量分析」第49回日本経営財務学会 秋季全国大会(青森大学)要旨集、p.8、2019年10月
- □丸山 宏:「「後継者難」による買収のアナウンス:シグナリング理論による分析」第63回日本経営システム学会全国研究発表大会(神戸学院大学)講演論文集、pp.206-209、2019年11月
- □丸山 宏(共著):「日本経営システム学会における全国大会の開催報告」『横幹』(Journal of Transdisciplinary Federation of Science、vol.13、no.1、pp.57-58、2019年4月
- 口伊藤 万知子 (共著): 「名古屋人気質に関する調査研究 (II) 一大阪府民との比較のために一」 『流通研究』 第 25 号、 愛知学院大学流通科学研究所、pp.31-32、pp.52-56 および p.58、2019 年 3 月
  - 林 達明:「教育の最新事情と EdTech 教育」教員免許更新講習 講師 愛知産業大学 2019年8月
  - 新海 輝夫:「強化育成システムの構築におけるゴールデンエイジプロジェクトの位置づけについて」
  - 全日本アーチェリー連盟主催 2019 年度ブロック別指導者講習会、講師 北海道ブロック札幌大会 ホテルラフォート札幌 2019 年 11 月
- ○山崎 方義(共著): 「BtoB 企業におけるソーシャル・コミュニケーションに関する探索的研究」、『広報研究』第23号、日本広報学会、pp.80-92、2019年3月
  - 山崎 方義: 「BtoBコミュニケーション新時代 (第1回) BtoBコミュニケーションとは?」、『日経広告研究所報』第 307 号、pp.44-47、日経広告研究所、2019 年 10 月
  - 山﨑 方義: 「BtoB コミュニケーション新時代 (第2回) BtoB 企業のブランディング」、『日経広告研究所報』第308 号、pp.54-57、日経広告研究所、2019年12月
  - 山﨑 方義: 「SDGs 推進に求められるコーポレート・コミュニケーション・企業価値向上へのアプローチ」、『BtoB コミュニケーション』第 584 号、pp.19-26、日本 BtoB 広告協会、2019 年 2 月
  - 山﨑 方義: 「経営課題解決に向けたコーポレート・コミュニケーション: 『アージェンティのコーポレート・コミュニケーション 経営戦略としての広報・PR』より」、 『BtoB コミュニケーション 』第 591 号、pp.7-9、日本 BtoB 広告協会、 2019 年 9 月
  - 山崎 方義:「ソーシャル・コミュニケーションの観点による SDGs 推進と企業価値向上への取り組み」、日本経営倫理学会中部地区研究会、名古屋外国語大学、2019年1月
  - 山崎 方義 (共同研究): 「公共広告のデジタル化対応に関する日韓比較」、日本広告学会関西部会、立命館大学、2019 年9月
  - 山崎 方義 (共同研究): 「公共広告のデジタル化対応に関する日韓比較」、日本広告学会第50回全国大会、千葉商科大学、2019年11月
  - 山崎 方義:「広告と商標」、八丁味噌と地理的表示の現状と未来セミナー、八丁味噌問題研究会、岡崎市中央図書館 リブラ、2019年2月
  - 山﨑方義:「BtoBコミュニケーションを考える」、日経広告研究所ビジネス交流会、講師、日経広告研究所、2019年3月
  - 山崎 方義: 「BtoB コミュニケーションとステークホルダー・マネジメント」、第 28 期 BtoB コミュニケーション大学校、講師、日本 BtoB 広告協会、日刊工業新聞社、2019 年 9 月
- ◎加藤 晃・北川 哲雄・佐藤 淑子・松田 千恵子:『サステナブル経営と資本市場』、日本経済新聞出版社 2019年2月

- ◎加藤 晃 (共著): 『バックキャスト思考と SDGs/ESG 投資』、同文舘出版、2019年2月
- ○加藤 晃:「「リスク」「リターン」に続く評価軸「インパクト」 サステナブルファイナンスとは何か」『企業会計』2020 年1月号、中央経済社、2019年12月

加藤 晃:講演「SASBにおけるサステナブル標準化の意義」、証券アナリスト協会主催、2019年2月

加藤 晃:講演「SASBの情報開示基準と副次的展開」、金融SDGs研究会主催、2019年4月

加藤 晃:講演「リスクファイナンスとは何か?」、愛知産業大学学園祭、2019年11月

加藤 晃: 「リスクファイナンス①」、『東海愛知新聞』、東海愛知新聞社、2019年10月

加藤 晃:「リスクファイナンス②」、『東海愛知新聞』、東海愛知新聞社、2019年10月

加藤 晃:「リスクファイナンス③」、『東海愛知新聞』、東海愛知新聞社、2019年11月

加藤 晃:「リスクファイナンス④」、『東海愛知新聞』、東海愛知新聞社、2019年11月

加藤 晃:「リスクファイナンス⑤」、『東海愛知新聞』、東海愛知新聞社、2019年12月

加藤 晃:「リスクファイナンス⑥」、『東海愛知新聞』、東海愛知新聞社、2019年12月

- ◎奥田 真之: 「第11章 信用保証制度による地方銀行の創業支援」家森信善編著『信用保証制度を活用した創業支援 一信用保証協会の役割と金融機関連携ー』pp.191-198、中央経済社、2019年6月
- ○奥田 真之 (共著): 「高校での金融意識・行動からみた保険教育」、『生活経済学研究』第49巻、生活経済学会、pp.15-26、2019年3月
  - 奥田 真之 (共同研究) 学会発表:「高齢期の生活設計をサポートするエンディング・プランニング・ゲームの開発」、 日本消費者教育学会第39回全国大会、札幌エルプラザ、2019年10月
  - 奥田 真之 学会発表討論者:加納正二氏「Society5.0の新しい経営組織と経営ストラテジーに関する一考察」、生活 経済学会中部部会研究報告会、愛知学院大学名城公園キャンパス、2019年12月
  - 奥田 真之 学会運営:日本企業経営学会第58回研究大会兼東アジア国際フォーラム(岐阜大会)実行委員長、ハートフルスクエア G (岐阜市生涯学習センター)、2019年5月
  - 奥田 真之: 「自立をしていくために一働き方、人生上の諸リスクへの対応について考えるー」、華陽フロンティア高 校特別授業、講師、2019年7月
  - 奥田 真之:「人生に役立つお金のキホンを身につけよう!」、国公私立大学合同進学ガイダンス「夢ナビライブ 2019」 講義、講師、ポートメッセなごや、2019年7月
  - 奥田 真之:「子どもたちが充実した百年人生を送るための金融リテラシー」、令和元年度免許状更新講習、講師、愛知産業大学、2019年8月
  - 奥田 真之: 「キャッシュレス社会での上手なお金の使い方」、岐阜障がい者就業・生活支援センター学習会、講師、 西部福祉会館、2019年11月
  - 奥田 真之:「人生に役立つお金のキホンを身につけよう!」、岐阜清流高校特別支援学校暮らしの安全モデル校出前 授業、講師、2019年12月

奥田 真之:「為替相場について考える②」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年1月

奥田 真之: 「為替相場について考える③」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年2月

奥田 真之: 「為替相場について考える④」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年3月

奥田 真之:「入社式でのメッセージから」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年4月

奥田 真之:「新紙幣発行の影響」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年5月

奥田 真之:「老後2千万円問題」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年6月

奥田 真之:「リブラと金融業の未来」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年7月

奥田 真之:「米国の利下げと地域金融機関」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年8月

奥田 真之:「口座維持手数料の導入」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年9月

奥田 真之:「キャッシュレス決済の影響①」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年10月

奥田 真之:「キャッシュレス決済の影響②」、『中経論壇』、中部経済新聞コラム、2019年12月

- 奥田 真之: 「家計の金融資産について考える③」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞ブログ、2019年1月
- 奥田 真之:「為替相場ってなぜ円高や円安に変化するの?①日本のビッグマックは割安?」、『中日新聞プラス達人に 訊け!』、中日新聞ブログ、2019年3月
- 奥田 真之:「為替相場ってなぜ円高や円安に変化するの?②現在は歴史的な円安水準?」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞ブログ、2019年4月
- 奥田 真之:「新紙幣モデルの人物はどんな人?変更の理由は?」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞ブログ、 2019年5月
- 奥田 真之:「Facebook の新通貨リブラが世界に与える影響とは?」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞ブログ、2019年7月
- 奥田 真之:「解説!なぜアメリカは金利を引き下げるのか?」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞ブログ、 2019 年8月
- 奥田 真之:「お金を預けるためにお金を払う?銀行の厳しい懐事情」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞ブログ、2019年9月
- 奥田 真之:「キャッシュレス決済による影響①買い物がまる見えになる?」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞プログ、2019年10月
- 奥田 真之:「キャッシュレス決済による影響②店舗にとっては手数料の高さが問題!」、『中日新聞プラス達人に訊け!』、中日新聞ブログ、2019年11月
- □各務 行雅:「国際ビジネス教育に関わるプログラム研究—TOEIC®テスト対策講座」、『愛産大経営論叢』、愛知産業 大学経営研究所、第22号、pp. 73-82、2019年12月
- ◎鶴見 正史・木戸田 力(編著):『財務報告の方法と論理──複式簿記システム概論──』pp.144-148、pp.156-175、五 絃舎、2019 年 5 月
- ◎鶴見 正史:「下野直太郎と太田哲三の取引要素説と収支的簿記法」上野清貴編著『簿記の理論学説と計算構造』pp.87-100 中央経済社、2019年8月
- ◎鶴見 正史:「売却時価会計と簿記の計算構造」上野清貴編著『簿記の理論学説と計算構造』pp.161-172 中央経済社、2019年8月
- ○三田村 浩:「整理解雇法理における手続の相当性―企業変動における労働者保護に関連して―」、『青森公立大学論纂』 第4巻第1・2号、青森公立大学、pp.67-78、2019年3月
- □三田村 浩 (共著): 「労働者保護法制のあり方と不振企業の再編」、『弘前大学大学院地域社会研究科年報』第15号、 弘前大学大学院地域社会研究科、pp.3·15、2019年3月
  - 三田村 浩:「企業都合による失職に伴う労働者保護の在り方―解雇の金銭解決に関連して―」、日本企業経営学会第 58 回研究大会兼東アジア国際フォーラム(岐阜大会)、ハートフルスクエア G、2019 年 5 月
  - 今枝 千樹・藤井 秀樹: 「地方創生における地域資源の戦略的活用とその成功要因―広島安芸高田神楽のケーススタディ―」、制度派会計学ワークショップ、京都大学、2019 年 5 月
  - 今枝 千樹・藤井 秀樹: 「民間非営利活動と地域資源活用に関する経済学的考察―広島安芸高田神楽の事例研究―」、 非営利法人研究学会中部部会、愛知学院大学、2019 年 6 月
  - 今枝 千樹・藤井 秀樹: 「民間非営利活動と地域資源活用に関する経済学的考察―広島安芸高田神楽の事例研究―」、 非営利法人研究学会、久留米大学、2019年9月
- ◎星 和樹:「第3章 環境 (environment and ecology)」、高橋正泰監修/髙木俊雄・四本雅人編、『マクロ組織論』、 学文社、pp.55~71、2019 年 4 月
- ◎星 和樹:「第13章 組織と戦略」、高橋正泰監修/髙木俊雄・四本雅人編、『マクロ組織論』、学文社、pp.213~230、 2019 年 4 月
- □下平 芳久:「日本人と台湾語学習―ビジネスパーソンを中心に―」、『愛産大経営論叢』第 22 号、愛知産業大学経営研究所、pp. 1−10 2019 年 12 月

 $\square$ 王 平 : 「中国における新語、ネット語の定着と社会的要因」、『愛産大経営論叢』第 22 号、愛知産業大学 経営研究 所、pp. 11-20 2019 年 12 月

## 『愛産大経営論叢』刊行規定

## **ASU Business Review**

#### 1. (総則)

この規定は、『愛産大経営論叢』(以下『経営論叢』という。)の刊行に関して必要な事項を定める。

2. (英文名)

この経営論叢は、英文名を、ASU Business Review とする。

3. (目的)

この経営論叢は、研究所所属の専任教員、非常勤講師、研究員の研究成果公表の機関誌である。

4. (外部投稿)

前項の規定に関わらず、教員・研究員以外の研究成果についても、次に掲げる場合は、この研究論叢に掲載することができる。

- (1) 研究所で講演および口頭発表した者の研究成果
- (2) 研究所から依頼した者の研究成果
- (3) その他、編集委員会が承認した者の研究成果
- 5. (編集委員会)
  - (1)経営論叢の編集、その他経営論叢に関する業務を行うため、編集委員会をおく。
  - (2)編集委員会は、研究所所属の教員、研究員とし、所長が委嘱する。
  - (3)編集委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
  - (4)編集委員長は、編集委員から所長が委嘱する。
- 6. (経営論業)
  - (1)経営論叢は、年1回発行する。
  - (2) 投稿者は、研究所所属の専任教員、非常勤講師および研究員に限る。ただし、専任教員、研究員との共著者および前4項の(1)、(2)および(3)に該当する者はこの限りではない。
  - (3)経営論叢への投稿内容は、以下の各項に該当する著作とし、未発表のものでなければならない。
    - ①経営および経営環境に関する領域における学術論文。
    - ②経営および経営環境に関する領域における学術論文に準ずる研究ノートなど。
    - ③経営および経営環境に関する領域における実践研究報告および調査報告など。
    - ④経営および経営環境に関する領域における研究書を対象とした書評。
    - ⑤経営および経営環境に関する領域における地域共同研究および調査報告など。
  - (4)経営論叢へ投稿された著作は、編集委員会において委嘱された査読者が内容を査読し、その結果に基づき採否を決定する。
- 7. (執筆要領)

経営論叢投稿・編集に必要な細則および経営論叢執筆要領は別に定める。

8. (修正)

この規定および細則、執筆要領の修正は、経営研究所運営委員会において決定する。

付則

- (1)本刊行規定は、平成10年4月1日より施行する。
- (2) 本刊行規定は、平成17年4月1日より施行する。
- (3) 本刊行規定は、平成18年4月1日より施行する。
- (4) 本刊行規定は、平成23年4月1日より施行する。
- (5) 本刊行規定は、平成24年4月1日より施行する。

## 編集委員

丸山 宏 (委員長)

山﨑 方義

加藤 晃

草田 清章

## 愛産大経営論叢

第 22 号(令和元年度) 令和元年 12 月 20 日 発行 発行人 愛知産業大学経営研究所 所長 丸山 宏 〒444-0005 岡崎市岡町原山 12-5 ℡ 0564-48-4511 Fax 0564-48-6940

印刷·製本 ㈱中部日本教育文化会

## **ASU Business Review**

(NO.22 2019)

## **Contents**

Originals:	
1 Japanese People and Taiwanese Learning - Focused on Business People - Yoshihisa SHIMODAIRA	(1)
2 Establishment of New Words and Internet Terms and Its Social Factors in China Ping WANG	(11)
3 Article 35 of the Constitution and Administrative Procedure Koji YOKOSE, Fuyuki YOKOSE	(21)
4 An Attempted Rhetorical Analysis of President Obama's Second Inaugural Address	(29)
5 The MOKUIKU and Programming Education	(39)
6 Differences between Europe and Japan — on Languages, Theories, Thoughts and Methods— Hiroshi AKAMATSU	(55)
Note:	
1 Structuring method of actual process cost accounting system for overseas subsidiary (Calculation of materials consumed)  — Database system designed by Microsoft Access Query—	(61)
Practical Study Report:	
1 Program Research on International Business Education  — The TOEIC® Test Extension Course—	(73)
Professional Accomplishments:	(83)